

三十五年のあゆみ

社団法人 川崎市電設工業会



35年誌の発刊にあたって

会長 杉本徳男

社団法人川崎市電設工業会は、平成8年9月21日を以て、法人認可設立満35周年を迎えました。これも偏に川崎市を始め関係諸官庁並びに諸団体の温かいご支援ご指導と会員各位のご努力の賜であり、心から厚くお礼申し

上げます。

顧みますと、昭和26年市内業者の有志が集り本市復興事業に寄与すると共に、業界の発展を願いつつ川崎市建電会を結成したのが始まりであります。その後市勢の伸長と会員の増加に伴い川崎市電設工業会と改称し、昭和36年9月神奈川県知事より社団法人の認可を得ることが出来ました。爾来、幾多の困難を克服し、今日では137社の会員数を有するまでになりました。私は、平成3年5月第7代会長の職に就き、幸いにも35年誌を刊行出来たことは、誠に有難くこの上ない喜びと存じます。先輩諸氏のご苦勞と献身的なご努力に想いを馳せ、更なる発展を後生に伝えるべく責務を痛感しているところです。

ご承知のとおり、バブル経済の崩壊は産業の空洞化をまねき、今なお景気低迷が続いております。そのなかで自然界の驚異を知らされた阪神大地震、あの忌まわしい非人道的地下鉄サリン事件、この二つの体験での教訓は自己防衛を含め徹底した安全対策とボランティア活動の積極的参加でした。

21世紀は人に優しい自然環境と生命の時代と言われます。私共は法人団体として今後何を優先課題として成すべきかを真剣に考え、関係当局の懇切な技術指導で培われた豊富な経験を生かし、各社の経営基盤の繁栄を軸に公共工事を通して地域社会に貢献出来るよう会員一丸となって頑張りたいと存じます。

過ぎ去った35年を振り返り新たな躍進に向け、尚一層の信頼と団結を図って参る所存であります。何卒、本会に対しまして今後共変わらぬ指導ご鞭撻を、切にお願い申し上げます。

おわりに、このたびの記念誌発行にお寄せ戴きました関係各位のご協力に重ねてお礼申し上げます、発刊のご挨拶といたします。



35年をお祝いして

神奈川県知事 岡崎 洋

社団法人川崎市電設工業会の設立35周年を心からお喜び申し上げます。

皆様の協会は、昭和36年の設立以来、会員の皆様の結束のもと、技術の研鑽や経営の効率化に努められ、電設業界の発展はもとより、

住み良いまちづくりに大きく貢献してこられました。皆様が活動してこられたこの35年間、我が国の経済は、世界に例を見ないほど高度成長を経て、オイルショック、さらには安定成長の時代へと、たいへん激しい変化を経験してまいりました。それだけに、皆様方のご苦勞もひとかたならぬものであったと拝察いたします。歴代の役員の方々をはじめ会員の皆様の長年のご尽力に心から敬意を表します。

県では、現在、来るべき21世紀を展望し、今後の県政運営の指針となる新たな総合計画の策定に取り組んでおりますが、この計画にも、「安全で魅力ある都市づくり」を大きな柱の一つに掲げており、防災、環境、福祉等の視点も重視しながら、計画的で総合的な都市づくりをすすめてまいりたいと考えております。

もとより、こうした事業を着実にすすめていくためには、都市づくり、まちづくりの第一線でご活躍の皆様のご協力がぜひとも必要です。どうか今後とも、「活力ある神奈川、心豊かなふるさと」を築いていくため、皆様の一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

終わりに、社団法人川崎市電設工業会のますますのご発展と会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、お祝いのことばいたします。



祝 辞

川崎市長 高橋 清

この度、社団法人川崎電設工業会が設立35周年を迎えましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴工業会が、戦後の復興、高度成長、オイルショック、バブル経済の崩壊等幾多の困難を乗り越え、正会員100社を越える程に成長されましたことは、歴代会長をはじめ役員並びに会員の皆様方の並々ならぬご苦勞があったはずで、改めて深く敬意を表したいと思います。そして、この間電気技術の向上と技術者の育成、研修会を通じての研究・普及等多方面への活発な行動に努力され、今日の川崎市の発展に大きく寄与されましたことに対して、心から感謝を申し上げます。

さて、わが国の社会経済情勢でございますが、昨年の阪神・淡路大震災、オウム事件等と続き、本年は「住専問題」と大変複雑な社会環境となっております。

このような社会情勢の中で、戦後半世紀を経た川崎市は、20万人の人口が実に6倍に達する大都市に成長するに至りました。しかしながら、近年円高等による低成長時代の到来と財政構造の変化などにより、本市を取り巻く財政環境はかつてなく厳しいものとなっております。

このような中であって、高い理念と使命感をもって私たちの生活になくてはならない電力エネルギーの有効活用を図るなど、皆様のご活躍に対し市民各層から大きな期待が寄せられているところであります。

現在川崎市におきましても、生活者の視点に立って、しっかりと未来を見据えながら、ゆとりと安心を実感できる都市づくりに向けて、市民・企業の皆さんの協力により「川崎新時代2010プラン」の着実な推進に全力を傾けているところでございます。

終わりにのぞみ、皆様におかれましてもこの35年間の輝かしい実績を踏まえ、より一層技術の研さんに励まれ、今後も本市の発展のためにお力添えを賜りますようお願いするとともに、貴工業会のより一層の発展と皆様方のご活躍を心からお祈りいたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。



祝 辞

川崎市議会議長 小 島 一 也

社団法人川崎市電設工業会の創立35周年を、心からお祝い申し上げます。

貴会は、電気設備の専門技術を川崎市の発展に積極的に寄与し、併せて社会的に貢献するため昭和36年に発足されました。

以来、石油ショック・バブル経済の崩壊等多くの困難の中、会員の皆様のご努力により現在104社を要する大きな業界となりました。

この間、35年の長きにわたり、歴代会長をはじめ役員・会員の皆様の力強い結束と協力のもと、時代の変化への対応さらには技術の向上を図り、市の発展のために多大な貢献をされてこられましたことに心から感謝を申し上げる次第でございます。

今まで多くの工事を手掛けてこられたと存じますが、昨年の主な公共工事は、等々力アリーナ、等々力陸上競技場電光表示盤設置工事、川崎病院改築工事など市民にとって大切な工事を請負って頂いております。

私たち市議も行政とともに、市民の皆様がゆとりと安心を実感できる都市・川崎の創造に向けて、「川崎新時代2010プラン」の着実な推進に向け全力で取り組んでおります。

会員の皆様方におかれましては、この記念すべき創立35周年を一つの契機とされまして、今後もより一層の団結を図り、川崎市民のために貴会・会員の皆様の先進的な電気設備技術を大いに活かしていただきたく、さらなるご尽力とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後となりますが、貴電設工業会の更なるご発展と、会員各位のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



35周年に寄せて

川崎商工会議所会頭 高雲 和也

社団法人川崎市電設工業会が設立35周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、昭和36年9月創設以来、35年の永きに亘り、地域社会の発展のために活発な事業展開をされ、会員企業の電気工事の技術や経済および社会的水準の向上について積極的に推進されるなど、市民や業界の福祉増進に多大な貢献をされてこられました。

これもひとえに、杉本会長や役員の方々を始め会員各位のたゆまぬご努力の賜と、心から敬意を申し上げます。

私ども商工会議所といたしましても、地域総合経済団体として、皆様方の期待と要請に応えるべく、諸事業を鋭意推進しているところであります。今後とも皆様方のご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

申すまでもなく、電気は日常生活から産業活動に至るまでのあらゆる分野で利用されており、経済社会の不可欠なエネルギーとなっております。このような中で、貴会の役割は今後、一層高まることと存じます。

どうか、35年の貴重な経験を生かされ、会員企業の連携と技術の研鑽に努められ、川崎市電設工業会が益々ご発展されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



35周年記念誌発刊に寄せて

社団法人
川崎建設業協会会長 浅場 資 喬

川崎市電設工業会が創立35周年を迎え、記念誌の発刊にあたり心よりお祝い申し上げます。

川崎市電設工業会におかれましては、昭和36年9月社団法人として認可され、以来川崎市民生活の居住環境整備における設備事業等に対しての一翼を担って、市民生活の安定改善の推進に大きく寄与され、会員の方々の固い団結のもと、今日までに残された社会的貢献度は多大であったと評価いたすところでございます。

さて、世情におきましては、建設分野のみならず、これに伴う設備投資分野におきましても、ここ数年バブル経済の破綻に従い、不安定と不透明さは当分解消されず、そのため貴工業会の事業をとりまく諸情勢も一段と厳しさを増しておることと存じます。

このような状況のなかで、貴工業会の皆様方が市民および関係団体の大きな期待にこたえて、あらゆる困難を乗り越えながら、この35年の間に培われた豊富な経験と、技術力を生かして、きたるべき21世紀における社会生活の向上に対して、一層のご尽力を傾けられますよう期待いたしますとともに、次の節目に向い会員の皆様の更なる団結と技術力アップ、会員育成に対してもご期待いたします。

当川崎建設業協会といたしましても、今後とも貴工業会との連携を密にし、ご協力いたす所存でございます。

改めて創立35周年を契機に、川崎市電設工業会の限りないご発展と、皆様方のご活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いのごあいさつといたします。



祝辞（35周年を祝して）

川崎市建築局長 石 渡 隆太郎

このたび、社団法人川崎市電設工業会が創設35周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

工業会の皆さまにおかれましては、オイルショック、バブル経済の崩壊等幾多の困難を乗り越え、電気技術の向上と技術者の養成指導等多方面にわたり活発な活躍をされ、今日の川崎市の発展に大きく寄与されました。

これもひとえに会長さんをはじめ会員皆さまのご努力の賜物であり、改めて敬意を表すとともに深く感謝を申し上げます。

近年物の豊かさからの心の豊かさへと志向が転換しつつある中で、阪神・淡路大震災等の災害により安全で安心できる暮らしが市民生活にとって何ものにもかえがたい大切なものであることを痛感させられたところでもあります。

このような状況にあって、私たちの生活になくってはならない電気を安全確実に供給するとともに新技術の導入等、市民生活の改善に取り組んでおられる皆さまのご活躍に対し市民各層から大きな期待が寄せられているところでもあります。

本市におきましては、しっかりと未来を見据えながらゆとりと安心を実感できる都市、川崎の創造に向けて「川崎新時代2010プラン」の着実な推進に向けて全力を傾けているところでございます。

皆様におかれましても、この35年間の実績を踏まえまして、より一層の技術の研さんに励まれ今後も本市の発展のために積極的なお力添えを賜りますようお願いするとともに、貴工業会の益々の発展と皆さま方のご活躍・ご健勝を心からお祈りしましてお祝いのことばといたします。



祝 辞

川崎市建築局理事 橋本 大二郎

社団法人川崎電設工業会が設立35周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴会が昭和36年以来、35年の永きに亘り地域社会の発展のため事業を展開され、公共建築物の電気設備の改善や合理化について積極的に推進され、昭和57年以来市外業者に頼らず全て貴会員にて工事を遂行された功績は大変評価されるべき事と思います。

この5年間を振り返ってみますと、総合科学高等学校、市役所第3庁舎、多摩総合庁舎、川崎病院等の高層建築物を始め等々カアリーナ、川崎港コンテナターミナル等大型工事を全て貴会員が単独又は共同企業体にて受注されました。これもひとえに歴代会長や役員の方々を初め会員各位のたゆまぬご努力の賜物と心から敬意を申し上げます。

申すまでもなく、今日の社会において電気は快適な国民生活・活発な産業活動に欠かせない基幹エネルギーとなっております。電気設備においても社会の情報化・都市化の進展と共に高度で複雑な様相呈しており、電気設備保安の確保が益々の重要な責務となっております。

このような状況の中で本市においても、新技術の導入、設備合理等により電力エネルギーの有効活用を図ってまいりましたがこれも貴会が長年培ってこられました活力の賜物と存じます。

今後とも貴会におかれましては、設立35周年をひとつの契機といたしまして会員各位の一層の団結を図り、来るべき21世紀の川崎新時代の本市目途であります「快適環境の都市づくり」「創造発信都市づくり」を目指し、ぜひご尽力下さいます様お願いするとともに会員・各社の皆様のご繁栄と今後のご活躍をお祈りいたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

社団法人 川崎市電設工業会 三十五年のあゆみ

目 次

35年誌の発刊にあたって	会長 杉本 徳男	1
祝 辞		2
35年をお祝いして	神奈川県知事 岡崎 洋	
祝辞	川崎市市長 高橋 清	
祝辞	川崎市議会議長 小島 一也	
35周年に寄せて	川崎商工会議所会頭 高雲 和也	
35周年記念誌発刊に寄せて	社団法人川崎建設業協会会長 浅場 資喬	
祝辞 (35周年を祝して)	川崎市建築局長 石渡隆太郎	
祝辞	川崎市建築局理事 橋本大二郎	
歴 代 会 長		11
平成7～8年度理事・監事		
理事・監事就任年度並びに任期一覧		
理事任期一覧表		
決算規模・会員数の推移		
座 談 会		23
みんなよくやった 電設工業会設立にあたって		
暗闇に光を 電気屋が神様と言われた時代	佐藤 清	31
三十五年のあゆみ 昭和36年～平成7年		32
焦土から立ち上がって		
川崎市建電会の時代○川崎市電設工業会の誕生○社団法人の認可		
電気工事士認定講習会○現会館落成		
第1回電気工事士技能競技大会○二世会の誕生		
第1回労働安全衛生大会		
スナップ		92
会館落成披露祝賀会 新年賀詞交換会 労働安全衛生大会		

最新の技術向上をめざして 95

電気業界で地位を確立した電気工事士認定講習会

電気工事人から電気工事士へ○電気工事士試験受験準備講習会

技術革新に向けての取組み

高圧ケーブル端末処理認定講習会○シーケンス講習会

シーケンサー講習会○新技術修得のための研究・講習会

通信事業にかかわる講習会○光ファイバー講習会

工事設備にかかわる法規・説明、講習会○見学会

電気工事士技能競技大会開催

新しい時代に向けての経営研究・講習会 125

懇談と陳情 128

委員会一覧と事務組織図 140

安 全 労働災害防止に貢献○市の災害応急対策に協力 143

道路交通に係わる法定講習会

仮設電気一般注意事項

災害時における応急対策を行うための協力に関する協定書

厚 生 会員の健康に対する意識の高揚○共済制度の啓蒙と普及 156

研修旅行・見学会

雇 用 昭和37年～54年 新規学卒者が金の卵と呼ばれた時代 163

表 彰 167

二 世 会 新しい時代に活躍を期待 185

付 録

平成7年度事業概要報告書

平成8年度正会員・賛助会員名簿

協賛広告

歴代会長



初代会長 庄司大蔵

(平成元年3月25日逝去)

会社名 株式会社 大島電機商会

在任期間 昭和36年度～37年度

川崎市の産業都市としての伸展に伴い、社会的先見と公共性に鑑み任意団体から、社団法人の認可取得に奔走努力され、公益法人団体として今日の地位を確立した。



二代会長 佐藤 清

会社名 株式会社 佐藤電機

在任期間 昭和38年度～39年度

昭和37年電気工事士法が制定され、高齢技術者への免許対策の一環として、請願努力の結果、通商産業省の認可認定により特別講習会を実現して、優秀なる技術者を数多く輩出した。



三代会長 辻 嘉三郎

(昭和53年8月14日逝去)

会社名 京浜電興株式会社

在任期間 昭和40年度～53年度

川崎市議会議員として、本市の発展に尽力されると共に公共工事の分離発注により、電気設備業界の地位の向上と地域社会に多大の貢献をした。また、当会館完成により諸事業の効率を図った功績は大である。



四・六代会長 石崎 寛

会 社 名 株式会社 光陽電業社
在任期間 昭和52年度～53年度
昭和60年度～平成2年度
平成3年度～相談役

神奈川県電設健保並びに年金基金への加盟と、労働時間短縮問題や福祉の向上を図った。また、公共工事の大型発注に対しても、地元優先・分離発注を推進・安全施工と高度な技術で、関係当局の信頼を不動のものとした。



五代会長 関口 誠一

会 社 名 関口電設 株式会社
在任期間 昭和54年度～59年度

従業員の技術向上を目的に、電気工事士技能競技大会を制定して、川崎市支援のもと第1回から本会の継続事業の一環として全国にも例を見ない、独自の大会として注目を集めている。



七代会長 杉本 徳男

会 社 名 株式会社 富士電気商会
在任期間 平成3年度～現在

平成7～8年度理事・監事



副会長
菊地原忠光



会長
杉本 徳男



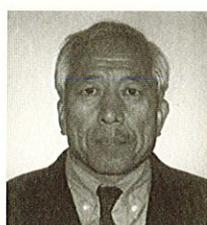
副会長
原 峯由



理事
宮川 秀雄



理事
石井 清



理事
辻 勝美



理事
鈴木 岩治



理事
小澤 清水



理事
島田 精二



理事
坪田 博夫



理事
原 敏男



理事
十八日義雄



理事
佐藤 光義



監事
内藤 唯男



監事
細谷 至孝

理事・監事就任年度並びに任期一覧表

期数	年	会 長	副 会 長		理				
1	S 36. 9 37. 5	庄司 大蔵	佐藤 清	青木 嘉吉	本堂 勘市	平井 謹吾	榊原 長充	矢崎 直	
2	38. 5 39	佐藤 清	本堂 勘市	榊原 長充	矢崎 直	肥後一二三	石崎 寛	森 徳治	
3	40. 5 41	辻 嘉三郎	佐藤 清	榊原 長充	矢崎 直	肥後一二三	石崎 寛	柘植 善一	
4	42. 5 43	辻 嘉三郎	佐藤 清	榊原 長充	矢崎 直	肥後一二三	石崎 寛	柘植 善一	
5	44. 5 45	辻 嘉三郎	佐藤 清	石崎 寛	矢崎 直	肥後一二三	小野 英樹	加賀谷 勉	
6	46. 5 47	辻 嘉三郎	石崎 寛	柘植 善一	矢崎 直	杉本 徳男	粕川 留吉	森 正夫	
7	48. 5 49	辻 嘉三郎	石崎 寛	加賀谷 勉	熊谷 芳	石川喜久雄	高橋徳太郎	内藤 隆知	
8	50. 5 51	辻 嘉三郎	石崎 寛	杉本 徳男	矢崎 直	肥後一二三	熊谷 芳	内藤 隆知	
9	52. 5 53. 5	辻 嘉三郎 石崎 寛	石崎 寛 杉本 徳男	杉本 徳男 石川喜久雄	矢崎 直 矢崎 直	肥後一二三 肥後一二三	石川喜久雄 原 峯由	原 峯由 佐藤 清	
10	54. 5 55	関口 誠一	石崎 寛	矢崎 直	石川喜久雄	杉本 徳男	山崎 源次	菊地原忠光	
11	56. 5 57	関口 誠一	石崎 寛	矢崎 直	石川喜久雄	杉本 徳男	山崎 源次	菊地原忠光	
12	58. 5 59	関口 誠一	石崎 寛	杉本 徳男	矢崎 直	山崎 源次	菊地原忠光	内藤 唯男	
13	60. 5 61. 5	石崎 寛 石崎 寛	杉本 徳男 杉本 徳男	矢崎 直 矢崎 直	山崎 源次 山崎 源次	菊地原忠光 菊地原忠光	栗原 剛夫 栗原 剛夫	宮川 秀雄 宮川 秀雄	
14	62. 5 63. 12	石崎 寛 石崎 寛	杉本 徳男 杉本 徳男	矢崎 直 矢崎 直	山崎 源次 山崎 源次	菊地原忠光 菊地原忠光	栗原 剛夫 栗原 剛夫	宮川 秀雄 宮川 秀雄	
15	H 1. 5 2	石崎 寛	杉本 徳男	矢崎 直	菊地原忠光	栗原 剛夫	宮川 秀雄	原 峯由	
16	3. 5 4	杉本 徳男	矢崎 直	菊地原忠光	宮川 秀雄	原 峯由	石井 清	辻 勝美	
17	5. 5 6	杉本 徳男	菊地原忠光	原 峯由	宮川 秀雄	石井 清	辻 勝美	鈴木 岩治	
18	7. 5 8	杉本 徳男	菊地原忠光	原 峯由	宮川 秀雄	石井 清	辻 勝美	鈴木 岩治	

7. 5. 10

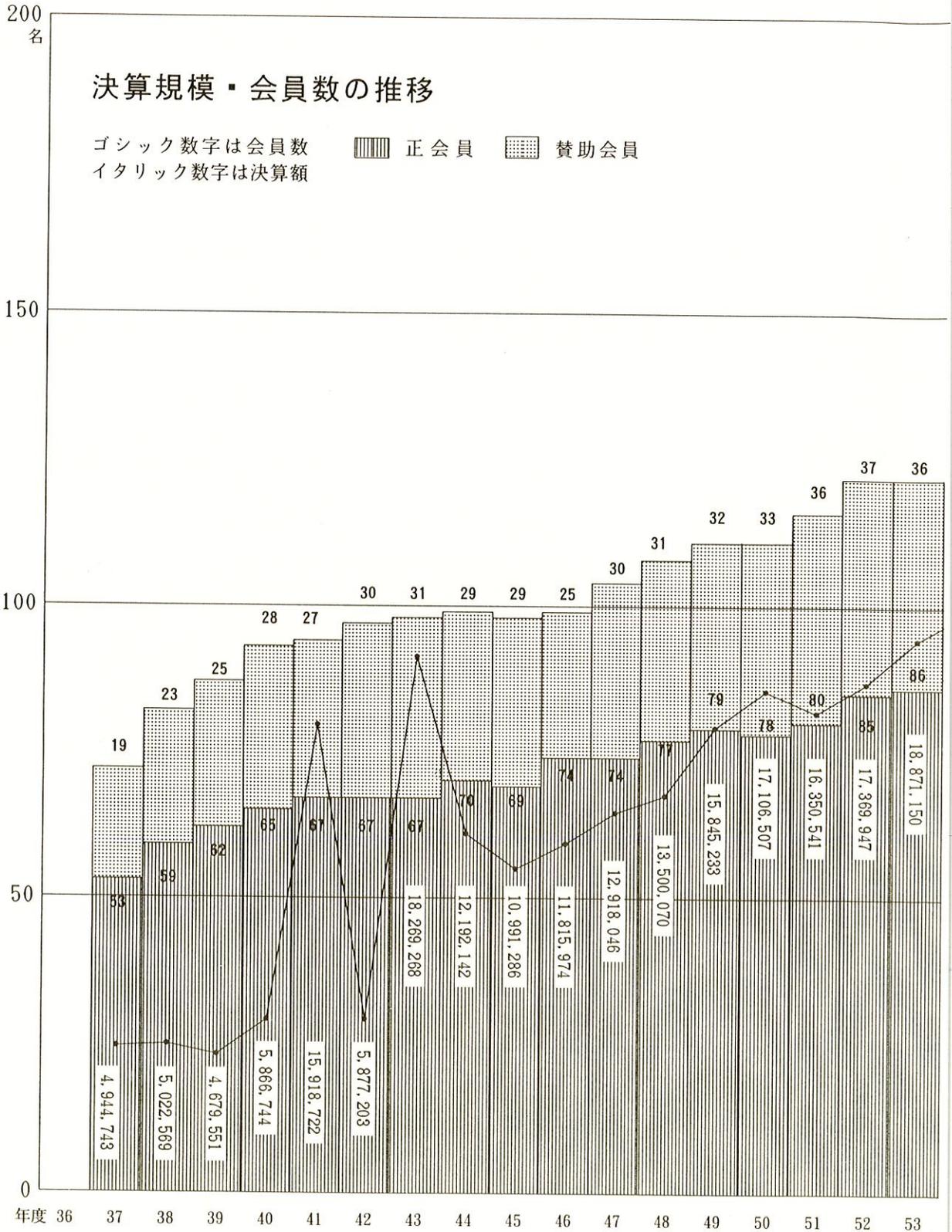
事						監 事	
						小林 強三	細谷 定春
小林 強三	小林 幸					細谷 定春	山本 安一
佐藤 栄一	滝 簡三					細谷 定春	内藤 唯男
佐藤 栄一	滝 簡三					細谷 定春	内藤 唯男
内藤 唯男	杉本 徳男					柘植 善一	滝 簡三
湯浅 吉彦	松村寿太郎					東出 晃	原 峯由
矢崎 直	肥後一二三	杉本 徳男	宮川 秀雄			森 二男	岩田 功
石川喜久雄	原 峯由	柏倉 政雄	岩田 功			森 二男	高橋徳太郎
佐藤 清 山崎 源次	山崎 源次 中島 忠三	中島 忠三 高橋徳太郎	高橋徳太郎 菊地原忠光	8月辻氏死去5/15石崎氏会長に就任 5/15辻氏退任 6/15臨時総会にて菊地原氏就任		森 二男	栗原 剛夫
中島 忠三	内藤 唯男	柏倉 政雄	栗原 剛夫			森 二男	石井 清
中島 忠三	内藤 唯男	柏倉 政雄	栗原 剛夫			森 二男	石井 清
柏倉 政男	栗原 剛夫	宮川 秀雄	渡辺 康行			森 二男	中島 忠三
原 峯由	石井 清	辻 勝美	渡辺 康行	61.4/1 紺		森 二男	中島 忠三
原 峯由	石井 清	辻 勝美					
原 峯由	石井 清	辻 勝美	鈴木 岩治	12/19	12/19	森 二男	小野 功雄
原 峯由	石井 清	辻 勝美	鈴木 岩治	小澤 清水	山室 政雄		
石井 清	辻 勝美	鈴木 岩治	小澤 清水	山室 政雄	島田 精二	森 二男	小野 功雄
鈴木 岩治	小澤 清水	島田 精二	原 敏男	坪田 博夫	志村 汎史	小野 功雄	小野崎勝男
小澤 清水	島田 精二	原 敏男	坪田 博夫	志村 汎史	原田 純司	小野 功雄	小野崎勝男
					5.5/19原田氏辞任		
小澤 清水	島田 精二	原 敏男	坪田 博夫	十八日義雄	佐藤 光義	内藤 唯男	細谷 至孝

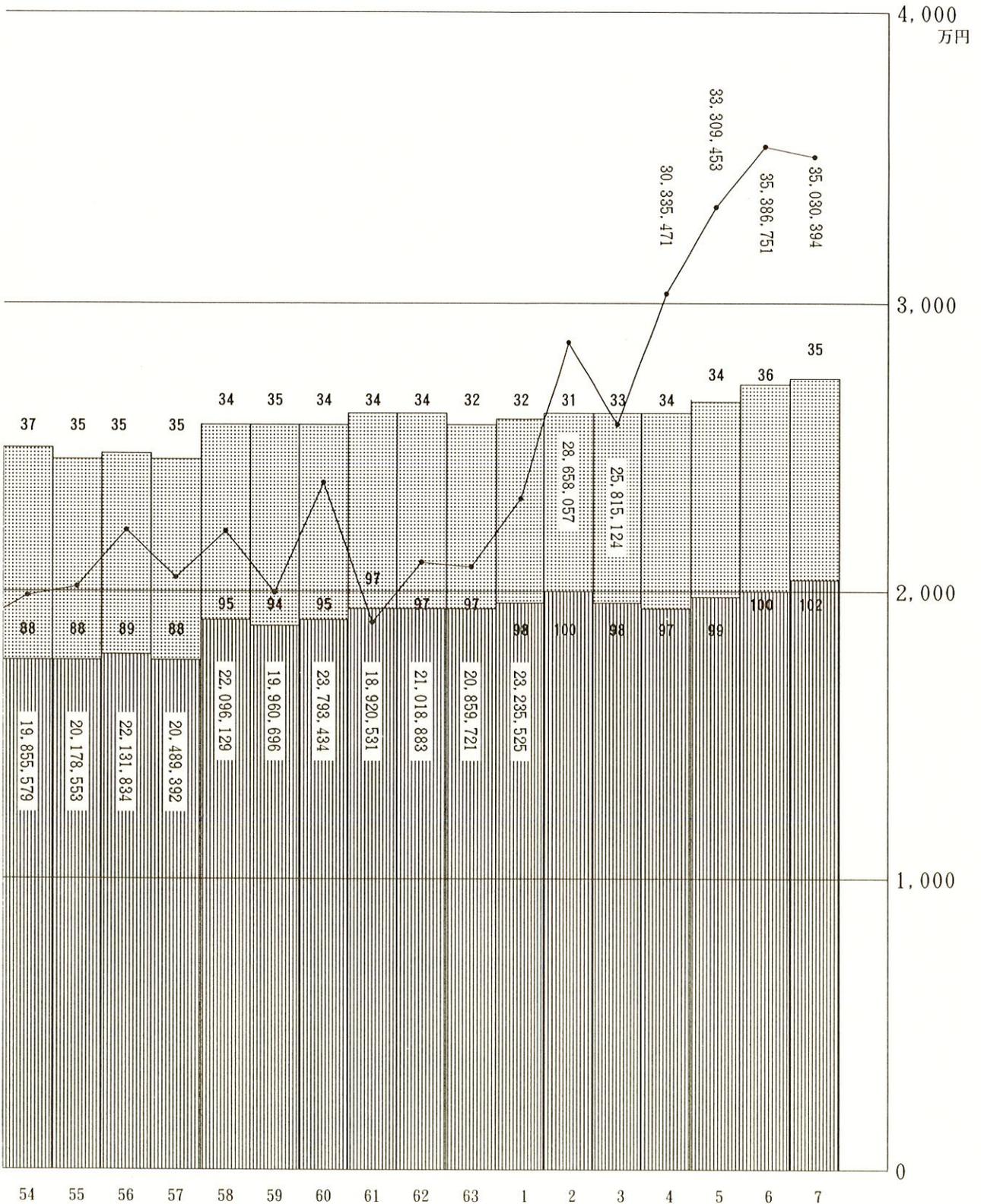
理事任期一覧表

No.	氏 名	会 社 名	1		2		3		4		5		6	
			S											
			36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
1	庄 司 大 蔵	(株)大島電機商会												
2	佐 藤 清	(株)佐藤電機												
3	青 木 嘉 吉	(株)青木電機商会												
4	本 堂 勘 市	本 堂 電 気 (株)												
5	平 井 謹 吾	東 京 電 機 (株)												
6	榑 原 長 充	(株) シ ン デ ン												
7	矢 崎 直	矢 崎 電 機 (株)												
8	肥 後 一 二 三	(株)ひふみ電業社												
9	石 崎 寛	(株)光陽電業社												
10	森 徳 治	東 京 電 機 (株)												
11	小 林 強 三	(有)小林電設工業社												
12	小 林 幸	(株) 京 電 社												
13	辻 嘉三郎	京 浜 電 興 (株)												
14	柘 植 善 一	東 京 電 機 (株)												
15	佐 藤 栄 一	関 口 電 設 (株)												
16	滝 簡 三	弘 電 社												
17	小 野 英 樹	(株)京浜愛工社												
18	加賀谷 勉	加賀谷電機工業(株)												
19	内 藤 唯 男	(株) 栄 電 社												
20	杉 本 徳 男	(株)富士電気商会												
21	粕 川 留 吉	粕 川 電 業 (株)												
22	森 正 夫	(有)東神電業社												
23	湯 浅 吉 彦	(株) 京 電 社												
24	松 村 寿太郎	関 口 電 設 (株)												
25	熊 谷 芳	(株) 旭 電 業												

理事任期一覧表

No.	氏 名	会 社 名	1		2		3		4		5		6	
			S											
			36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
26	石川 喜久雄	(株)京電社												
27	高橋 徳太郎	住吉電機(株)												
28	内藤 隆知	日鋼電気(株)												
29	宮川 秀雄	宮川電機(株)												
30	原 峯由	(株)原電光社												
31	柏倉 政男	(有)カシクラ電気商会												
32	岩田 功	篠原電機工業(株)												
33	山崎 源次	山崎電業(株)												
34	中島 忠三	田島電業(株)												
35	菊地原 忠光	東邦電業(株)												
36	関口 誠一	関口電設(株)												
37	栗原 剛夫	テルヤ電工(株)												
38	渡辺 康行	(有)渡辺電気工業所												
39	石井 清	(有)石井電気商会												
40	辻 勝美	京浜電興(株)												
41	鈴木 岩治	末広電業(株)												
42	小澤 清水	小澤電気(株)												
43	山室 政雄	(株)山室電機												
44	島田 精二	島田電設工業(株)												
45	原 敏男	粕川電業(株)												
46	坪田 博夫	坪田電業(株)												
47	志村 汎史	(有)志村電設工業												
48	原田 純司	(株)京電社												
49	十八日 義雄	トヨオカ電気(株)												
50	佐藤 光義	(株)佐藤電機												





編集を終えて

平成8年9月21日、社団法人川崎市電設工業会は設立35周年を迎えることになりました。平成7年3月2日開かれた理事会で、35年誌の刊行を決定、ただちに記念誌編集特別委員会を組織し、企画編集にあたりました。

関係資料がきわめて少ないという悪条件のなか短い期間で刊行にこぎつけることができました。内容の不備など多々ご指摘があろうとは存じますが、お許してください。

神奈川県知事、川崎市長をはじめ、多くの方々からの玉稿で巻頭を飾らせていただきましたことに、あつくお礼申し上げます。

最後に、この35年誌が短期間でできたことは貴重な資料を提供くださった会員の皆様のご好意と、企画から編集までご協力いただいた西村和夫氏並びに事務長木村弘氏に委員会一同感謝申し上げます。

平成8年9月2日

35年誌編集特別委員会

委員長 鈴木 岩治

副委員長 十八日義雄

座談会

みんなよくやった

電設工業会設立にあたって

出席者	佐藤 清	杉本 会長
	矢崎 直	菊地原副会長
	石崎 寛	原 副 会長
	加賀谷 勉	十八日 理事
	山崎 源次	内 藤 監 事
司会	鈴木 理事	中島 忠三

司会 鈴木 お忙しいところ本会の35年誌編集にご協力をたまわりありがとうございます。本会発足当時の記録は少なく、本会設立にかかわられた方々からお話を聞くのが一番よい方法かと存じ、今日わざわざ御足労いただいた次第です。どんなエピソードでも結構ですからお話いただければ幸いです。

佐藤 35年前というと電設工業会が発足した年ですが、その前身だった川崎市建電会の歴史も書き残しておく必要があると思います。

内藤 35年前の話となると記憶も薄れ、忘れていたこともたくさんあると思います。事務局から当時の記録や写真などを見せてもらえたら、思い出すこともたくさんあると思うのだが。

司会 鈴木 ところが、建電会時代の記録は全く無いに等しい状態で、私たちの方から当時の様子を知っている方々からお話を聞き、35年誌をまとめたというのが本当のところ。私の考えでは当時役員を長くやられていた佐藤さんあたりから、建電会から電設工業会発足までの苦労話をお聞かせ願えないものかと期待しています。

今回の企画は、一応電設工業会発足、つまり社団法人になってからと考えていますが、歴史は継続しているものです。建電会時代からお話を

お聞かせ願えれば。

佐藤 空襲で焼け野原になった川崎の町を、資材の乏しいなかで何とか復興に協力しようと、電気工事業者が集まって、川崎市建電会をつくりました。それがもとで現在の川崎市電設工業会があるのだと思います。建電会ができるまでの電設業界はまさに戦国時代で、建電会ができて落ちつききました。会ができて、会議をする適当な場所がありませんでした。

矢崎 京浜川崎駅のそばにあった梅月食堂とか、川崎クラブ、小宮コーヒー店にお世話になったものです。会議を開くために、二十数名の会員がゾロゾロ市内を移動するので、はたから見れば何事かと誤解されることが多いのには弱りました。そのうち、これではまずい、何とか会館を建設しなければいけないという話になりました。そこで当時の役員さんが何度も集まって土地探しに出掛けられたが、なかなか思った物件が見つからなかったことを覚えています。



右 中島 忠三
左 石崎 寛

司会 鈴木 南幸町の古い会館が建設されるまでのいきさつ、法人認可から現在の会館ができるまでの皆さんの努力、そんなわけで、皆さん全体からお話をお聞きしたいと思います。

矢崎 南幸町の木造の古い会館は、川崎駅西口にあった金沢不動産の紹介で買ったものです。もとは中華ソバヤさんの建物でした。内部を改装してそのまま事務所として使いました。その後鉄筋の二階建ての会館に新築しましたが40年に入ると、会館が手ぜまになり、さらに市役所に遠く皆さんが会館に来るのを億劫がるようになりました。さいわいなことに、関口電気さんから現在の土地をゆずってもらえることになり、よく覚えていませんが、価格やその他の点で話がまとまり、引越しを決めました。

司会 鈴木 現在の会館の建設の苦労や経緯について今の会員さんはほとんど知りません。南幸町と現在の会館建設の苦労話を聞かせてください。

矢崎 南幸町のソバヤさんの建物を鉄筋に改築するときは事務所を材木屋の脇に移しました。今の建物を建設するときは小川町の映画街の向うの雄電社さんを借りました。

佐藤 その間事務所が点々と変わり、よく覚えていませんが、会合もその都度場所が移動するので弱りました。関口さんの土地を買うにしても、南幸町の会館を売らねば土地代金の支払いができない、こんなことで苦労をしました。これについては共栄社の山口さんに随分お世話になりました。



右 矢崎 直
左 山崎 源次

司会 鈴木 当時建電会の会員は何社ぐらいありましたか。

矢崎 25社ぐらいだったと思います。この当時は役所ではまだ、A、B、C、Dというような業者別指名ランクも無い時代で、それに金額もせいぜい何百万円ぐらいだったので全員で指名に参加したものです。

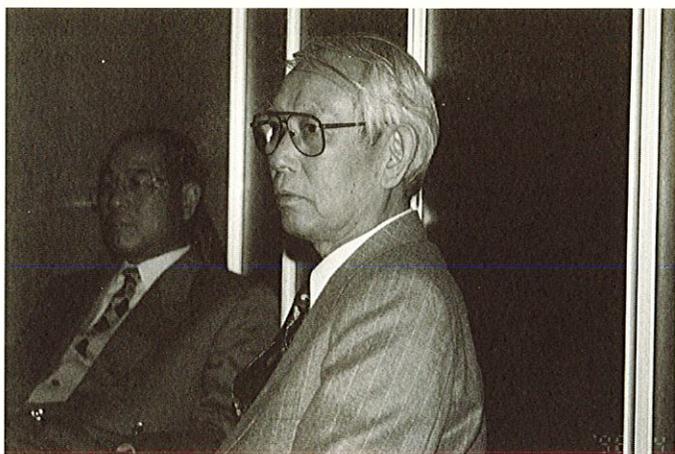
加賀谷 年末になると、役所からドッと仕事がでるので一人で四枚ぐらいの札をもっていきました。入札を間違えてはいけない、そういう心配がありました。いまでは市の仕事は年に一回やるか、やらない時代になりました。

佐藤 私が市の入札ではじめてやった仕事は26年玉川小でした。多くの仲間の世話になりできたようなものでした。建物は元部隊の宿舎から移転、電線は暫定第三種線というもので苦労しました。材料の仕入れなどの打

ち合わせなどで梅月や、川崎クラブ、小宮コーヒー店をよく使いました。

司会 鈴木 建電会の発足当時の会員同志のつながりというか、人間関係はどんなようでしたか。

佐藤 当時は工事をするのにも資材は配給制度による統制下で、資材の仕入れもままならなかった。会員も今より先輩、後輩の関係が厳しく、入会したからといって二年ぐらいは一人前に扱ってもらえなかった。



右 杉本会長
左 菊地原副会長

山崎 私がおやじの代りに会合に出席したら、お前は会員かとおこられたことがあります。あとでおやじの代りということがわかってもらいましたが。仕事の関係で会合に従業員が出席することもあり、そんなわけでこのだれかがまったくわからないことがよくありました。こんなことが会を作るひとつの動機になったと思います。私はずっと現場ばかり出たのでなかなか顔を覚えてもらえませんでした。

石崎 当時官公庁からでる仕事は極端に少なかった。私は24年に登録しましたが、年に数回市から指名されればよいほうでした。

加賀谷 そんなわけで、どこも利益第一に考えていたから入札になると大変でした。どうやればフェアにできるかいつも考えていました。

菊地原 建電会に出させてもらったのは32年です。私が24歳の時でした。現在の会長さんや理事さんのなかで昔のことを知っている人が少なくなっても当たり前だと思います。現在百社のうち三分の二ぐらい、二世や三世になっているから、昔のことが全然わかなくても当然ですね。

当時、入会するのに保証人が必要だったが、そう簡単に保証人になっ

てくれる人が無くて、ずい分つらいおもいをしました

司会 鈴木

そういう意味でも当時の苦労話を残しておきたいものです。建電会時代、いまの厚生委員会のような組織がありましたか。どのようにして会員の親睦をはかっていたか。

石崎

当時会議でどんな激しいやりとりがあっても、話し合いが終わるとさっぱりしてそのまま皆で熱海へ行ってしまうということもありました。かみつくような言い合いをしても、会議が終われば忘れたかのように怒りを次の日まで持ち越すことはなくサッパリしたつき合いはよかったと思う。



右 佐藤 清

左 加賀谷 勉

中島

私は東芝をやめて、戦災の焼け跡からトランスを拾ってきて、トランスを巻きなおす、いわゆる再生の商売をやっていました。当時はどこでも電圧が下がっていたのでラジオも満足に聞けませんでした。そんなわけで電圧を上げるオートトランスがよく売れました。そんなわけで川崎から御幸にかけてラジオ屋さんや電気屋さんは顔なじみでした。

建電会に入会するのは大変だという話は聞いていました。商売をはじめて三～四年して入れてもらいましたが、それでもはじめはよくおどかされ、これでは入れないと思いました。

司会 鈴木

当時の工事のようすや資材はどんな具合でしたか。

石崎

当時はどこでも電圧が85ボルトぐらいに下っていたのでラジオはなりません。オートトランスの商売はこの電気屋でもやっていました。戦後はゴムの被服のない、表面だけ綿巻き、俗にジャバラと呼ばれた電線で屋内の配線工事をやりました。床下などもほかに使う線がな

いのでこれを張りました。パイプがないのでじかに器具につながりました。今から考えるとよく火事にならなかったものだと思います。

司会 鈴木 終戦当時の話にもふれていただければ。

佐藤 電線もトランスもみんな焼け落ちていました。トタン張りのバラックには、どの家にも電灯などありませんでした。たまたまトランスがあると、とんでもないところから200メートルも、300メートルも電線を引いてくるという調子です。電圧もまごまごすると70ボルトぐらいまで降下して電灯がついてもやっとローソクの灯ぐらいでした。

電線も焼けたはだか線で、よくても二種でした。それでも大変よろこばれて「電気屋さんか神様か」と感動されました。そんなことが21年まで続きました。町内会でも電力自制会というものを作って節電に協力しました。



右 十八日理事
司会
左 鈴木理事

山崎 終戦で廃業した工場から電線の払下げをしてもらいました。太い電線を電線工場で細い線に伸ばしてもらったこともありました。太さが一様でなくだんごのようにふくらんだところと細いところがある大変な電線も使いました。

佐藤 資材が統制されていたので仲間同士で資材を融通したり情報交換をさかんにやりました。また資材を会で共同購入して光陽電業さんの倉庫に保管し、必要に応じ会員にわけていました。ところが、その後品質のよいものが出廻るようになり、仕入れ価格を割ってしまい、結果役員さんが後始末をしました。

石崎 人の面、技術の面、資材面、総ていま考えると想像もつかないほどお

互いによく協力しました。長沢浄水場の工事で、鶴見の山の上まで3000本の電柱を建てるという仕事がありました。30年代というと経済状態はまだまだで、電柱など、なかなか手に入らない時代でした。その上コーラルタールを塗った電柱は体裁が悪いから駄目、黄色い電柱という注文が付き弱まりました。

当時役所は設計をするだけで、電柱を建てるに当ってはそれぞれの農家から農道使用の承認をとり、途中国鉄の線路の下にケーブルをくぐらせる許可もお願いするという具合でした。役所に人がいなかったのか、今と大違いです。農家は水道のことだからと許してくれましたが、国鉄はいばっていた時代だったので許可がとれるかどうか、ずいぶん心配したものです。

戦後10年ほどたってからのことです。工事は2年かかりました。人も資材も思うように手に入らない時代でしたが、会員が皆でよく協力してくれました。

内藤 40年代オリンピックが開催された時代から資材の質がぐんとよくなりました。それまではトランスにしろ何にしろ、信頼は薄かった。電線でも太さが一様でなく、太いところと、細いところがある。ひどい時には鉄線を使いました。ゴムの被服線が姿を消し、アメリカからビニール線が入ってきてから工事がぐんと楽になりました。

山崎 野球場の工事を関口さんがとり、うちが下請けをやらせてもらったことがありました。工事の人は44メートルの鉄塔ののぼりおりが大変なので、朝から弁当もちで鉄塔ののぼり夕方まで降りてこない。私は高い処が不得意なので下から荷物の上げ下げのロープ引きをやりました。この時代もいい資材がなくて4種線を使ったのを覚えています。

司会 鈴木 昭和40年代、中学生の卒業生が金の卵と言われた時代、電気業界でも人集めに苦労されたという話を聞いています。卒業生募集のパンフレットをつくり、会長さんが北海道、東北方面を歩かれたとか、このあたりの話をお願いします。

加賀谷 現在うちの番頭さんは北海道の広尾高校から来た一人です。愛工社さんにもいましたね。この人から話を聞けば、どうしてこちらへ来たのかくわしい様子がわかると思います。

内藤 当時の記憶はさだかではないが、電設工業界が会として団体で募集し

て、求人を希望する各社が電設工業会へそのむね申しでて、その中から採用したのではないかと思います。

加賀谷 私は個人で求人用のパンフレットを持って北海道の函館、江差、帯広
広尾の学校まわりをした記憶があります。



右 内藤監事
左 原副会長

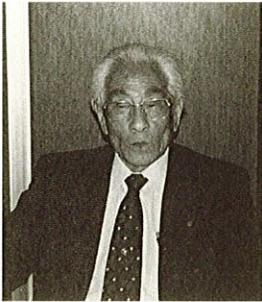
司会 鈴木 当時、外線工事をやる電気屋は電柱にしがみついているセミぐらいに
しか思われず、電気屋の仕事は大変だと人気がありませんでした。地方
でも就職先がたくさんあった時代だし、本人にその気があっても家族に
反対され苦労した覚えがあります。ほかに何かありましたら。

佐藤 電気工事士法ができ昭和37年9月に公益法人として電気工事士法によ
る電気工事士の認定講習会を開きました。これは通産省が日本電気協会
に委託して行ったもので、これでいままでも電気工事人の免許を持ってい
る者に認定講習で新しい電気工事士の免許がもらえることになりました。
認定講習は東京電力の協力をあおぎ南河原小の教室を借りて実施しまし
た。これに通産局から施設課長の蜂谷氏と電気協会神奈川支部長の鈴木
正一氏の両氏が出席立合いました。講習会の当日通産局の役人が来たの
で川崎駅まで出迎えを頼まれました。たまたまライトバンで迎えに行っ
てしまいあとで「ライトバンで迎えに行くとは何事か」としかられてし
まいました。

たくさんの会員が2日の認定講習を受け、菅原会館で閉校式をやった
ことも思い出のひとつです。

司会 鈴木 あの認定講習会は、社団法人川崎市電設工業会が業界にその地位を確
立したひとつの事業でした。

本日はいろいろのお話をしていただきありがとうございました。



暗闇に光を

電気屋が神様と言われた時代

二代会長 佐藤 清

焦土と化した川崎。……焼け後に焼け「トタン」で囲った、「バラック」建てが、あちら、こちら、に建てられていた。しかし、灯りもなく、食糧もない、日が暮れると寝る、夜が明けると起きる、雨、露を凌ぐだけで、生きているのが精一杯、お互いに励ましあって、生きていてよかったと言うのが、励ましの合い言葉であった。

そこで、東京電力と地方自治会が協力して、電力自制会を結成し、その「バラック」に電灯一灯でも点灯してやるために努力した。

焼け落ちた撚電線を一本一本に解いてその裸電線で外線引込み工事を施工し屋内も裸線又は第二種電線で配線した。一灯に限られたが点灯することができた光りは、「ロウソク」の灯りにも劣る程度だったが、お客さんは大喜び、その喜び様は今でも目に浮かぶ。「電気屋さんか神様か」と言われた時代であった。おそらく、電圧は(60v～70v)位しかなかったかと思われる。一台の変圧器で100メートル、200メートル先方まで延長して送電したのだから電圧降下も無理もない。

事後、随時、焼け変圧器等の巻き直し修理をした物を使用し復興していった。当時は電球一個たりとも、なかなか手に入れることができない時代であった。

何かするのにも資材も工具もなく、その上政府の物価統制下に置かれて動きようもなく、秋葉原、神田方面に材料をやみ仕入れに出掛けた。10数軒歩いてやっと購入が出来た。神田駅裏で材料を入手する事が出来た偶然の店は現在の(杉本電機産業株式会社)だった。我が家の自家用車は古びた、「自転車と、リヤカー」であった。その「リヤカー」に電線、ノブ碍子、等を積み込み大変な、重量であった。帰る道、五反田の坂と洗足池の急な坂がある。ここ迄来ると疲れも出て中々進まない。時間は遅くなるし、その時の苦しさは、欲も得も無くなる程の苦労、苦しみは、死ぬ思いであった。生涯、忘れる事はないと思う。

当時は工事をするにも各種資材は配給制度による統制下に置かれ中々資材の仕入れが出来ず、大変苦労した。昭和26年に私は市役所の入札で玉川小学校を工事しましたが、天井裏、床下等(ノブ)で(暫定3種電線)を引き配線工事で大変苦労した思い出がある。

三十五年のあゆみ 焦土から立ち上がって

川崎市建電会の時代 昭和26年～35年

昭和20年4月15日未明の川崎大空襲は市街地に壊滅的な打撃を与えた。川崎駅から日本鋼管の高炉がさえぎるものなく望まれるほど総てのものをやきつくしてしまった。

やがて8月15日、悪夢のような戦争は終わった。日本鋼管の高炉の火も消え、川崎の町もこれで終りかと町を去る人も多く、20年11月には人口15万まで激少してしまった。その後、復員軍人、引きあげ者、疎開先からの帰省者と人口は徐々に増加したが、廃虚に住む市民は住宅難、食糧難を切りぬけねばならなかった。

一方、戦争中国家が支出した膨大な軍事予算によってひきおこされたインフレーションは敗戦によって一気に爆発表面化した。市民はインフレの不安の生活を送ることを余儀なくされていた。

昭和22年2月になると慢性的な電力不足は遂に隔日停電といった事態をまねき、市内の工場のなかには操業不能に落入るところもでてきた。電力自制会をつくり家庭での電力の節約を強制した。予告なしの停電、不良配線による停電などめずらしいことではなかった。

資材は極端に不足していた。敗戦で休業した工場や従業員の寮からトランスや電線を転用するのはよいほうで、外線に鉄線を使うところもでてきた。電圧降下は当たり前でそのままではラジオも聴取不可能だった。

そういう状況のなか、焼けあとのバラックに一灯の電燈をともすことが当時の電気工事業者の急務だったのである。

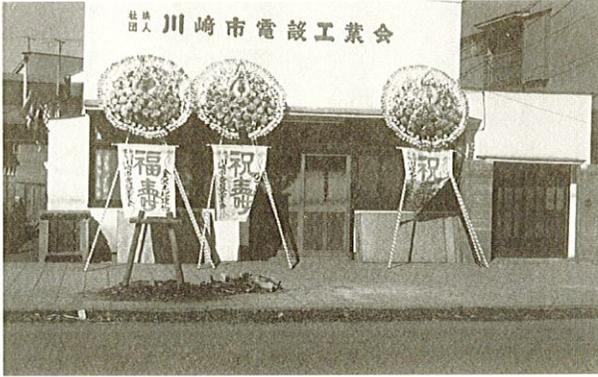
トランスから200メートルも外線を引き、電圧の降下した電気をついた電球の明るさはわずか2燭光程度だったが、「電気屋さんか神様か」と市民から感謝された。市民が明るい夜をすごすことは容易なことではなかったのである。

昭和24年には市内の工場のなかに給料遅配をするところが目立った。国鉄の第1次、第2次と相次ぐ人員整理は11万人を超える。企業のなかにも人員整理をするところがでてきた。

戦後間もなく、市内の各所で姿を表わしたヤミ市も食糧事情の好転、物資の統制が緩和

され市民の生活に安定のきざしが見えはじめると各地で商店街が結成され、町は次第に明るさを取り戻していった。

昭和25年におきた朝鮮戦争は日本に特需旋風を巻き起し、日本の経済に大きな息を吹き込んだ。川崎の工業生産もこれを境に大きく飛躍していった。



中華料理店を改装
南幸町の旧事務所

昭和26年、国内民間航空の再開、民間放送（ラジオ）がうぶ声をあげ、28年にはNHKテレビ放送が開始された。昭和30年には、第30回国民体育大会神奈川大会が開かれ、富士見公園で軟式野球、相撲、重量挙げ、馬術、バレーボールの5種目が行われた。11月2日に開催された、公民館の重量挙げには昭和天皇、皇后両陛下の御来臨を得た。31年5月になるとさいか屋川崎店が開業、市内ではじめてエスカレーターが披露された。東京への電話自動化はこの年の6月だった。そして、昭和31年7月経済企画庁が発表した「経済白書」は「もう戦後ではない」と結論を下した。

戦後の荒廃からの脱出、そして昭和30年から32年にわたる鉄鋼・造船ブームによって引き起こされた、いわゆる神武景気は日本が世界の奇跡とまで言われ、高度成長の道を歩ませることになった。

昭和33年には皇太子明仁親王御成婚、NHKテレビ受信契約数100万を突破、東京タワーの完成、1万円札の発行、そして、34年から35年にわたる岩戸景気は国内に耐久消費財ブームを生み三種の神器と言われた「テレビ」「電気洗濯機」「電気冷蔵庫」を各家庭に行き渡らせた。

37年に入ると東海村の原子炉が運転され、翌38年原子力発電に成功、原子力エネルギー利用の新しい時代に入っていったのである。

こういう時代の背景のなかで川崎市の電気工事業者は戦後荒廃した川崎市の復興にペンチ一丁でたちあがり努力と協力を惜しまなかった。

やがて市内の復興事業が一段落すると、業界は新たな需要の拡大を求める方向性をせまられることになった。

川崎市の発展にともなう公共工事、成長を続ける企業の設備投資、住宅の電化にともなう設備、また新しい需要が要求する新器材の導入と新技術などに迫られ、業界の発展をめざす川崎市の電気工事業者は結束する必要があった。

当時はまだ工事をするのにも資材は配給制度による統制下に置かれ資材の仕入れがままならず苦勞の連続だった。

そういう動きのなかで、昭和26年川崎市役所指名電気工事請負業者20数社が集まり業者間相互連絡と懇親を計る目的で電気設備業団体川崎市建電会を設立した。川崎市建電会は業者の交流の場と同時に、情報交換、技術の向上、経営の合理化など共存共栄の成果を上げると共に業界の地位向上を計った。

ところが川崎市建電会は創立したものの、会合を持つにも集まる場所がなく、京浜急行川崎駅前の梅月食堂、川崎クラブがよく利用されたが、なにかと不自由なことが多かった。

その上、20人近い会員が市内を移動することで、とかく誤解されることも多かった。

会員の増加と、会の発展にともない会員の会館建設の要望が高まった。役員は会館建設の敷地探しに連日奔走したが、思ったものが見つからなかった。

最後に川崎駅西口の金沢不動産の紹介で、昭和35年川崎市南幸町2丁目59番地に、敷地52坪平屋建て相沢中華店を買収、屋内を改装、これを事務所と会議室に当てた。

社団法人

川崎市電設工業会の誕生

そして同年5月

会 長	庄司 大蔵	株式会社 大島電機商会
副 会 長	佐藤 清	株式会社 佐藤電機商会
”	青木 嘉吉	株式会社 青木電機商会
理 事	本堂 勘市	本堂電気株式会社
”	矢崎 直	矢崎電機株式会社
”	平井 謹吾	東京電機株式会社
”	榊原 長充	神奈川電気工事株式会社川崎出張所
会計監査	小林 強三	有限会社 小林電設工業社
”	細谷 定春	細谷電機工業株式会社

以上9名の設立発起人によって川崎市建電会を発展解消、認定団体川崎市電設工業会と改め仮事務所をここに置き初代会長に庄司大蔵（故人）が就任した。

そして、本会設立の目的を「会員の相互協力をもって市発展に積極的に寄与し、併せて公正なる業界の発展と相互扶助を計り、技術的経済的並びに社会的水準の向上に努力して事業本来の社会的使命を完遂せしめ、市民及び業界全般の福祉増進に貢献する」と定款に定め正会員38社で法人認可の申請を行った。

結果、昭和36年9月21日、民法第34条の規定により神奈川県知事内山岩太郎より公益法人設立を認可された。そして、川崎駅ビルホールで関係諸官庁、諸団体、東京電力の諸氏をまねき盛大な祝賀会を行った。

設立当初の会員は35社、同年10月19社の賛助会員の入会があり年を過ぎるごとに会員の数は増加の一途をたどっている。

昭和 36 年

社団法人の認可

川崎市電設工業会が神奈川県知事より社団法人と認可された昭和36年、池田内閣は所得倍増予算を成立させ、国民は経済の先行きに明るさを感じとっていた。

県内では横浜マリーナタワーが完成、東芝科学館の開館はこれからの電気業界の発展を暗示していた。

そういう環境のなかで、本会はじめての事業、「電気工事士認定講習会」開催にむけてその準備に取り組んだ。昭和35年8月1日法律第139号で公布された「電気工事士法」の施行は昭和38年1月であった。それまでの有資格者と工事従業者を経過措置として、つまりその間に認定講習を受講することで電気工事士の免許が交付されることになっていた。

本会は資格認定ならびに指定講習団体になるべく役員会で協議、通商産業局に申請書を提出した。この年11月16日、電気用品取締法（法律第234号）が交付される。



昭和 37 年

電気工事士認定講習会

37年度の最重点事業であった「電気工事士認定講習会」は昭和37年7月5日付（37東産公第6433号）で東京通商産業局より指定を受けた。そしてAコース206名、Bコース164名計370名が受講、認定された。

電気工事士認定講習は誕生したばかりの本会にとって大事業であった。昭和37年9月、南河原小学校で、電気工事士の認定講習会を開催した。そして11月5日菅原会館で閉会式を行った。会員の協力で無事終了したが、経過措置で認定資格に満たなかった者及び新人育成のため翌38年より現在まで毎年電気工事士試験準備講習会を開催、さらに高圧ケーブル端末処理の認定講習会も実施している。38年2月2日社団法人日本電設工業会へ通常会員として加入した。この年NHKテレビの契約数が1000万を突破した。



電気工事士認定講習会 閉講式 昭和37年11月5日

撮影：菅原会館

37. 11. 5 認定講習会閉講式

講習会

- | | | |
|------------|---------------------------|---------|
| 37. 11. 20 | 高圧鋼帯鎧装ケーブル端末処理講習会 | 参加者 60名 |
| | 講師 佐々木電線株式会社萩原技術部長他 | |
| 12. 1 | 電気設備工事積算講習会 | 参加者 30名 |
| | 講師 宮本勝一（日本電設工業会技術委員会副委員長） | |
| 38. 3. 27 | マイクロ会計技術者養成講座（27、28、29日） | 参加者 8名 |
| | 講師 ミクロ経営協会 | |

研修旅行会

- | | | |
|------------|------------------------------|---------|
| 37. 10. 24 | 埼玉県行田、岩崎電気株式会社工場見学(水上温泉菊富士泊) | 参加者 31名 |
| | 研修見学会 | |
| 38. 3. 22 | 東京電力株式会社横須賀火力発電所従業員見学 | 参加者 42名 |

協力

庄司、矢崎両理事神奈川県建設業労務管理近代推進委員として神奈川県労働基準局長より委嘱される。

昭和 38 年

7月19日ケネディ教書による株の暴落で経済全般にわたって不安感があったが、39年、はじめてアジアで開催される東京オリンピックに期待を寄せた。

本年度より電気工事士試験受験準備講習会を実施する。この講習会は引きつづき現在まで継続され本会の重要事業のひとつとなっている。また、会員の安全意識の高揚と交通災害防止のため昭和39年2月14日に交通法規講習を行った。この講習会も引きつづき例年行われている。

この年、日本の火力による発電量は水力を上回った。

講演会

38. 8. 9 感電災害についての講演会 参加者 42名
講師 川崎労働基準監督署熊沢第二課長

講習会

9. 29 高圧電気技術者講習会 川崎職業訓練所 受講者 74名
39. 3. 18 硬質ビニール管工事講習会 川崎職業訓練所 受講者 68名

研修見学会

38. 6. 7 東芝技術研究所内 東芝科学館見学 参加者 77名
10. 26 佐久間発電所及びダム（26～27日） 参加者 40名

研修旅行会

7. 13 旅行会 吉野 参加者 42社

昭和 39 年

オリンピック施設見学



東海道新幹線が全線開通する。10月10日から24日まで開催された東京オリンピックと高度成長のはなやかな側面と裏腹に第3次池田内閣が退陣、佐藤内閣が成立、高度成長のひずみを是正し「高度成長をめざす」と表明した。しかし、年末には日本特殊鋼、サンウエーブ工業が倒産、高度成長のひずみが日本中を襲った。

10月30日、建労災防神奈川県支部、12月1日、同川崎分会が発足した。

7月11日、電気事業法（法律第170号）が公布され、一般用電気工作物の電気保安責任が電力会社から電力を使用する需要者にあると規定された。

講習会

39. 8. 5 電気設備工事費積算指針講習会 県立図書館大会議室 受講者 80名
講師 社団法人日本電設工業会 宮本勝一

研修見学会

6. 13 第9回全国優良電設資材展 都立産業会館 参加者 46名
オリンピック施設（メインスタジアム 駒沢公園）見学

研修旅行会

9. 12 旅行会 仙石原 俵石閣 参加者 51名
10. 7 市役所親善野球大会 参加者 23名
40. 2. 6 " 麻雀大会 参加者 31名

昭和40年

40年に入ると山陽特殊鋼が約500億円の負債で倒産、山一証券の経営のゆきづまりなど不況が本格化した。一方電気銅値上りによる電線価格の高騰のため、41年2月17日、市役所各局長に陳情を行った。朝永振一郎ノーベル物理学賞を受賞する。

この年の最重要事業である会館建設については数度の委員会、理事会、例会の審議を経て最終案を決定、41年8月31日完成を予定する。

会員有志で 電友会ゴルフクラブ 会員数19名（40. 8. 14）

釣クラブ 会員数13名（40. 8. 20）それぞれ発足する。

説明会

40. 4. 10 建設業労働災害防止協会加入促進説明会

講師 協会職員

7. 29 新電気事業法説明会 労働会館

東電・工業組合共催の説明会が開かれ当会から会員が参加した。

11. 10 工事用機器（鋸打機）説明会

講師 ヒルテイ及びドライブイト両社員

9. 10 工事用資材（MIケーブル）説明会

講師 古河電工社員

研修見学会

8. 25 三菱大船工場・相模ダム及び発電所従業員見学会

参加者 47名

8. 10 旅行見学会 黒四ダム

参加者 56名

昭和41年



会館地鎮祭

4月5日、新館建設にあたって地鎮祭を行う。8月25日竣工引渡し、即日新会館で会務を開始する。9月21日旧駅ビルにて市役所、業界関係者150名を招待、社団法人認可5周年を記念、併せて新会館完成披露する。



会館正門にて



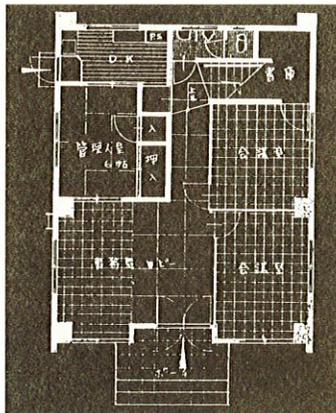
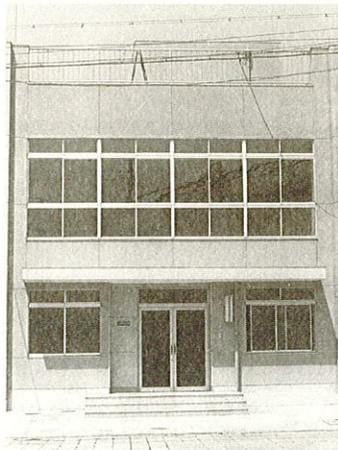
落成記念式

川崎市の要請により、非常災害救援隊を結成する。この年、川崎駅前京浜急行高架完成東急・田園都市線（溝の口ー長津田間）開通、南武線の登戸・立川間の複線が完成全線複線化する。一方で、カナダ航空、BOAC、YS11の飛行機事故の多い年だった。

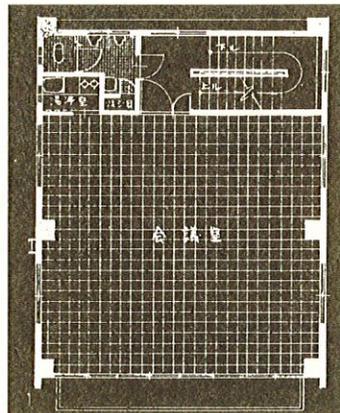
研修見学会

42. 3. 25 東電久里浜火力発電所従業員見学会

参加者 30名



1階平面図



2階平面図

説明会

42. 3. 10 工事用資材説明会（ドア・エンジンについて）
 講師 寺岡オート・ドア（株）社員

昭和42年

4月1日川崎市民家園が開園。同月30日、26年3月1日より川崎駅前～桜本間で営業をはじめた市営トロリーバスの運行が廃止になる。この年国民総生産が米、西独について世界3位になり自動車保有台数1000万を突破する。都知事に美濃部亮吉、県知事に津田文吾、横浜市長に飛鳥田一雄が選出される。

4月20日、神奈川県電気協会高津支部が発足。

説明会

42. 9. 9 銃器火薬取締法規説明会 参加者 56名
 講師 県警、保安係ほか

講演会

42. 11. 10 労務管理について講演会（第1回） 出席者 48名
 12. 11 " "（第2回） 出席者 41名
 43. 3. 11 法人税について 出席者 42名
 講師 南税務署長ほか

研修見学会

42. 11. 11 従業員見学会・日立国分工場 参加者 35名
 43. 3. 9 麻雀大会（当会館及び臨港サービスセンター） 参加者 16名

昭和 43 年



43. 5. 12 第8会総会 熱海 木暮荘

川端康成がノーベル文学賞を受賞、小笠原諸島が日本に復帰、郵便番号制度が発足する。東名川崎インターが開設され高速道路時代がはじまる。（東名高速道路の全面開通は44年5月26日）

4月1日、神奈川県電設健康保健組合の設立が認可された。44年1月7日菅原会館で川崎市役所各局長以下係官を招き新年賀詞交換会を開催した。

講演会

43. 9. 10 労働基準法の改正点について 聴講者 36名
講師 小熊宏三（川崎南労基署、労働基準監督官）

講習会

43. 4. 1 監督者訓練講習会 第1コース（1、2日） 受講者 14名
3 " 第2コース（3、4日） " 13名
講師 第1コース・小川達雄（県労働部職業訓練課主査）
第2コース・星野三郎（ " 研修指導係長）

43. 10. 24 CVケーブル端末処理講習会 受講者 36名
講師 古河、横浜電線製造所池田技師他

説明会

8. 8 仕様書並びに資材表について 菅原会館
8. 12 監督員規定及び検査規定について "
出席者 市役所営繕第二課長、電気係長、通信施設係長、庶務課検査係長
以下各担当係員・当方は正会員全員出席

研修旅行会

7. 13 旅行会・伊豆稲取・ホテル伏見 参加者 34名

研修見学会

10. 26 従業員見学会・日立習志野工場及び成田山新勝寺 参加者 36名

展示会

7. 10	安全靴他	緑災害防具株式会社
	火災報知機	ニッケン電子株式会社
9. 10	電設用電動工具他	不二工業株式会社
11. 12	ドライブイト他	日本ドライブイト株式会社
44. 3. 11	米国製電設用電動工具他	不二工業株式会社

昭和 44 年

44年9月11日の臨時総会で南幸町の旧事務所を(株)共栄社に売却、現会館の敷地(5代会長関口邸)約75坪を買収する。会館特別委員会をつくり建物の設計を川崎市耐火建築助成公社(現まちづくり公社)に委託する。会館建設特別委員会を結成委員会に現杉本会長が当たる。3月31日川崎市電が廃止される。

講習会

44. 4. 18	新入社員教育講習会	出席者 7名
4. 19	”(雇対協主催新卒激励大会に参加)	出席者 9名
	講師、県雇対本部事業部長、出口直臣 神電工職員、熊田節夫	
45. 3. 19	積算技術講習会 産業文化会館	参加者 51名
	講師 社団法人日本電設工業協会技術委員会副委員長・宮本勝一	
45. 3. 11	幹部社員講習会	受講者 10名
	講師 川崎職業安定所次長	
3. 6	従業員技術講習会	参加者 30名
	東京電力横須賀火力発電所及び油壺マリーナランド	

展示会

7. 10 展示説明会 提供者 矢崎総業株式会社 大江電機株式会社

昭和 45 年

電気工事士法	昭和35年8月1日・法律第139号
電気用品取締法	昭和36年11月16日・法律第234号
電気事業法	昭和39年7月11日・法律第170号
電気工事業法	昭和45年5月23日・法律第90号

45年3月14日、日本万国博覧会が開会9月13日に閉会された。

45年5月23日「電気工事業の業務の適正化に関する法律」（電気工事業法）が公布になった。これにより電気工事業者は11月21日から46年2月22日までに登録手続を行い、営業所には電気工事の標識を掲げなくてはならなくなった。国民総生産70兆円。

12月2日、県主催の法改正に伴う合同打合せ会が持たれた。

現在建設業のなかで電気工事のみが法律の規制対象となり、全員が登録業者という独立した業種となっている。



45. 6. 8 万国博にて

講習会

- | | | | |
|------------|--|-----|-----|
| 45. 4. 24 | 新入社員教育講習会 | 受講者 | 12名 |
| | 講師 川崎職安 植田指導課長 | | |
| 45. 10. 21 | 税務講習会 | 参加者 | 45名 |
| | 講師 川崎南税務署第一法人課長・法人税審理係長
所得税第一課相続税係員 | | |
| 46. 2. 10 | 幹部社員講習会 | 受講者 | 13名 |
| | 講習 川崎職安 晝間次長 | | |

説明会

45. 9. 10 展示説明会 提供者・不二工業(株)・横浜シャープ電機(株)

研修旅行会

6. 8 見学旅行会・万国博（8～11日） 参加者 48名

協力

- | | | | |
|-----------------------|-----------------|-----|-----|
| 川崎建設安全会議委員 | 川崎商工会議所建設第二部会委員 | 辻 | 嘉三郎 |
| 建設業労働災害防止協会神奈川支部理事 | | 辻 | 嘉三郎 |
| 〃 | 〃 川崎分会副分会長 | 辻 | 嘉三郎 |
| 〃 | 〃 川崎分会常任幹事 | 加賀屋 | 勉 |
| 神奈川県雇用対策協議会評議員、川崎支部委員 | | 杉本 | 徳男 |
| 神奈川県電気工事士試験委員 | | 佐藤 | 清 |

昭和 46 年

8月28日社団法人川崎建設業協会と共益費協定をむすぶ。政府は8月28日より円の変動為替相場移行を決定、大蔵省、8月末の外貨準備高が、125億ドル余で米をぬき世界第2位と発表する。8月16日、東京の株式市場米のドル防衛策（ドルショック）で売り注文が殺到、ダウ株価は史上最大の暴落、県内の輸出業者に打撃を与える。

4月の市長選で伊藤三郎が当選する。

説 明 会

- | | | | | |
|-----------|---------------------|----------|-----|----------|
| 46. 6. 28 | 学校規格図面説明会 | 菅原会館 | 受講者 | 60社（71名） |
| | 講師 | 川崎市役所職員 | | |
| 9. 10 | 神奈川県電設健康保険組合加入促進説明会 | | 参加者 | 50名 |
| 47. 3. 10 | 製品展示説明会 | 武藤工業株式会社 | 参加者 | 49名 |

研修見学会

- | | | | | |
|----------|-----------------|----------|-----|-----|
| 47. 2. 3 | プレハブ中層住宅電気工事見学会 | 住宅公団稲毛団地 | 参加者 | 75名 |
|----------|-----------------|----------|-----|-----|

研修旅行会

- | | | | | |
|-------|-------|------------|-----|-----|
| 9. 24 | 見学旅行会 | 北陸（24～26日） | 参加者 | 34名 |
|-------|-------|------------|-----|-----|

協 力

- | | | |
|---------------------|----|----------|
| 川崎建設安全会議委員 | 辻 | 嘉三郎 |
| 建設業労働災害防止協会神奈川支部理事 | | ” |
| ” | ” | 川崎分会副分会長 |
| ” | ” | ” |
| ” | ” | ” 監査 |
| 神奈川県雇用対策協会評議員川崎支部委員 | 柘植 | 善一 |
| 神奈川県電気工事士試験委員 | 杉本 | 徳男 |
| 川崎商工会議所建設第二部会委員 | 佐藤 | 清 |
| | 辻 | 嘉三郎 |

昭和 47 年

新会館建設について47年5月17日川崎市耐火建築助成公社と正式交渉開始以来、数次にわたる委員会理事会で検討の上8月2日開催の臨時総会で合同ビル建築方針を決定し12月12日小川町仮事務所に移転の上、翌13日助成公社と正式契約を締結した。

4月1日、川崎市政令指定都市に移行、5月15日沖繩復帰、7月7日、日本列島改造論をかかげた第1次田中内閣成立する。

6月3日、雇対協、川崎職安、川崎市主催の新規学卒就職者歓迎激励大会に参加した。この年より毎年参加する。また新年賀詞交換会が恒例化されるようになった。

6. 3 新規学卒就職者歓迎激励大会 産業文化会館 参加者 16名
主催者 雇対協 川崎職安 川崎市

説明会

47. 5. 29 集団求人説明会 参加者 17名
講師 川崎職安・内藤職業指導係長、中山係長
8. 10 建築基準法説明会 参加者 48名
講師 市役所檜沢部長・内藤課長・村田係長
10. 20 建築基準法に基づく許可申請実務説明会 商工会議所 参加者 40名
講師 県・市村建設係長・市・勝山用度第二課長
11. 10 労働安全衛生法説明会 参加者 56名
講師 川崎南労働基準監督署・秋山監督官
11. 14 労働安全衛生法説明会（共催） 高津市民館 参加者 80名
講師 川崎北労働基準監督署・内田署長他（工業組合高津支部員共）

見学会

7. 22 見学旅行会・松下電工真門工場 参加者 42名

研修旅行会

48. 2. 18 金城館（18、19日） 参加者 49名
48. 1. 10 新年賀詞交換会 商工会議所
出席者 正会員 72名（65社）・賛助会員 13名（12社）
顧問他役所関係 18名

協力

- | | | |
|---------------------|---|---------|
| 川崎建設安全会議委員 | 辻 | 嘉三郎 |
| 建設業労働災害防止協会神奈川支部理事 | | 〃 |
| 〃 | 〃 | 川崎分会副会長 |
| 〃 | 〃 | 〃 監査 |
| 神奈川県雇用対策協会評議員川崎支部委員 | 杉 | 植 善 一 |
| 川崎商工会議所建設第二部会会員 | 辻 | 本 徳 男 |
| 〃 中小企業振興委員 | 矢 | 崎 直 |
| 神奈川県電気工事士試験委員 | 佐 | 藤 清 |

昭和 48 年

現会館落成



田中内閣の「列島改造」で好景気ムードのなか、中東戦争により石油産油国が原油価格の大幅引きあげと、11月7日OPECの原油供給削減決定は石油依存の日本経済に大きな影響を与え、国内はいわゆる第1次オイルショックに見舞われた。国内は物不足と物価狂乱のインフレ、電設工業界でも電設資材の急激な値上がりと不足になやまされ、仕事ができないという事態が生じた。

全日電工連を中心に国会へ「電線よこせ運動デモ行進」を行い組合は組織をあげて国会を動かし、メーカーに資材の放出を求めた。

川崎でも8月18日、川崎市長と建設業協会へ電材不足の実情について、12月13日には即契約工事単価の補正など市長に特別措置の適用の陳情を行った。

10月16日電公ビル（現会館）の落成披露に正会員85名（69社）賛助会員17名（14社）他顧問、市役所、会社、諸団体関係計67名が出席した。佐々木、公社、当会の共同ビルとして防火管理協議会を設置して会館運営の適正化に努めた。

48. 4. 28 新規学卒就職者歓迎激励大会 産業文化会館 参加者 15名
主催者 雇対協 川崎職安 川崎市

講習会

48. 10. 4 消防設備士試験受験準備講習会（共催） 川崎専修職業訓練校
講師 川崎市消防局職員 受講者 8名
49. 3. 14 幹部社員講習会 受講者 10名
講師 神奈川県雇用対策協会 高井武治
49. 3. 17 高圧ケーブル端末処理講習会 参加者 20名
講師 東電職員

説明会

48. 12. 22 新製品展示説明会 参加者 54名
展示者 日通工販売株式会社

49. 2. 28 特別措置要綱説明会 参加者 48社
 説明者 川崎市役所総務局、建築局職員
49. 3. 11 税務説明会 参加者 49社
 説明者 川崎南、北税務署職員

講演会

49. 3. 11 環境の変化に対処する電設業界の将来について 参加者 49社
 講師 神奈川中小企業指導員 豊田敏夫

研修旅行会

48. 11. 7 旅行会 水明荘 参加者62名（内賛助会員5名）
48. 10. 16 会館落成披露
 出席者 正会員85名（69社）賛助会員17名（14社）他顧問
 市役所 議会、公社、諸団体関係67名
49. 1. 10 新年賀詞交換会
 出席者 正会員69名（62社）賛助会員13名（10社）他顧問
 市役所、議会、公社、協会、諸団体関係45名



電友会 48.7.26
 箱根湖畔ゴルフコース

協力

- | | |
|----------------------|---------|
| 川崎建設安全会議委員 | 辻 嘉三郎 |
| 建設業労働災害防止協会神奈川支部理事 | 〃 |
| 〃 〃 川崎分会副分会長 | 〃 |
| 〃 〃 〃 監査 | 柘 植 善 一 |
| 川崎商工会議所建設工業部会幹事 | 辻 嘉三郎 |
| 〃 〃 | 矢 崎 直 |
| 神奈川県雇用対策協会評議員、川崎支部委員 | 杉 本 徳 男 |
| 川崎商工会議所中小企業振興委員 | 矢 崎 直 |
| 神奈川県電気工事士試験委員 | 佐 藤 清 |

昭和 49 年



高圧ケーブル工事技術講習会

1月16日、石油・電力節減の第2次規制措置がとられた。オイルショックによる洗剤・トイレットペーパー不足が県内に拡がり各地で買い急ぎの騒動がみられた。

オイルショックによる物価の高騰と景気の後退により戦後はじめてマイナス経済成長と悪条件が重なったが市内の設備投資と住宅の建設などで支えられた電設工業界は、電材不足や値上りはあったが何とか切りぬけることができた。

5月9日、伊豆半島地震、6月1日、電気料金大幅値上げと暗いニュースのなか、10月8日、佐藤栄作がノーベル賞に輝いた。

7月1日、市政50周年に当り当会は自治行政の振興と公共福祉増進に貢献したことをもって川崎市長より表彰を受けた。

49. 4. 19 新規学卒就職者歓迎激励大会 産業文化会館 参加者 10名
主催者 雇対協 川崎職安 川崎市

講習会

49. 7. 25 高圧ケーブル工事技術講習会 参加者43名
講師 関東電気協会 東電 昭和電線電纜技術職員
50. 3. 14 幹部社員講習会 受講者10名
講師 神奈川県雇用対策協会 出口直臣

説明会

49. 5. 21 求人説明会 参加者 12名
説明者 川崎職安職員
49. 9. 2 学校規格図面改正説明会 出席者理事全員
説明者 川崎市役所営繕第三課長他
49. 9. 10 新製品展示説明会 参加者 59社
説明者 西日本電線(株) 株式会社戸上電機製作所
50. 3. 25 消防法令改正説明会 参加者 25社
説明者 川崎市消防局警防部予防課職員

50. 3. 10 新製品展示説明会 参加者 56社
 説明者 協同電気(株) 古河電気工業(株) 協和電線(株)

講演会

49. 11. 18 講演会 日本経済の動向について 参加者 65社
 講師 佐藤一郎
 50. 3. 26 講演会 不況期の電気工事業の経営対策 参加者 25名
 講師 武川 潔

研修旅行会

50. 5. 24 旅行会 紀州勝浦 白浜 参加者 27社
 50. 1. 8 新年賀詞交換会
 出席者 正会員63社 賛助会員17社 顧問、市役所、公社、協会
 諸団体関係33名

協力

川崎建設安全会議委員	辻 嘉三郎
建設業労働災害防止協会神奈川支部理事	〃
〃 〃 川崎分会副分会長	〃
〃 〃 〃 監査	高 橋 徳太郎
川崎商工会議所建設工業部会幹事	辻 嘉三郎
〃 〃 幹事	矢 崎 直
神奈川県雇用対策協会評議員、川崎支部委員	杉 本 徳 男
川崎商工会議所小規模企業振興委員	矢 崎 直
神奈川県電気工事士試験委員	〃

昭和 50 年



高圧ケーブル端末処理講習会

創立15周年の記念式典をとりやめ、社会福祉事業のため川崎市に金50万円の寄附を行った。電気工事業法では電気工事業の登録申請を行ってから5年ごとに更新の手続をすることが規定されている。51年3月が最初の登録から5年目にあたり、会員は初めての更新手

続きを行った。

この年の3月10日に山陽新幹線が開通する。4月22日、知事に横浜国立大学教授長洲一二が当選した。12月に入り赤字国債の発行・企業倒産件数が戦後最高となった。また光化学スモッグの多発した年でもあった。

50. 5. 16 新規学卒就職者歓迎激励大会 産業文化会館 参加者 24名
主催者 雇対協 川崎職安 川崎市

講習会

50. 11. 7 高圧CVケーブル端末処理講習会（7～8日） 受講者 41名
講師 関東電気協会 東電 昭和電線電纜(株)技術職員

51. 3. 18 幹部社員講習会 受講者 10名
講師 神奈川県雇用対策協会・出口直臣

51. 3. 27 電気工事士実技講習会 受講者 30名
講師 東京電力(株)川崎支社職員

講演会

50. 11. 10 市政と一般情勢について 出席者 58社
講師 川崎市長・伊藤三郎

研修旅行会

50. 10. 19 旅行会 伊東サンハトヤ 参加者正会員69社、賛助会員15社

51. 1. 6 新年賀詞交換会
出席者 正会員66社 賛助会員17社 顧問、市役所、市議会、公社
職安、協会、諸団体等28名

協力

川崎建設安全会議委員	辻	嘉三郎
” ”	石	崎 寛
” 小委員会委員		”
” ”	肥	後 一二三
建設業労働災害防止協会神奈川支部理事	辻	嘉三郎
” ”	石	崎 寛
” ” 川崎南分会副分会長	辻	嘉三郎
” ” ” 監査	肥	後 一二三
” ” 川崎北分会副分会長	石	崎 寛
” ” ” 監査	高	橋 徳太郎
川崎商工会議所建設工業部会幹事	辻	嘉三郎
” ”	矢	崎 直
” 小規模企業振興委員		”

神奈川県電気工事士試験委員
神奈川県雇用対策協会評議員川崎支部委員

矢崎 直
杉本 徳男

昭和51年

南幸町の旧会館の表札
電公ビル電設工業会のドアに
かかげられている



6月4日、末長学園に通学バスを贈呈する。公正取引委員会の指導により臨時総会を開催、運営規則を破棄し、建設業の適正化を図った。

48年のオイルショックにはじまった不況とインフレの波は51年になっても好転するようすは見せなかった。政財界はロッキード事件の表面化でゆれうごき、その中で行われた総選挙で自民党は過半数をわった。自民党を離党した河野洋平のひきいる自由クラブが大躍進した。

51. 6. 11 新規学卒就職者歓迎激励大会
出席者 21名
場所 当会々館 東芝科学館

講習会

51. 8. 26 差込形対塩ケーブルヘッド講習会
受講者 47名
講師 古河電気工業(株)技師

11. 11 高圧CVケーブル端末処理講習会（11～12日）
受講者 44名
講師 関東電気協会 東電 昭和電線電纜(株)技術職員

説明会

51. 6. 2 求人説明会
出席者 12名

51. 7. 9 新製品展示説明会 超小型携帯式パイプツール
参加者 59名
説明者 コネックス商事(株)

研修旅行会

52. 2. 20 旅行会 熱海 大野屋（20～21日）
参加者 57名

52. 1. 10 新年賀詞交換会
出席者 正会員74社（76名）、賛助会員16社（20名）、顧問、国会
県会、市会、市役所、公社、協会、諸団体25名

協 力

川崎建設安全会議委員	辻 嘉三郎
” ”	石 崎 寛
” 小委員会委員	”
” ”	肥 後 一二三
建設業労働災害防止協会神奈川支部理事	辻 嘉三郎
” ”	石 崎 寛
” ” 川崎南分会副会長	辻 嘉三郎
” ” ” 監査	肥 後 一二三
” ” 川崎北分会副会長	石 崎 寛
” ” ” 監査	高 橋 徳太郎
川崎商工会議所議員	石 崎 寛
川崎商工会議所建設工業部会幹事	辻 嘉三郎
” ”	矢 崎 直
” 小規模企業振興委員	”
神奈川県雇用対策協会評議員、川崎支部委員	杉 本 徳 男
（財）神奈川県消防設備安全協会理事	”

昭和 52 年

前年度から続く不況のなかで「経済のことは私にまかせなさい」と51年12月福田内閣が成立した。しかし、政府の行う一連の景気浮揚策も効果があがらぬまま、急激な円高は輸出関連企業はもちろん、国内の総ての産業に影響を与えた。電気工事業界も例外ではなかった。

11月24日、横浜球場の完成を機に川崎球場を根拠地としていた大洋球団が横浜へ移り、代ってあとにロッテ球団が進出を決めた。また、9月28日の日本赤軍日航機ハイジャック事件は全世界を震撼させた。

5月27日には独占禁止法改正案が成立した。公立取引委員会は54年8月「事業者団体の活動に関する独禁法上の指針」を決定公表するが、その解決をめぐり建設業界に大きな波紋を投げかけた。

52. 9. 6 新規学卒就職者歓迎激励大会 産業文化会館 出席者 9名

講習会

52. 10. 6 電気保安技術講習会 受講者 70名

講師 東京電力(株)川崎支社職員

10. 17 差込形屋外耐塩用終端接続講習会 受講者 60名
講師 関東電気協会 東電 古河電気工業(株)技術職員
12. 1 高圧CVケーブル端末処理技術講習会(1~2日) 受講者 36名
講師 関東電気協会 東電 昭和電線電纜(株)技術職員
53. 3. 10 防災関係講習会 受講者 30名
講師 松下電工(株)横浜営業所技術職員

説明会

52. 6. 16 土木工事施工基準説明会 受講者 60名
講師 川崎市土木局道路補修課施設係長 小沢邦房
6. 17 通信設備工事共通仕様書説明会 受講者 17名
講師 川崎市建築局建築部設備課通信施設係長 竹内秀男
8. 4 労働安全衛生法説明会 受講者 47名
講師 川崎市南労働基準監督署第三方面監督官 前田義雄
9. 13 川崎市勤労者福祉共済制度説明会 受講者 61名
講師 川崎市市民局勤労市民課勤労者共済係長 半田富次
9. 13 建設業総合共済制度説明会 受講者 61名
講師 安田生命企業保健営業第二課第三係長 福田直政
53. 3. 10 電設健保加入説明会 受講者 43名
講師 神奈川県電設健康保健組合事務局長 西沢千之

打合せ会

52. 11. 10 消防設備工事打合せ会 出席者 69名
講師 消防局課長 6消防署係長

研修旅行会

52. 11. 18 旅行会 湯河原・大伊豆 参加者 66名
53. 1. 10 新年賀詞交換会
出席者 正会員75社(77名)賛助会員18社(21名)顧問、国会
県会、市会、市役所、公社、協会、諸団体36名

協力

- 川崎建設安全会議委員 辻 嘉三郎
" " 石 崎 寛
" 小委員会委員 "
- " " 山 崎 源 次
建設業労働災害防止協会神奈川支部理事 辻 嘉三郎
" " " 石 崎 寛
" " 川崎南分会副分会長 辻 嘉三郎
" " " 監査 山 崎 源 次

昭和53年（1978）

建設業労働災害防止協会神奈川支部川崎北分会副分会長	石 崎 寛
” ” ” 監査	八 木 眞
川崎商工会議所議員	石 崎 寛
川崎商工会議所建設工業部会幹事	辻 嘉三郎
” ”	矢 崎 直
神奈川県雇用対策協会評議員、川崎支部委員	杉 本 徳 男
神奈川県消防設備安全協会理事	”

昭和 53 年

政府の大幅な物価安定政策がようやく効を奏したかのように見えたが、OPECの石油再値上げ（第2次オイルショック）、急激な円高、雇用不安などのかかえる問題は大きく、景気に期待はもてなかった。54年3月30日、集団就職に大きな業績を残してきた雇対協川崎支部が発展解消し、新たに神奈川県雇用開発協会川崎支部が設立される。

第三者損害賠償制度が発足、日電工連の事業として全国単位で行うようになった。この年5月20日、新東京国際空港（成田）開港する。

53. 5. 16 新規学卒就職者歓迎激励大会 産業文化会館 出席者 8名
講 習 会

54. 3. 1 高圧ケーブル工事技能認定講習会 県立技能訓練センター 受講者 45名
講師 関東電気協会 東電 昭和電線電纜(株)技術職員

講 演 会

53. 10. 11 建設業界の将来の動向について 出席者 66社
講師 田久保孝信

研修旅行会

53. 11. 26 旅行会 湯本ホテル 参加者 67名

54. 1. 10 新年賀詞交換会

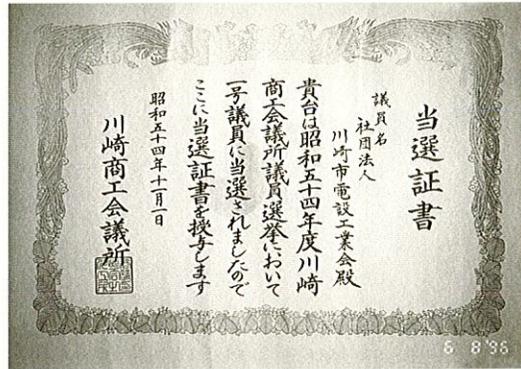
出席者 正会員76社（80名）賛助会員13社（17名）顧問、国会
県会、市役所、公社、協会 諸団体等34名

協 力

川崎建設安全会議委員	石 崎 寛
” 小委員会委員	山 崎 源 次
建設業労働災害防止協会神奈川支部理事	石 崎 寛
” ”	杉 本 徳 男

建設業労働災害防止協会神奈川支部川崎南分会副分会長	杉 本 徳 男
” ” ” 監査	山 崎 源 次
” ” 川崎北分会副分会長	石 崎 寛
” ” ” 監査	八 木 眞
川崎商工会議所議員	石 崎 寛
” 建設工業部会幹事	”
” ”	矢 崎 直
神奈川県雇用対策協会評議員、川崎支部委員	杉 本 徳 男
神奈川県消防設備安全協会理事	”

昭和 54 年



電電公社（現在のNTT）の独占市場であった電話の取り付け販売についても、大巾な法律の改正が行われ、自由化されることになり、電設工業会でも電話機市場参入を予測し、電話工事講習会を開催した。昭和54年度商工会議所の選挙で一号議員に当選する。

前市長金刺不二太郎が死去、55年1月21日市民葬が行われた。

- | | | | | |
|------------|---------------------|------------------|-----|----------------------|
| 54. 4. 12 | 新規学卒就職者歓迎激励大会 | 産業文化会館 | 参加者 | 11名 |
| 講習会 | | | | |
| 55. 3. 4 | 高圧CVケーブル端末処理技術認定講習会 | 京浜技能訓練センター | 講師 | 関東電気協会 東電職員 |
| | | | 受講者 | 40名 |
| 54. 9. 10 | 法人税講習会 | | 講師 | 川崎南税務署法人税第1統括官 武田弘三郎 |
| | | | | ” 上席調査官 日高 学 |
| | | | | ” 指導調査官 計良 信好 |
| 11. 12 | 電話工事講習会 | | 受講者 | 68名 |
| | 講師 | 川崎電報電話局 溝口電報電話局員 | | |

説 明 会

54. 8. 24 展示説明会 ネジ無し鋼管及び附属品並びに作業実演 出席者 55名
 出品者 松下電工(株)・株式会社杉本電気商会
 説明者 松下電工(株)職員

研修見学会

54. 9. 13 工場見学会 松下電工株式会社石岡工場 参加者 28名

研修旅行会

54. 9. 21 旅行会 鬼怒川温泉ホテル 参加者 45名
 55. 1. 10 新年賀詞交換会
 出席者 正会員67社（71名）賛助会員17社（20名）
 来賓、市長、国会議員、県会議員、市会議員、市役所職員、公
 社、協会等諸団体計39名

協 力

- | | |
|----------------------|---------|
| 川崎建設安全会議委員 | 石 崎 寛 |
| ” 小委員会委員 | 山 崎 源 次 |
| 建設業労働災害防止協会神奈川県支部理事 | 石 崎 寛 |
| ” ” | 杉 本 徳 男 |
| ” ” 川崎南分会副分会長 | ” |
| ” ” ” 監査 | 山 崎 源 次 |
| ” ” 川崎北分会副分会長 | 石 崎 寛 |
| ” ” ” 監査 | 内 藤 唯 男 |
| 川崎商工会議所議員 | 関 口 誠 一 |
| ” 建設工業部会幹事 | ” |
| ” ” | 矢 崎 直 |
| 神奈川県雇用開発協会評議員、川崎支部委員 | 杉 本 徳 男 |
| 神奈川県消防設備安全協会理事 | ” |

昭和 55 年

第 1 回電気工事士技能競技大会

この年わが国の自動車生産台数は1000万台を突破、アメリカをぬいた。しかし内外の経済情勢はきびしく決して明るい見通しはたたなかった。オリンピック、モスクワ大会の不参加を決める。8月22日第62回全国高校野球大会で横浜高校が優勝をかざる。

本会は、6月18日川崎市と災害時における応急対策を行うための協力に関する協定をむ



56. 2. 20
第1回電気工事技能競技大会

すぶ。56年4月発足を予定し二世会発会の世話人が準備をはじめ。

2月20日、会員の技術向上をめざし、第1回電気工事士技能競技大会を開催した。競技大会は現在に至るまで恒例化している。安全パトロールの強化を行う。

55. 4. 24 新規学卒就職者歓迎激励大会 産業文化会館 出席者 8名

講演会

55. 11. 10 省エネルギー講演会（イ）ビルの冷房システムと省エネルギー
（ロ）需給調整契約制度について

講師 東京電力(株)省エネルギーセンター副所長 成田勝彦

ほか東京電力(株)川崎支社職員

出席者 63名

56. 3. 10 時局講演会 ソ連を考える

出席者 60名

講師 防衛大学校教授 石沢芳次郎

説明会

3. 9 川崎市指名参加登録業務説明会

参加者 74社

講師 川崎市役所用度第二課長室野忠義ほか市役所職員

研修旅行会

55. 10. 9 旅行会 宮の下武蔵野観光旅館別館

参加者 60名

56. 1. 10 新年賀詞交換会

出席者 正会員69社（72名）賛助会員15社（17名）市長

国会議員、県会議員、市議会副議長他、各党代表議員

市役所職員、各公社、東京電力、建設業協会他諸団体組合等

計39名

協力

川崎建設安全会議委員

石崎 寛

” 小委員会委員

山崎 源次

建設業労働災害防止協会神奈川県支部理事	石 崎 寛
” ” ”	杉 本 徳 男
” ” 川崎南分会副分会長	”
” ” ” 監査	山 崎 源 次
” ” 川崎北分会副分会長	石 崎 寛
” ” ” 監査	内 藤 唯 男
神奈川県雇用開発協会評議員、川崎支部委員	杉 本 徳 男
神奈川県消防設備安全協会理事	”
川崎商工会議所議員	関 口 誠 一
” 建設工業部会委員	”
川崎商工会議所産業政策委員会委員	”
” 流通政策委員会委員	”
日本電設工業協会常議員	”
建設産業センター設立準備委員会委員	杉 本 徳 男
” ” ”	菊地原 忠 光
” ” ”	内 藤 唯 男
” ” ”	矢 崎 直

昭和 56 年

二世会の誕生

6月15日川崎市内電気設備業連絡協議会結成のため当会及び神電工組川崎、高津、生田各地区本部の代表が会合し、6月15日規約を決定して発足した。その後、川崎市技能職団体協議会が答申する市長表彰の被表彰者決定や、同協議会主催の運動会参加等、業界全般にわたる行事等について会合を重ね、団体相互の密接な連絡を図っている。

二世会が誕生、川崎建設業会二世会と交流を計り活発に事業を展開する。

建設業労働災害防止協会への参画

- (イ) 川崎南北分会副分会長並びに常任理事の派遣
- (ロ) 建設現場における安全パトロール出動参加
- (ハ) 川崎南北労働基準監督署の諸事業に参加協力
- (ニ) その他諸事業に参画

川崎商工会議所1号議員に選出される。

神奈川県電設健康保険組合並びに電設年金基金に加盟及び労災上乗せ補償のため、建団連総合保健制度に加盟する。

神奈川県雇用開発協会・神奈川県消防設備安全協会・神奈川県電設団体連絡協議会に加盟、それぞれに担当理事を派遣する。

56. 4. 10 新規学卒就職者歓迎激励大会 産業文化会館 出席者 17名
 5. 7 二世会発会式 発会式及び祝賀会 会館大会議室

講習会

56. 11. 17 高圧CVケーブル端末処理技術認定講習会（第1回） 出席者 29名
 11. 25 高圧CVケーブル端末処理技術認定講習会（第2回） 出席者 27名
 講師 関東電気協会 東電 昭和電線電纜(株)職員
 57. 2. 12 一工事精算記張方式講習会 講師 会長



56. 8. 25 省エネルギー施設見学会

説明会

56. 5. 15 電気設備工事共通仕様書説明会 出席者 134名
 講師 川崎市役所設備課長 係長 係員
 11. 10 法人税説明会 出席者 70名
 講師 川崎市南税務署法人第七部門・統括官・指導上席・指導官
 57. 3. 10 消防法令説明会 出席者 60名
 講師 川崎市消防局萩原予防課長ほか
 56. 7. 10 省エネルギー施設説明会 出席者 65名
 講師 東電川崎支社星野課長 榊原主任
 12. 15 映画及びスライド映写会 出席者 60名
 イ. 災害事例から学ぶ低圧電気の安全 ロ. 現場工事写真の撮り方
 9. 10 映画及びスライド映写会 出席者 63名
 腰痛と予防
 7. 10 省電力照明器具及び省電力システム説明と器具展示説明会 出席者 64名
 講師 東芝電材(株)技術部長 他3名
 7. 10 タイプライター展示説明会 出席者 64名
 9. 10 出品者 川崎ビジネスマシーン(株) 出席者 63名
 57. 3. 10 川崎市勤労者福祉共済制度説明会 出席者 60名
 講師 川崎市勤労市民課係長ほか1名

研修見学会

56. 8. 25 省エネルギー施設見学会 参加者 34名
 イ. 東京電力大塚支店 ロ. 三洋電機(株)東京支社

研修旅行会

56. 10. 22 研修旅行会 矢崎総業(株)沼津電線工場 参加者 61名
 57. 1. 12 新年賀詞交換会
 出席者 正会員74社（79名）賛助会員19社（23名）市長
 国会議員、県会議員、市議会議長、市議会各党代表議員
 市役所職員、公社、東京電力、建設業協会他諸団体組合等
 合計38名

協 力

川崎建設安全会議委員	関 口 誠 一
" 小委員会委員	山 崎 源 次
建設業労働災害防止協会神奈川県支部理事	石 崎 寛
" " "	杉 本 徳 男
" " 川崎南分会副分会長	"
" " " 監査	山 崎 源 次
" " 川崎北分会副分会長	石 崎 寛
" " " 監査	内 藤 唯 男
神奈川県雇用開発協会評議員、川崎支部委員	杉 本 徳 男
神奈川県消防設備安全協会理事	"
川崎商工会議所議員	関 口 誠 一
" 建設工業部会委員	"
" 産業政策委員会委員	"
" 流通政策委員会委員	"
日本電設工業協会常議員	"
建設産業センター設立準備委員会委員	杉 本 徳 男
" " "	菊 地 原 忠 光
" " "	内 藤 唯 男
" " "	矢 崎 直

昭和 57 年

昨年にひきつづいて7月8～9日の両日にわたり、会員の要望により高圧CVケーブル

端末処理技術認定講習会を開催、多くの会員が参加した。

事務のOA化作業及び経営の効率化と正確さをはかることにより、市内の電気工事業者にコンピューターの利用者が増え、当会でもオフィスコンピューター講習会、電気工事業向オフィスコンピューター研究会を開き、多くの会員が参加した。

また、光ファイバーケーブル説明会など新技術に工業会で取り組んだ。

この年、東北・上越両新幹線が開通する。

57. 4. 13	新規学卒就職者歓迎激励大会	産業文化会館	参加者	16名
講習会				
57. 7. 8	高圧CVケーブル端末処理技術認定講習会（8～9日）			
	講師 関東電気協会 東電、昭和電線職員	受講者	8日午前	44名
			午後	42名
			9日午前	44名
6. 24	シーケンス講習会（第1回）		受講者	17名
	講師 松下電工研修センター技師 田中英二			
10. 6	シーケンス講習会（第2回）		受講者	11名
	講師 松下電工研修センター技師 田中英二			
6. 14	オフィスコンピューター講習会		受講者	29名
	講師 沖電気工業株式会社OA事業部営業第三部社員			
7. 12	労働安全講習会		出席者	64名
	講師 川崎南労働基準監督署 最上健三			
説明会				
6. 25	光ファイバーケーブル説明会		出席者	28名
	講師 古河電気工業株式会社技術部 吉成哲夫ほか			
9. 10	プラフレキ説明会		出席者	60名
	講師 古河電気工業株式会社技術部 大野技師			
9. 10	工事写真の撮り方説明会		出席者	60名
	講師 川崎市設備課 石田係長 小上馬係長			
9. 13	内線規定説明会		出席者	49名
	講師 東京電力川崎支社試験主任 糴谷紘三			
11. 10	労働保険説明会		出席者	70名
	講師 川崎南労働基準監督署 神尾給付調査官			
58. 3. 10	税務説明会		出席者	69名
	講師 川崎南税務署法人第一部門 千葉哲夫			
3. 10	指名参加手続説明会		出席者	69名
	講師 川崎市用度第二課長ほか3職員			

8. 20 電気工事業向オフィスコンピューター研究会 出席者 82名
 講師 沖電気工業株式会社OA事業部営業第三部社員

研修旅行会

11. 26 旅行会 箱根仙景 参加者 64名
 58. 1. 10 新年賀詞交換会
 出席者 正会員78社（83名）賛助会員18社（22名）市長
 国会議員、県議員、市議会各党代表議員、市役所公社職員
 商工会議所会頭、東京電力、建設業協会他諸団体組合等
 合計39名

協 力

- | | |
|----------------------------|-----------|
| 建設業労働災害防止協会神奈川県支部川崎南分会副分会長 | 杉 本 理 事 |
| ” ” ” 幹 事 | 山 崎 理 事 |
| ” ” 川崎北分会副分会長 | 石 崎 副 会 長 |
| ” ” ” 監 事 | 内 藤 理 事 |
| ” 本部安全指導員 | 山 崎 理 事 |
| 神奈川県雇用開発協会評議員、川崎支部委員 | 杉 本 理 事 |
| 神奈川県消防設備安全協会理事 | ” |
| 川崎商工会議所議員 | 関 口 会 長 |
| ” 建設工業部会副部会長 | ” |
| 川崎商工会議所産業政策委員会委員 | ” |
| ” 運営委員会委員 | ” |
| 日本電設工業協会常議員 | ” |
| 川崎市内電気設備業連絡協議会々長 | 中 島 理 事 |

昭和 58 年

この年国債の発行高が100兆円を突破した。

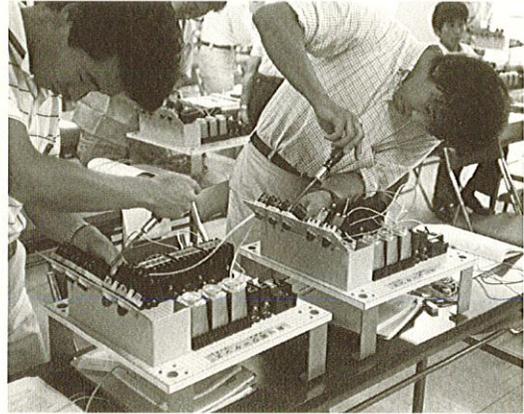
各種設備機器の高度化、多様化にともない、メーカーの協力でエアコンの新技术についての講習会を開いた。

光ファイバーなど新器材に取り組む一方、電話機市場の自由化、NHKの衛星放送の本放送に向けてその受信技術の進歩と業界の新しい分野の参入について工業会でも、大いに研究された。

58. 4. 12 新規学卒就職者歓迎激励大会 産業文化会館 参加者 16名

講習会

58. 6. 10 エアコン技術講習会 受講者 30名
 講師 三洋電機特機株式会社々員、三洋東京空調設備株式会社々員
7. 15 シーケンス講習会 第1回（初級） 受講者 32名
 講師 富士電機製造(株)第二汎電事業部社員
9. 9 シーケンス講習会 第2回（初級） 受講者 19名
 講師 富士電機製造(株)第二汎電事業部社員



10. 20 高圧ケーブル工事端末処理技術認定講習会（20～21日） 受講者新規 32名
 講師 関東電気協会 東電 昭和電線職員 補講 5名
 追加 14名
12. 2 シーケンス講習会 第3回（中級） 受講者 21名
 講師 富士電機製造(株)第二汎電事業部社員

説明会

7. 11 厚生年金基金説明会 出席者 72名
 講師 神奈川県電設厚生年金基金 池田駿介

研究会

11. 25 第1回技術研究会 出席者研究委員 9名

研修旅行会

10. 26 旅行会 熱海大月 参加者 72名
59. 1. 10 新年賀詞交換会

出席者 正会員78社、賛助会員19社、市長、議長、国会議員
 県会議員、市議会各党代表議員、市役所公社職員
 商工会議所会頭、東京電力、建設業協会他諸団体組合等の代表
 合計40名

協力

建設業労働災害防止協会神奈川県支部川崎南分会副分会長 杉本副会長

建設業労働災害防止協会神奈川県支部川崎南分会幹事	山崎理事
” ” 川崎北分会副分会長	石崎副会長
” ” ” 監事	内藤理事
” 本部安全指導員	山崎理事
神奈川県雇用開発協会評議員、川崎支部委員	杉本副会長
神奈川県消防設備安全協会理事	”
川崎商工会議所議員	関口会長
” 建設工業部会副会長	”
” 産業政策委員会委員	”
” 運営委員会委員	”
日本電設工業協会常議員	”

昭和 59 年



60. 1. 10 新年賀詞交換会

会館建設10周年記念祝賀会が、正会員83名、賛助会員11名、招待者15名の出席のもと5月10日に開かれた。60年1月25日、アフリカ難民救援募金を市当局に寄附をする。

電気工事士法の一部が改正され、これまで都道府県が行ってきた電気工事士の試験が「通産大臣が行う」と改正され、通産大臣の指定する者（指定試験機関）に試験の実施に関する事務を行わせることになり「電気技術者講習センター」が試験を行うことになった。

第2回公取委の立入行政指導に対し、臨時総会を開き上申書を提出する。

59年11月9日、大滝ホテルにおける例会（出席者67社）にて、公共工事の係わる建設業における事業者団体の諸活動に関する独占禁止法上の指針の徹底遵守について申し合わせる。60年3月高平光雄事務長が退職、木村弘事務長に引き継ぐ。

59. 4. 12 新規学卒就職者歓迎激励大会	産業文化会館	参加者	21名
講習会			
59. 5. 11 エアコン据付実技講習会		受講者	29名
	講師 神奈川県ダイキン空調株式会社々員		
59. 7. 12 シーケンス講習会		受講者	14名
	講師 富士電機製造(株)第二汎電事業部社員		

9. 10 光ファイバー講習会 受講者 58名
 講師 古河電気工業株式会社々員
9. 26 シーケンス上級講習会 富士電機製造(株) 吹上工場 受講者 10名
- 研究会**
11. 27 第2回技術研究会
 出席者 技術委員9名他賛助会社8社
- 研修会**
11. 9 研修会 大滝ホテル会議室 出席者 65名
 主題 建設現場における電気災害の実例と対策
 講師 川崎南労働基準監督署々長、第一方面主任監督官
- 講演会**
12. 17 何が政治か 出席者 79名
 講師 秦野章参議院議員



5. 10 会館建設10周年記念祝賀会
 出席者 正会員83名、賛助会員11名、招待者15名
60. 1. 10 新年賀詞交換会
 出席者 正会員81社、賛助会員17社、市長、議長、国会議員
 県会議員、市議会各党代表議員、市役所公社職員
 商工会議所会頭、東京電力、建設業協会他諸団体組合等の代表
 合計45名

協 力

- | | |
|----------------------------|-------|
| 建設業労働災害防止協会神奈川県支部川崎南分会副分会長 | 杉本副会長 |
| ” ” ” 幹事 | 山崎理事 |
| ” ” ” 川崎北分会副分会長 | 石崎副会長 |
| ” ” ” 監事 | 内藤理事 |
| ” 本部安全指導員 | 山崎理事 |

神奈川県雇用開発協会評議員、川崎支部委員	杉本副会長
神奈川県消防設備安全協会理事	〃
川崎商工会議所議員	関口会長
〃 建設工業部会副部長	〃
〃 産業政策委員会委員	〃
〃 運営委員会委員	〃
川崎市内電気設備業連絡協議会委員	宮川理事

昭和 60 年

川崎建設業協会と（仮設物損料その他経費負担協定書）を締結する。

2月12日、二世会は大会議室で建設業協会二世会その他関係者を招待、創立5周年記念式典を行った。業界のOA化が進むことに対応して、電気工事業向け積算システムの説明会を行い、その研究に工業会として取り組んだ。

急激な円高が進むなか、政府の景気浮揚対策で、住宅建設はのびたが、業界としては不振な年に終わった。

60. 4. 12	新規学卒就職者歓迎激励大会	産業文化会館	参加者	20名
研 修 会				
60. 5. 29	健康管理者研修会		出席者	35名
	講師 神奈川県電設健康保健組合担当職員			
60. 7. 10	スライドによる電気安全研究会		出席者	61名
	担当 安全委員会			
61. 2. 20	建設業災害防止研修会（南管内）	川崎建設会館	出席者	16名
	講師 川崎南労働基準監督署々長他建設担当監督官			
61. 2. 24	建設業災害防止研修会（北管内）	中小企業婦人会館	出席者	19名
	講師 川崎北労働基準監督署々長他建設担当監督官			
61. 3. 20	安全パトロール要員の研修会（北管内）	中小企業婦人会館	出席者	16名
	講師 川崎北労働基準監督署・建設業労働災害防止協会			
3. 24	安全パトロール要員の研修会（南管内）	川崎建設会館	出席者	24名
	講師 川崎南労働基準監督署・建設業労働災害防止協会			
講 習 会				
60. 7. 23	シーケンス中級講習会		受講者	12名
	講師 富士電気製造(株)第二事業部社員			

11. 21 シーケンサー講習会 板橋シーケンサースクール 受講者 11名
講師 東京トレーニングセンター社員

技術研究・特別委員会

電気設備工事共通仕様書並びに標準図・特則事項の見直し検討について、川崎市建築局設備課の指導により、特別委員会を設置して、次の委嘱委員の構成にて下記の通り10回開催された。

メンバー

- | | | |
|---------|------------|-------|
| (1) 役所側 | 設備課電気第一係長 | 小上馬利司 |
| | 〃 第二係長 | 岩沢 秀国 |
| | 教育施設整備公社主査 | 石田 知一 |
| (2) 当会側 | 関口電設株式会社 | 公平 京一 |
| | 株式会社光陽電業社 | 松本 常幸 |
| | 東邦電業株式会社 | 竹内 吉雄 |

オブザーバー 技術委員会・賛助会員 6社

開催日	60. 6. 5	7. 4	7. 25	8. 8	8. 22
	9. 5	9. 26	10. 7	10. 22	11. 22

説明会

60. 9. 10 コンピューター導入説明会 パソコンによる電気工事業向け積算システム
出 展 富士通株式会社
説明者 三岩商事株式会社々員 出席者 63名
60. 11. 19 工事写真の撮り方 出席者 67名
説明者 川崎市建築局設備課長他担当係官
61. 3. 10 高圧自家用波及事故防止説明会 出席者 60名
説明者 (株)戸上電機製作所東京営業所社員

研修旅行会

60. 10. 4 旅行会 箱根宮ノ下・ホテル奈良屋 参加者 67名

講演会

61. 3. 10 時局講演会 当面の内外情勢と政治課題 出席者 60名
講師 岩垂寿喜男衆議院議員
61. 1. 10 新年賀詞交換会
出席者 正会員83社96名 賛助会員20社23名 二世会26名
川崎市長始め、議長・国会議員・県会議員・市議会各党代表議員
市役所及び公社職員、商工会議所会頭、東京電力
建設業協会他諸団体組合等の代表 合計59名

協 力

川崎商工会議所議員

石 崎 会 長

川崎商工会議所建設工業部会委員	石 崎 会 長
” 産業政策委員会委員	”
” 運営委員会委員	”
” 小規模企業振興委員会委員	宮 川 理 事
建設業労働災害防止協会神奈川県支部川崎南分会副分会長	杉 本 副 会 長
” ” 川崎南分会幹事	山 崎 理 事
建設業労働災害防止協会神奈川県支部川崎北分会副分会長	石 崎 会 長
” 川崎北分会監事	石 井 理 事
” 本部安全指導員	山 崎 理 事
神奈川県雇用開発協会評議員・川崎支部委員	杉 本 副 会 長
神奈川県消防設備安全協会理事	”
川崎市内電気設備業連絡協議会委員	宮 川 理 事

昭和 61 年

6月24日、円高で166円65銭に進むなか5月4日東京サミットが開かれる。

電設業界もようやく新設、既設の改修工事が増え明るい兆しが見えはじめた。しかし電気工業界は厳しいものがあつた。会員の経営も改善と近代化が求められ電気工事設備積算システム説明会には、65名が参加した。

また、改修工事の増加に向け、受配電設備の改修プランの説明会を開催した。

61. 4. 11	新規学卒就職者歓迎激励大会	川崎産業文化会館	参加者	19名
研 修 会				
61. 5. 27	健康管理者研修会		出席者	41名
	講師	神奈川県電設健康保険組合担当職員		
61. 7. 10	スライドによる健康管理研修会	糖尿病の話	出席者	66名
	担当	安全委員会・厚生委員会		
62. 3. 17	安全パトロール要員研修会（北管内）（南管内）			
3. 20	講師	川崎北・南労働基準監督署・建災防川崎北・南分会		
講 習 会				
61. 8. 21	安全推進委員会講習会	川崎北労働センター	受講者	12名
	講師	川崎北労働基準監督署 建災防川崎北分会		
61. 8. 27	安全衛生 現場責任者実務講習会	川崎市いさご会館	受講者	16名
	講師	川崎南労働基準監督署 建災防川崎南分会		

61. 7. 2 アーク溶接講習会 川崎建設会館 受講者 17名
 講師 川崎南労働基準監督署・建災防川崎南分会
61. 11. 26 シーケンサー講習会 受講者 12名
 場所 板橋シーケンサースクール(富士電機株式会社)
 講師 東京機器システム支社電子制御課社員

説明会

61. 4. 24 電気設備工事共通仕様書説明会 出席者 108名
 説明者 川崎市建築局設備課参事他担当職員
61. 4. 24 工事完成保証人に係る説明会 出席者 108名
 説明者 川崎市財政局工事契約課長他担当職員
61. 9. 10 積算システム説明会 電気工事設備積算システム 出席者 65名
 出展 キヤノン販売株式会社
 説明者 エコーキャノン(株)神奈川支社々員
61. 7. 23 公共工事施工に係る説明会、提出書類等について、夏期休暇中における工事について、その他
 説明者 川崎市建築局設備課参事他担当職員 出席者 72名
62. 3. 10 改修プラン説明会 受配電設備の改修プランについて 出席者 69名
 説明者 富士電機株式会社及び協同電気株式会社々員

研修旅行会

61. 10. 18 老神温泉 朝日ホテル(18~19日) 参加者 41名
62. 1. 10 新年賀詞交換会
 出席者 正会員78社89名 賛助会員20社22名 二世会20名
 招待者川崎市長始め62名 合計193名

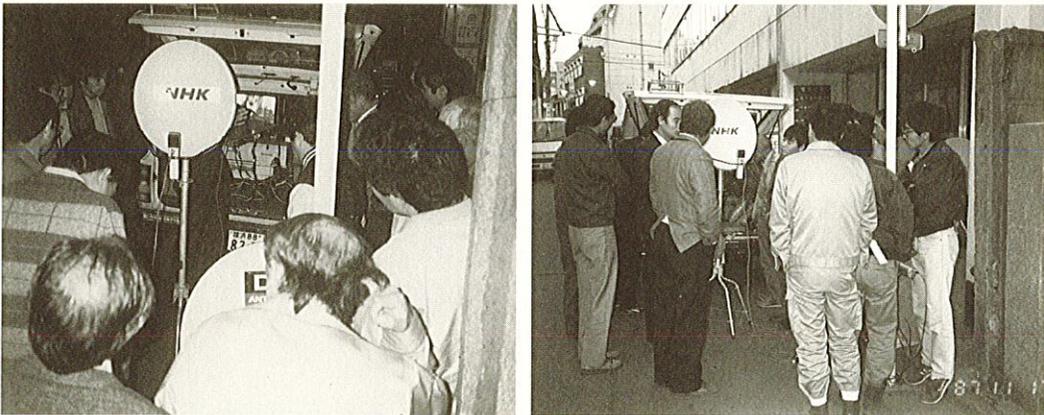
協力

- 川崎商工会議所議員 石崎会長
- 〃 建設工業部会委員 〃
- 〃 産業政策委員会委員 〃
- 〃 運営委員会委員 〃
- 〃 小規模企業振興委員会委員 宮川理事
- 建災防神奈川県支部川崎南分会副分会長 杉本副会長
- 〃 〃 川崎南分会幹事 建災防本部安全指導員 山崎理事
- 〃 〃 川崎北分会副分会長 石崎会長
- 〃 〃 川崎北分会幹事 石井理事
- 神奈川県雇用開発協会評議員・川崎支部委員 杉本副会長
- 神奈川県消防設備安全協会理事 〃
- 川崎市内電気設備業連絡協議会委員 宮川理事

昭和62年

政府の内需主導型の政策により、円高不況を克服、民間設備の投資意欲が高まったが、電気工業界は厳しいものがあった。

一方NHK衛星放送本放送に向けて、その技術習得にあたり11月17日、NHK横浜支局



員の協力を得て、通信技術の講習を行った。

9月1日、改正電気工事士法、昭和62年9月1日法律第84号（電気工事士法、電気工事業の業務の適正化に関する法律）が改正された。

この法律は、交付の日（62. 9. 1）から起算して1年を経過した日から施行すると規定された。電気工事士法の改正については従来の電気工事士を二種電気工事士と読み換え新たに第一種電気工事士、特殊電気工事資格者、認定電気工事資格者の3資格を追加した。

この年日本国有鉄道が民営化された。

62. 4. 10 新規学卒就職者歓迎激励大会 川崎市産業文化会館 参加者 24名

研 修 会

62. 5. 29 健康管理研修会 出席者 42名

講師 神奈川県電設健康保健組合

62. 7. 10 安全指導研修会 スライド・感違いと事故 出席者 63名

担当 安全委員会

62. 9. 10 健康管理研修会 スライド・肝臓病の話 出席者 62名

担当 厚生委員会

63. 2. 26 安全パトロール要員研修会（北管内） 川崎北労働センター出席者 13名
講師 川崎北労働基準監督署 建災防川崎北分会
63. 3. 22 安全パトロール要員研修会（南管内） 川崎建設会館 出席者 18名
講師 川崎南労働基準監督署 建災防川崎南分会

講習会

62. 6. 18 安全推進委員講習会 川崎建設会館（18～19日） 出席者 15名
講師 川崎南労働基準監督署 建災防川崎南分会
62. 9. 29 安全衛生。現場責任者実務講習会 川崎北労働センター 出席者 12名
講師 川崎北労働基準監督署 建災防川崎北分会
62. 11. 17 NHK衛星放送受信講習会 出席者 46名
講師 NHK横浜支局
62. 11. 27 シーケンサー講習会 板橋トレーニングセンター 受講者 10名
講師 富士電機株式会社（マンツーマン形式）

説明会

63. 2. 16 改正労働基準法規説明会 川崎北労働センター 出席者 13名
講師 川崎北労働基準監督署
63. 2. 23 改正労働基準法規説明会 川崎建設会館 出席者 16名
講師 川崎南労働基準監督署

講演会

63. 3. 10 最近の経済情勢について
講師 神奈川経済研究所 両沢正彦
62. 10. 6 研修旅行会 熱海温泉 大観荘（6～7日） 参加者 76名
63. 1. 11 新年賀詞交換会
出席者 198名



賀詞交換会で
あいさつをする伊藤市長

正会員99名 賛助会員25名 二世会15名
川崎市長始め国会議員、県会議員、市議会議員ほか各党代表議員
市役所職員、各公社、東京電力、関連諸団体など来賓多数ご臨席のもと盛大に開催された。

協 力

川崎商工会議所議員	石 崎 会 長
” 建設工業部会委員	”
” 産業政策委員会委員	”
” 運営委員会委員	”
” 小規模企業振興委員会委員	宮 川 理 事
建災防神奈川支部川崎南分会副分会長	杉 本 副 会 長
” ” 川崎南分会幹事	山 崎 理 事
” ” 川崎北分会副分会長	石 崎 会 長
” ” 川崎北分会幹事	石 井 理 事
” 本部安全指導員	山 崎 理 事
神奈川県雇用開発協会評議員・川崎支部委員	杉 本 副 会 長
神奈川県消防設備安全協会理事	”
川崎市内電気設備業連絡協議会委員	宮 川 理 事
神奈川県電設団体連絡協議会副会長	石 崎 会 長



62. 7. 19
電気工事士試験準備講習会（技能）

昭和 63 年

政府の内需主導型政策によって、円高不況を克服して民間設備投資の意欲が高まり順調な好転の方向に動いているかに見えたが、電気工業界は依然として厳しい状況下にあり、特に技術者及び労働力確保の困難など雇用問題が最大の課題となった。

62年9月1日公布された改正電気工事士法は63年9月1日から施行された。そしてこの法律は施行の日から2年後に適用されることになり、経過措置として旧電気工事士の資格のあるものは、この2年間に、第一種電気工事士資格講習を修了し、講習修了証の交付を受けなければならないことになった。

消費税導入にあたり平成元年3月10日に説明会を開催した。この年、青函トンネル、本四架橋開通する。

- | | | | | |
|--------------|--------------------|---------------------|-----|-----|
| 63. 4. 8 | 新規学卒就職者歓迎激励大会 | 川崎市産業文化会館 | 参加者 | 17名 |
| 研 修 会 | | | | |
| 63. 5. 26 | 健康管理者研修会 | | 参加者 | 46名 |
| | 講師 | 神奈川県電設健康保健組合 | | |
| 1. 2. 27 | 安全パトロール要員研修会（北管内） | 小杉ユニオンビル | 出席者 | 21名 |
| | 講師 | 川崎北労働基準監督署・建災防川崎北分会 | | |
| 1. 3. 10 | 安全指導研修会 | スライドによる安全朝礼の開き方 | 出席者 | 83名 |
| | 担当 | 安全委員会 | | |
| 1. 3. 22 | 安全パトロール要員研修会（南管区） | 川崎建設会館 | 出席者 | 28名 |
| | 講師 | 川崎南労働基準監督署・建災防川崎南分会 | | |
| 講 習 会 | | | | |
| 63. 9. 27 | 安全衛生・現場責任者実務講習会 | | 出席者 | 15名 |
| | 講師 | 川崎南労働基準監督署・建災防川崎南分会 | | |
| 63. 12. 8 | 安全パトロール講習会 | 川崎北労働センター | 出席者 | 13名 |
| | 講師 | 川崎北労働基準監督署・建災防川崎北分会 | | |
| 説 明 会 | | | | |
| 63. 4. 22 | 労働基準行政運営方針説明会（北管内） | 川崎北労働センター | 出席者 | 14名 |
| | 講師 | 川崎北労働基準監督署 | | |
| 63. 4. 28 | 労働基準行政運営方針説明会（南管内） | 川崎建設会館 | 出席者 | 17名 |
| | 講師 | 川崎南労働基準監督署 | | |
| 63. 7. 11 | 消防法改正に係る説明会 | | 出席者 | 61名 |
| | 講師 | 川崎消防署予防課担当官 | | |
| 63. 7. 28 | 経営事項審査申請手続等説明会 | 川崎市中小企業婦人会館 | 出席者 | 62名 |
| | 担当 | 神奈川県土木部指導検査課 | | |
| 63. 10. 20 | 改正労働安全衛生法説明会（北管区） | 川崎北労働センター | 出席者 | 12名 |
| | 講師 | 川崎北労働基準監督署 | | |
| 63. 10. 24 | 改正労働安全衛生法説明会（南管区） | 川崎建設会館 | 出席者 | 15名 |
| | 講師 | 川崎南労働基準監督署 | | |
| 1. 3. 10 | 消費税説明会 | 川崎市工事契約に係る消費税について | 出席者 | 83名 |
| | 担当 | 川崎市財政局管財部工事契約課 | | |
| 講 演 会 | | | | |
| 63. 7. 14 | 行政及び技術指導講演会 | | 出席者 | 43名 |
| | 講師 | 川崎市建設局設備課大島参事 | | |

研修見学会

63. 8. 9 施設見学会 財団法人川崎市産業振興会館内 参加者 理事13名

研修旅行会

63. 11. 2 奥湯河原温泉山翠楼 参加者 75名

1. 1. 10 新春の集い

出席者 正会員・賛助会員・二世会 計115名

協 力

石崎会長 川崎商工会議所議員・建設工業部会委員・産業政策委員会委員・運営委員会委員・建災防川崎北分会副分会長・神奈川県電設団体連絡協議会副会長

杉本副会長 建災防川崎南分会副分会長・神奈川県雇用開発協会評議員及び川崎支部委員・神奈川県消防設備安全協会理事

山崎理事 建災防川崎南分会幹事・同本部安全指導員

宮川理事 川崎商工会議所小企模企業振興委員会委員・川崎市内電気設備業連絡協議会委員

石井理事 建災防川崎北分会幹事

平成 元年

労働行政の週休2日制並びに新型消費税導入等により、資材、労賃の高騰が懸念されるなか、技術者確保が困難・深刻化する平成元年がはじまった。

1月7日、昭和天皇が崩御、元号が平成に変わった。4月1日、戦後最大の税制改革である大型間接税「消費税」が実施される。11月9日ベルリンの壁が28年ぶりに消滅した。

1. 4. 7 新規学卒就職者歓迎激励大会 川崎市産業文化会館 参加者 15名

研 修 会

1. 5. 26 健康管理者研修会 参加者 43名

講師 神奈川県電設健康保険組合

1. 9. 27 安全衛生推進者研修会（南管内） 川崎建設会館 出席者 19名

講師 川崎南労働基準監督署・建災防川崎南分会

1. 9. 28 ハイテク技術研修会 出席者 38名

講師 松下電工株式会社技術担当職員

1. 10. 3 安全衛生推進者研修会（北管内） 川崎北労働センター 出席者 8名

講師 川崎北労働基準監督署・建災防川崎北分会

2. 3. 12 健康管理研修会 スライド・心臓の話 出席者 60名
講師 安全委員会

講習会

1. 11. 14 安全衛生・現場責任者実務講習会（南管区）川崎建設会館 出席者 13名
講師 川崎南労働基準監督署・建災防川崎南分会
1. 12. 5 シーケンス（基礎編）講習会（マンツーマン指導） 受講者 21名
講師 富士電機株式会社東京商品支社技術職員
2. 3. 22 安全パトロール講習会（南管区）・ニューハトヤ 出席者 12名
講師 川崎南労働基準監督署・川崎市役所・建災防川崎南分会

説明会

1. 4. 21 労働基準行政運営方針説明会（北管内）川崎市中企業婦人会館
講師 川崎北労働基準監督署 出席者 12名
1. 4. 25 労働基準行政運営方針説明会（南管内）川崎市労働会館 出席者 18名
講師 川崎南労働基準監督署
1. 5. 18 電気設備工事共通仕様書及び標準図説明会 神奈川県立総合センターホール
講師 関東地建営繕部担当官他 出席者 68名
1. 6. 12 新税法に係る消費税等説明会 出席者 71名
講師 川崎南税務署法人第一部門（申告指導担当官）
1. 9. 11 電気設備工事共通仕様書及び標準図説明会
講師 川崎市建築局設備課大島参事他
出席者125名（内、通信設備連絡協議会々員45名）
2. 3. 15 労働保険業務手続等説明会 川崎市中企業婦人会館 出席者 38名
講師 川崎中小企業労務士会

講演会

2. 3. 12 心臓と健康について 聴衆者 63名
講師 医療法人宮川病院院長宮川政久

研修旅行会

1. 11. 2 箱根湯本 ホテルおかだ（2～3日） 出席者 77名
2. 1. 10 新年賀詞交換会
出席者 198名
正会員96名 賛助会員27名 二世会15名 川崎市長ほか関連団体多数
出席 盛大に開催された。

協力

- 石崎会長 川崎商工会議所議員・同建設工業部会・同産業政策委員会・同運営委員会
各委員・建災防川崎北分会副会長・神奈川県電設団体連絡協議会副会長
- 杉本副会長 建災防川崎南分会副会長・同神奈川支部運営委員会委員・神奈川県雇用開

発協会評議員・同川崎支部委員・神奈川県消防設備安全協会理事

原 理 事 建災防川崎南分会幹事

宮 川 理 事 川崎商工会議所振興委員会委員・川崎市内電気設備業連絡協議会委員

石 井 理 事 建災防川崎北分会幹事

平成 2 年

社団法人認可 30周年

市長と役員



昭和36年9月神奈川県知事より、社団法人に認可され30周年をむかえた。工業会発足当時38社の会員は平成2年、正・賛助会員併せて131社を有している。

その記念事業の一環として会館の内外整備と平成3年2月25日記念事業に代え市長室において川崎市国際交流基金に寄附を行った。

昭和63年9月1日施行された改正電気工事士法の経過措置にもとづいて第一種電気工事士資格認定講習会を終えた会員は9月1日より第一種電気工事士として、新時代をむかえることになった。

昭和60年(1985年)9月、プラザ合意以来日本の経済は円高、低金利、原油安のトリプルメリットを享受し、株価は4年間で3倍に上昇し、この現象は地価、ゴルフ会員権等に及んだ。この現象を断ち切るべく日銀は5次にわたる公定歩合の引き上げを行った。この結果、地価は昭和63年をピークに下落し、株価も平成元年12月から暴落した。いわゆるバブル経済の崩壊がはじまった。

2. 4. 6	新規学卒就職者歓迎激励大会	川崎市教育文化会館	参加者	23名
研 修 会				
2. 5. 24	健康管理者研修会		参加者	42名
	講師	神奈川県電設健康保険組合		
2. 6. 18	安全作業研修会〈川崎地区本部合同〉		参加者	43名
	講師	川崎南労働基準監督署		
2. 9. 13	A・H技術研修会	ホームオートメーション化技術指導	出席者	35名
	講師	松下電工株式会社技術担当職員		
	担当	川崎市内電気設備業連絡協議会		

2. 9. 18 現場管理者統括管理特別研修会(南管内) 川崎建設会館 出席者 9名
講師 川崎南労働基準監督署・建災防川崎南分会
2. 10. 14 建設業労働災害特別研修会(北管内) 川崎市中小企業婦人会館
講師 川崎北労働基準監督署・建災防川崎北分会 出席者 16名
3. 2. 19 建設業務及び安全研修会(北管内) 出席者 17名
講師 川崎北労働基準監督署・建災防川崎北分会
3. 2. 27 平成3年建設業労働災害防止研修会 ニューハトヤ 出席者 24名
講師 川崎南労働基準監督署・建災防川崎南分会
3. 3. 11 スライドによる健康管理研修会 お酒と健康〔上手な飲み方の心得〕
担当 安全委員会 出席者 61名

講習会

2. 5. 15 安全パトロール講習会(北管内) 高津亀屋会館 出席者 18名
講師 川崎北労働基準監督署・建災防川崎北分会
2. 11. 28 シーケンス〔基礎編〕講習会〔マンツーマン指導〕 受講者 12名
講師 富士電機株式会社東京商品支社技術職員

説明会

2. 4. 13 労働基準行政運営方針説明会(北管内) 川崎市中小企業婦人会館
講師 川崎北労働基準監督署・建災防川崎北分会 参加者 14名
2. 4. 24 労働基準行政運営方針説明会(南管内) 川崎市労働会館 参加者 19名
講師 川崎南労働基準監督署・建災防川崎南分会
2. 5. 30 電気設備工事施工管理指針説明会 神奈川県立総合センターホール
講師 関東地建営繕部担当官他 出席者 34名
2. 7. 10 行政指導説明会 労働問題等に係る行政指導 出席者 69名
講師 川崎南労働基準監督署第一方面主任監督官
2. 9. 10 消防法改正等に係る説明会 出席者 71名
講師 川崎市消防局予防課予防係長他1名
2. 12. 4 電灯契約等に係る説明会(川崎地区本部合同) 出席者 72名
内容 時間帯別電灯契約の計量パターン他
講師 東京電力株式会社川崎支社担当職員

研修見学会

2. 6. 26 蛍光灯専門工場見学会
岩崎電気株式会社茨城製作所(茨城県大和村)
目的 最新鋭設備工場見学(26~27日) 参加者 39名
2. 10. 28 第17回川崎市中小企業大運動会 川崎競馬場内グラウンド 参加者 54名
担当 川崎市内電気設備業連絡協議会

研修旅行会

2. 11. 2 熱海温泉 さざん亭 出席者 84名

3. 1. 10 新年賀詞交換会

出席者194名(正会員87・賛助会員25・二世会17・来賓65)

協 力

- 石崎会長 川崎商工会議所議員 同建設工業部会委員
同産業政策委員会委員 同運営委員会委員
- 菊地原副会長 建災防川崎北分会副分会長
神奈川県電設団体連絡協議会副会長
- 杉本副会長 建災防川崎南分会副分会長
同神奈川支部運営委員会委員
神奈川県雇用開発協会評議員 同川崎支部委員
神奈川県消防設備安全協会理事
- 宮川理事 川崎商工会議所振興委員会委員
川崎市内電気設備業連絡協議会委員
- 原理事 建災防川崎南分会幹事
- 石井理事 建災防川崎北分会幹事

平成 3 年

平成元年の年末からはじまった地価の下落、株価の急落、バブル崩壊という経済危機が日本中を襲い好景気は終止符をうった。2年、3年と企業の大型倒産が相次いだ。そして日本経済のゆがんだ実態が、次第に明らかにされていった。しかし、電気工事業界は比較的安定した受注に恵まれていた。

4月より施行された、労働時間短縮制令は電気工事業界にとって、深刻な人手不足とあいまって、建設需要の対応に厳しい環境におかれた。若年層の求人は依然として困難な状況だった。法定基準を満たすには週休2日制はさけられず、雇用の改善対策が緊急の課題となった。

3. 4. 9 新規学卒就職者歓迎激励大会 川崎市教育文化会館 参加者 18名

研 修 会

3. 5. 24 健康管理者研修会 参加者 43名

講師 神奈川県電設健康保険組合

3. 7. 9 スライドによる電気安全研修会(川崎地区本部合同) 出席者 73名

内容 低圧電気による災害のいろいろ

担当 安全委員会

3. 9. 10 スライドによる労働衛生研修会 出席者 69名
 内容 たばこやめられますか(愛煙家の皆さんへ)
 担当 安全・厚生委員会
3. 9. 26 統括安全衛生現場責任者研修会(北管内) 川崎北労働センター
 講師 川崎北労働基準監督署・建災防川崎北分会 出席者 12名
3. 11. 22 健康管理研修会(川崎地区本部合同) 出席者 75名
 内容 心と体の健康を科学する
 講師 日本コロンビア(株)担当職員
4. 3. 14 緊急安全管理研修会(北管内) 川崎北労働センター 出席者 16名
 内容 外国人労働者雇用上の問題点他
 講師 川崎北労働基準監督署・建災防川崎北分会
4. 3. 27 安全パトロール要員研修会(南管内) 川崎建設会館 出席者 16名
 講師 川崎南労働基準監督署・建災防川崎南分会

講習会

3. 9. 19 現場管理者統括管理講習会(南管内) 川崎区砂子第一生命ビル
 講師 川崎南労働基準監督署・建災防川崎南分会 出席者 15名
3. 9. 25 小型移動式クレーン運転技能特例講習会(25~26日) 受講者 25日 68名
 講師 建設業労働災害防止協会派遣講師 26日 70名
3. 10. 14 高所作業車運転技能特例講習会(14~15日) 受講者 14日 64名
 講師 建災防派遣講師 15日 78名
4. 1. 27 高所作業車運転特例講習会 受講者 70名
 講師 建災防派遣講師
4. 1. 29 小型移動式クレーン運転技能特例講習会 受講者 64名
 講師 建災防派遣講師

説明会

3. 4. 23 労働基準行政運営方針説明会(南管区) 川崎市労働会館大ホール
 講師 川崎南労働基準監督署担当官 受講者 19名
3. 4. 26 労働基準行政運営方針説明会(北管内) 川崎市中小企業婦人会館
 講師 川崎北労働基準監督署 出席者 14名
3. 7. 10 会社法改正等に係る行政指導説明会 出席者 69名
 イ. 資本金について ロ. 簡易課税(改正後の消費税)について
 講師 川崎南税務署・申告指導担当官

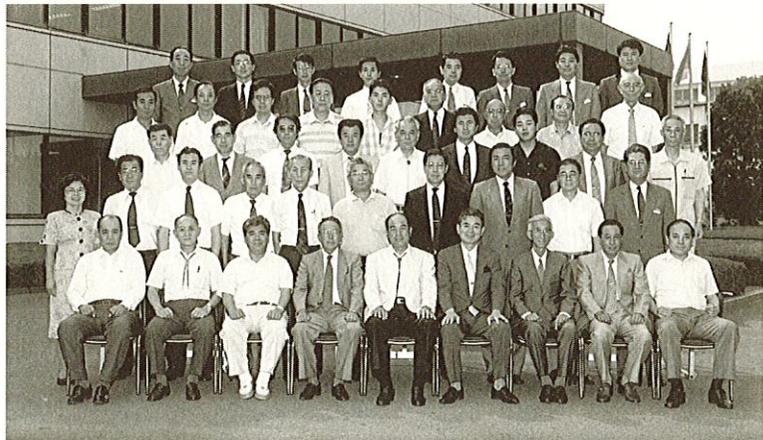
講演会

4. 3. 10 人手不足の解消について 出席者 58名
 講師 糸魚川昭生(川崎商工会議所派遣講師)
3. 10. 27 第18回川崎市中小企業大運動会 川崎競輪場内 参加者 40名
 担当 川崎市電気設備業連絡協議会

研修見学会

3. 7. 23 照明器具(工場用)組立ライン見学
場所 東京電気(株)静岡県三島工場

参加者 39名



東芝ライテック
三島工場見学

川崎市電設工業会 東芝ライテック(株)三島工場(東京電気株)見学記念 1991. 7. 23

3. 11. 19 松下電工ショールーム見学 松下電工(株)東京本社 参加者 38名
ナイステクノプラザ東京・ナイスプラザしんじゅく展示店

研修旅行会

3. 11. 1 箱根湯本温泉 ホテル河鹿荘
出席者 正会員70名・賛助会員16名・計86名

4. 1. 10 新年賀詞交換会
出席者203名(正会員74名 賛助会員39名 二世会21名 招待者69名)

協 力

川崎商工会議所二号議員	杉本会長
” 建設工業部会委員	”
” 産業政策・運営委員会委員	”
” 中小企業振興委員会委員	宮川理事
建設業労働災害防止協会川崎南分会副分会長	杉本会長
” ” 理事	原理事
” 川崎北分会副分会長	菊地原理事
” ” 理事	坪田理事
神奈川県雇用開発協会評議員・川崎支部委員	杉本会長
神奈川県消防設備安全協会理事	”
神奈川県電設団体連絡協議会副会長	菊地原理事
川崎市内電気設備業連絡協議会委員	宮川理事
建災防神奈川支部運営委員会委員	杉本会長

平成 4 年

第1回労働安全衛生大会ひらく



バブルの崩壊は経済界に深く影を落とし、各業界に不況感が感じられるようになった。経済の落ち込みからマンション、住宅の建設ものびなやみ、電気工業界にもじわじわと不況の波が襲った。

官公庁はじめとして大手企業の労働時短による、完全週休2日制が定着するなか、電設工業会のような設備業界では景気の先行懸念とともに、以前に増し若手技術者の確保が一段とむずかしくなった。

当会の継続事業の一環として、第1回労働安全衛生大会を独自に開催、無事故・無災害宣言の年と定めた。独禁法の遵守について再確認をする。

- | | | | | |
|--------------|-------------------|----------------------|-----|-----|
| 4. 4. 9 | 新規学卒就職者歓迎激励大会 | 川崎市教育文化会館 | 出席者 | 13名 |
| 研 修 会 | | | | |
| 4. 5. 28 | 健康管理者研修会 | | 参加者 | 45名 |
| | 講師 | 神奈川県電設健康保険組合 | | |
| 4. 6. 22 | 安全パトロール要員研修会 | エポックなかはら | 出席者 | 10名 |
| | 講師 | 川崎北労働基準監督署・建災防川崎北分会 | | |
| 4. 7. 10 | 安全労働衛生大会 | おもしろ成人病予防かるた（スライド映写） | | |
| | 担当 | 安全委員会・厚生委員会 | 出席者 | 62名 |
| 5. 3. 16 | 緊急安全管理者研修会（南管区） | 川崎市いさご会館 | 出席者 | 18名 |
| | | 川崎南労働基準監督署・建災防川崎南分会 | | |
| 講 習 会 | | | | |
| 4. 10. 27 | 現場管理者統括管理講習会（南管区） | 川崎市いさご会館 | 出席者 | 16名 |
| | 講師 | 川崎南労働基準監督署・建災防川崎南分会 | | |
| 4. 10. 30 | 現場管理者統括管理講習会（北管区） | 川崎北労働センター | 出席者 | 12名 |
| | 講師 | 川崎北労働基準監督署・建災防川崎北分会 | | |

説明会

4. 4. 23 労働基準行政運営方針説明会(南管区)川崎市労働会館大ホール
 講師 川崎南労働基準監督署担当官 出席者 18名
4. 4. 20 労働基準行政運営方針説明会(北管区)川崎市中小企業婦人会館
 講師 川崎北労働基準監督署担当官 出席者 13名
4. 10. 6 安全作業及び内線規程説明会 出席者 60名
 内容 (イ)安全作業について
 (ロ)内線規程(追補版)について
 講師 (イ)愛知車輛(株)技術担当職員
 (ロ)東京電力(株)川崎支社担当職員
4. 10. 13 公共工事に係る技術指導説明会(通信連絡協議会合同) 出席者120名
 内容 (イ)工事写真の撮り方(建築設備編)
 (ロ)電気設備工事施工チェックシート
 講師 川崎市建築局建築部設備課担当職員
4. 10. 21 共同企業体に係る行政指導説明会
 内容 企業体の目的及び基本的在り方について
 出席者 川崎市建築局建築部長・設備課長他担当職員(7名)
 杉本会長他A格業者24社
5. 2. 2 労働時間短縮に係る行政指導説明会
 講師 川崎南労働基準監督署第一方面主任 労働基準監督官 福島路子
 出席者 杉本会長他全理事・安全委員会委員(21名)
4. 7. 22 第1回労働安全衛生大会 参加者153名(内・設備課長他4名)
 [第1部] 行政指導 建設業における労働災害の防止について他
 講師 川崎南労働基準監督署第一方面主任 労働基準監督官 福島路子
 [第2部] 特別講演 あなたはバラ色でない老後をどう生きますか
 講師 横浜市総合保険医療センター所長医学博士 西丸與一

研修見学会

4. 9. 10 キリンビール横浜工場・キリン横浜ビアビレッジ(懇親会)参加者 48名
 内容 ビールの歴史と生産工程
4. 10. 25 第19回川崎市中小企業勤労者大運動会 川崎競輪場内特設会場
 担当 川崎市内電気設備業連絡協議会

研修旅行会

4. 11. 1 熱海温泉さざん亭
 出席者 83名(正会員72名・賛助会員11名)
5. 1. 10 平成5年賀詞交換会
 出席者219名(川崎市市長・市議会議長始め、来賓多数出席のもと、盛会に開催された。)

講演会(川崎地区本部合同)

5. 3. 15 最近の労働問題について「法定労働時間と賃金」 出席者 28名
 講師 社会保険労務士 西崎健一(商工会議所派遣)

協力

- | | |
|---------------------------|----------|
| 川崎商工会議所二号議員 | 杉本徳男会長 |
| 〃 建設工業部会委員 | 〃 |
| 〃 産業政策・運営委員会委員 | 〃 |
| 建災防川崎南分会副分会長・神奈川支部運営委員会委員 | 〃 |
| 〃 川崎南分会理事 | 原峯由理事 |
| 〃 川崎北分会副分会長 | 菊地原忠光副会長 |
| 〃 川崎北分会理事 | 坪田博夫理事 |
| 神奈川県雇用開発協会評議員・川崎支部委員 | 杉本徳男会長 |
| 神奈川県消防設備安全協会理事 | 〃 |
| 神奈川県電設団体連絡協議会副会長 | 菊地原忠光副会長 |
| 川崎市内電気設備業連絡協議会委員 | 宮川秀雄理事 |

平成5年

わが国の経済の動向は第2次円高不況の再来と言われ、深刻な景気の後退が依然と続いている。民間工事の受注の落ち込みで公共事業参加の依存度がこれまで以上に求められた。昨年度本会の継続事業としてはじめられた第一回労働安全衛生大会の、作業は安全・職場は明るく・人には温かくのスローガンを基本にして安全意識の高揚と技術錬磨の向上を、最大の経営基盤とした。

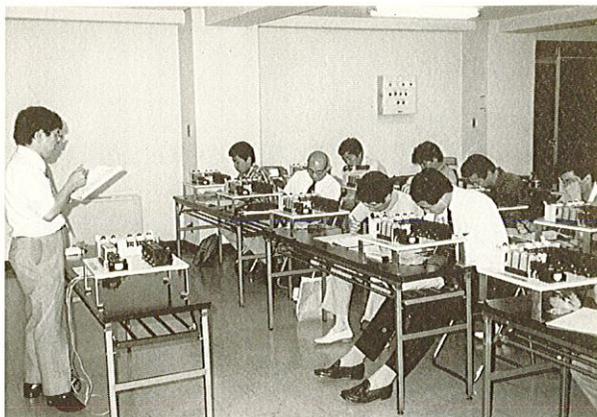
5. 4. 9 新規学卒就職者歓迎激励大会 川崎市立労働会館 出席者 16名
 主催 神奈川県雇用開発協会川崎支部

研修会

- | | |
|---------------------------------|----------|
| 健康管理者研修会 | 参加者 43名 |
| 講師 神奈川県電設健康保険組合 | |
| 5. 9. 2 安全衛生推進者研修会 川崎建設会館(南管内) | 出席者 15名 |
| 講師 川崎南労働基準監督署・建災防川崎南分会(安全委員会) | |
| 5. 9. 3 安全衛生推進者研修会 川崎北労働センター | 出席者 9名 |
| 講師 川崎北労働基準監督署・建災防川崎北分会(安全委員会) | |
| 5. 10. 19 公共工事に係る技術指導研修会(技術委員会) | 出席者 126名 |

- 講師 川崎市建築局設備課担当職員7名 出席者126名(賛助会員を含む)
 内容 イ. 平成5年度版電気設備工事共通仕様書及び標準図の変更等について
 ロ. 工事写真の撮り方について
 ハ. 着工から完成までの提出書類に係る注意事項
 ニ. その他質疑応答

5. 11. 19 シーケンス初級者研修会 (教育講習委員会) 参加者 19名
 講師 富士電機(株)東京商品支社技術担当職員
 内容 自己保持回路等の基礎編実習



シーケンス初級者研修会

講習会

6. 1. 26 NHKテレビ受信システム講習会 受講者 午前の部 42名
 講師 NHK横浜放送局技術職員 午後の部 40名
 担当 川崎市内電気設備業連絡協議会 計 82名
 内容 横浜テレビジョン中継放送に伴う各種受信方法その他専用機器の展示と説明

説明会

5. 4. 21 労働基準行政運営方針説明会 川崎北労働センター (北管内)
 講師 川崎北労働基準監督署担当官 (安全委員会) 出席者 14名
 5. 9. 10 消防法改正等に係る技術指導説明会 出席者 89名
 講師 川崎市消防局予防課担当職員 (教育講習・技術委員会)
 6. 1. 19 新しい入札・契約制度に係る説明会 川崎市いさご会館 出席者 84名
 担当 川崎市企画財政局管財部工事契約課

講演会

5. 7. 12 企業者経営と生命保険について 出席者 72名
 講師 大同生命保険相互会社 所長 市瀬 節
 5. 9. 7 第2回労働安全衛生大会 (安全委員会)
 第1部 [行政指導]

内容 建設業における労働災害と対策について

講師 川崎南労働基準監督署第一方面主任監督官 亀田知恵子

第2部〔記念講演〕

演題 野球人生を語る

講師 日本プロ野球名球会会員

松原 誠 (元巨人軍打撃コーチ)



第2回労働安全衛生大会

5. 10. 17 第20回川崎市中小企業者大運動会 川崎競輪場内特設会場

担当 川崎市内電気設備業連絡協議会

参加者 28名

研修旅行会

5. 11. 5 熱海温泉さざん亭 (5~6日)

出席者 94名 (内賛助会員16名)

研修見学会

富士電機(株)吹上工場・テクノウイング

参加者 19名

イ. 商品見学 (展示室デモ器)

ロ. 工場視察 (電磁開閉器・ブレーカー・高圧遮断器)

6. 1. 10 平成6年新年賀詞交換会 (総務委員会)

出席者218名 (内来賓69名列席盛会に開催された)

協 力

川崎商工会議所二号議員

杉本会長

” 建設工業部会委員

”

” 産業政策・運営委員会委員

”

建設業労働災害防止協会川崎南分会副分会長

”

” 神奈川支部理事

”

” 川崎南分会理事

原副会長

川崎北分会副分会長

菊地原副会長

” 川崎北分会理事

坪田理事

神奈川県雇用開発協会評議員・川崎支部委員

杉本会長

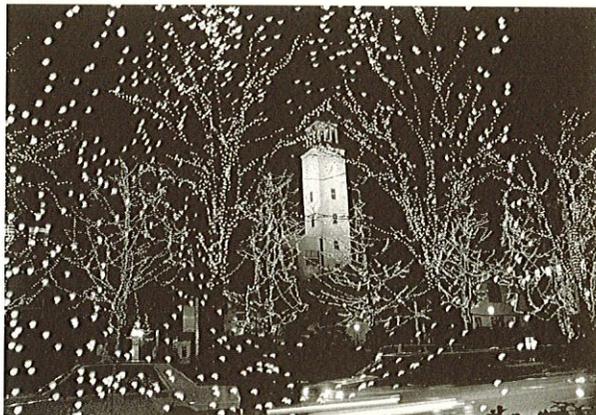
神奈川県消防設備安全協会理事

”

神奈川県電設団体連絡協議会副会長
川崎市内電気設備業連絡協議会委員

菊地原副会長
宮川理事

平成 6 年



市政70周年記念
市庁舎と光のイベント

長期にわたる不況と日米経済摩擦の深刻化など建設業界をとりまく環境は以前にまして
厳しい情勢下にあった。本市の公共工事の落込みと一括発注の傾向はこれまでにない不振
を呈した。

一方ゼネコン汚職の不祥事や、構造協議による国際化の進展に伴い、独禁法の強化及び
公共事業の新入札・契約制度の導入は、設備業界にとっても、急務となった。建設業法に
係わる高水準の管理技術者等の教育養成が要求され対応が急がれた。

7. 1. 17未明発生した兵庫県南部地震に対する災害地への救援活動の一環として義援金
の募集を行い、川崎市建築局建築部設備課を通し、民生局(日本赤十字社受領)に寄託した。

また、市政70周年を記念しての行事、川崎市制70周年記念多摩川花火大会。市政70周年
記念光のイベント川崎インナイト94に協賛した。

- 6. 4. 8 新規学卒就職者歓迎激励大会 川崎市教育センター 出席者 25名
主催 神奈川県雇用開発協会川崎支部

説 明 会

- 6. 6. 8 公共工事に係る技術指導説明会 出席者 95名
講師 川崎市建築局建築部 川島建築部長 橋本設備課長他
- 6. 4. 22 労働基準行政運営方針説明会 川崎市中小企業婦人会館 出席者 16名
講師 川崎北労働基準監督署担当官(安全委員会担当)

研 修 会

- 6. 5. 16 健康衛生管理者研修会(厚生委員会) 参加者 45名
講師 神奈川県電設健康保険組合
- 6. 9. 13 安全労働衛生研修会(安全委員会) 出席者 61名
内容 食生活による成人病予防作戦(スライド映写)
- 7. 2. 24 統括安全衛生推進者研修会 川崎北労働センター 出席者 12名
講師 川崎北労働基準監督署・建災防川崎北分会(安全・厚生委員会)

6. 7. 5 第3回労働安全衛生大会(安全委員会) 川崎市いさご会館2階大ホール
 第1部 [指導講演]
 内容 建設業における労働災害とその対策について
 講師 川崎南労働基準監督署第一方面主任監督官 亀田知恵子
 第2部 [特別企画]
 テーマ 安全管理と音楽
 (脳の活性化で災害ゼロの職場作りを)
 講師 コロンビア(株)DCS感性研究所主任研究員 日高敏夫
 協賛 神奈川県電気工事工業組合川崎地区本部
 出席者180名(賛助会20名、組合35名を含む)

研修見学会

6. 9. 29 神奈川県宮ヶ瀬ダム建設現場 参加者 42名
 目的 RCD工法による施工現場視察及び研修
 案内 建設省宮ヶ瀬ダム工事事務所総務課民間スタッフ 麻生由美子



宮ヶ瀬ダムの見学

講演会

6. 10. 20 独占禁止法に係る指導講演 川崎市労働会館1階ホール 出席者 67名
 演題 公共工事における入札ガイドラインについて
 講師 川崎市企画財政局管財部工事契約課(総務・経営委員会)
 7. 3. 10 兵庫県南部地震に係る特別講演(安全・厚生委員会) 出席者 72名
 演題 阪神大震災被災建築物の応急危険度判定支援活動について
 講師 川崎市建築局建築部学校建築課課長 斉藤茂夫
 6. 10. 23 第21回中小企業大運動会 川崎競輪場特設会場 参加者 31名
 担当 川崎市内電気設備業連絡協議会(厚生・教育講習委員会)
 6. 7. 19 特別座談会 川崎市いさご会館会議室
 主催 神奈川建通新聞社
 テーマ 川崎市21世紀への街づくりを考える
 出席者 川崎市役所助役 伊東仁史

社団法人 川崎建設業協会会長
社団法人 川崎市空調衛生工業会会長
協同組合 川崎建築家の会理事長
社団法人 川崎市電設工業会会長
司 会 建通神奈川支社長 桑原 信彦

研修旅行会(厚生委員会)

6. 11. 4 熱海温泉 さざん亭(全館貸切り)
出席者95名(賛助会員15名を含む)
なお、当日有志による早朝ゴルフ大会が、西熱海ゴルフ場にて盛会に開催された。
7. 1. 10 平成7年新年賀詞交換会(総務委員会)
出席者221名(来賓多数のご臨席のもと盛会に開催された)

協 賛

6. 7. 23 川崎市制70周年記念多摩川花火大会
6. 10. 21 第21回川崎みなと祭り実行委員会(21~23日)
6. 11. 3 第17回かわさき市民祭り実行委員会(3~6日)
6. 12. 9 市制70周年記念光のイベント川崎インナイト94(12/9~1/15)

支援活動(義援金100万円也)



兵庫県南部地震を救援

平成7年1月17日未明発生した兵庫県南部地震に対する、阪神大震災被災地への救援活動の一環として、義援金の募集を行い、会員各位の温かい支援により川崎市建築局建設部設備課を通して、民生局(日本赤十字社受領)に寄託した。

- 第1次寄託 金50万円(平成7年1月20日)
第2次寄託 金50万円(平成7年3月13日)

協 力

川崎商工会議所二号議員	杉 本 会 長
” 建設工業部会委員	”
” 産業政策・運営委員会委員	”
建設業労働災害防止協会川崎南分会副分会長	”
” 神奈川支部理事	”
” 川崎北分会副分会長	菊 地 原 副 会 長
川崎南分会理事	原 副 会 長
” 川崎北分会理事	坪 田 理 事
神奈川県雇用開発協会評議員・川崎支部委員	杉 本 会 長
神奈川県消防設備安全協会理事	”
神奈川県電設団体連絡協議会副会長	菊 地 原 副 会 長
川崎市内電気設備業連絡協議会委員	宮 川 理 事

平成 7 年

景気回復が上向いたかと思えたわが国の経済は、兵庫県南部地震の大惨事に見舞われ、円高現象は産業界の空洞化、海外への投資流出、価格破壊などと続き、社会情勢の不安感
は景気回復に暗い影を落とした。建設業をとりまく環境も厳しい状況にあつて、電気設備
業界も、その対応に戸惑いを余儀なくされた。

阪神大震災の教訓に学び安全確保と技術革新の基本理念が確認された。電公ビルは落成
以来20年を経過、その老朽化に伴い区分所有者の合意により大規模な修繕を行った。

7. 4. 7 新規学卒就職者歓迎激励大会 川崎市労働会館大ホール 出席者 28名
主催 神奈川県雇用開発協会川崎支部 担当 厚生委員会

説 明 会

7. 8. 23 公共工事に係る技術指導並びに説明会(技術委員会)
出席者 計 32名(合同説明会)

講師 川崎市建築局施設整備部 橋本参事他(7名)

川崎市通信設備連絡協議会

1. 川崎電気通信設備協会(3名)
2. 川崎音響設備工業会(2名)
3. 川崎自動火災報知機協会(2名)
4. 川崎共聴会(2名)

杉本会長他三役・技術委員会委員(16名)

7. 12. 22 電気事業法の改定に伴う説明会(総務委員会)
 講師 東京電力(株)神奈川支店営業部・川崎支社(営業開発担当4名)
 内容 ア. 電気事業法改定の主な変更点
 イ. 新電気料金の概要と主な変更点
 ウ. 高周波の技術指針について他
 出席者 川崎市建築局施設整備部・管理検査課
 川崎市まちづくり公社(11名)
 杉本会長他全理事(13名) 合計28名
8. 2. 14 公共工事に係る履行保証制度説明会(総務委員会) 出席者 正会員 91名
 《第1部》 公共工事の履行保証体系その他
 講師 安田火災海上保険(株)金融保証保険部
 《第2部》 工事契約について
 講師 川崎市企画財政局管財部工事契約課

研 修 会

7. 5. 16 健康衛生管理者研修会(厚生委員会) 参加者 55名
 講師 神奈川県電設健康保険組合
7. 7. 10 安全労働衛生研修会(厚生・安全委員会) 出席者 76名
 内容 ストレスと健康《労働衛生スライドシリーズ》
 担当 安全委員会
7. 11. 22 シーケンス基礎編研修会(教育講習委員会) 参加者 22名
 内容 1. 制御盤 ア. 動力回路の説明
 イ. 制御回路の説明
 2. 実 習 ア. 外灯制御回路
 イ. 揚水・排水ポンプ制御回路
 3. 質疑応答その他省施工商品
 講師 松下電工(株)横浜電材営業所・電設盤事業部
7. 9. 6 第4回労働安全衛生大会(安全・厚生委員会)
 場 所 川崎市いさご会館2階大ホール
 第一部 《指導講演》
 主 題 建設業における労働災害防止について
 講 師 川崎南労働基準監督署第一方面
 主任監督官 木 瀬 克 徳
 第二部 《特別企画》
 テーマ 健康食事学入門
 二日酔い対策から長寿の秘訣まで
 講 師 明治製菓(株)健康産業事業部
 管理栄養士 深 川 史 麻

協 賛 神奈川県電気工事工業組合川崎区本部

出席者179名 (賛助会員・組合を含む)

7. 10. 22 第22回川崎市中小企業大運動会(川崎競輪場特設会場) 参加者 25名
 担 当 川崎市内電気設備業連絡協議会(厚生・教育講習委員会)

研修旅行会(厚生委員会)

7. 11. 2 奥湯河原温泉 山翠楼 出席者101名(内・賛助会員16名)
 当日、有志32名の参加により、箱根湖畔ゴルフコースにおいて盛会裏に開催された。

8. 1. 10 平成8年新年賀詞交換会(総務委員会)
 出席者232名(来賓多数ご臨席のもと盛会裏に開催された)

協 賛

7. 8. 26 川崎市多摩川花火大会
 7. 10. 20 第22回川崎みなと祭り実行委員会(20~22日)
 7. 11. 3 第18回かわさき市民祭り実行委員会(3~5日)
 7. 12. 1 光のイベントかわさきインナイト95(12/1~1/5)

協 力

川崎商工会議所二号議員	杉 本 会 長
” 建設工業部会委員	”
” 産業政策・運営委員会委員	”
建設業労働災害防止協会川崎南分会副分会長	”
建設業労働災害防止協会神奈川支部理事	”
神奈川県消防設備安全協会理事	”
神奈川県雇用開発協会評議員川崎支部委員	原 副 会 長
建設業労働災害防止協会川崎北分会副分会長	菊 地 原 副 会 長
神奈川県電設団体連絡協議会副会長	”
川崎市内電気設備業連絡協議会委員	宮 川 理 事
建設業労働災害防止協会川崎南分会理事	島 田 理 事
” 川崎北分会理事	坪 田 理 事

会館落成披露

祝賀会スナップ



昭和48年10月16日

新年賀詞交換会



昭和59年 ▼



▲昭和62年



労働安全衛生大会

平成 6 年



平成 7 年



平成 8 年



A nzen
A karuku
A tatakaku

最新の技術向上をめざして

電気業界で地位を確立した 電気工事士認定講習会

昭和37年

昭和37年電気工事士法の施行にともない本会は公益法人として東京通商産業局長より指定をうけ電気工事士免許取得のための認定講習会を南河原小の教室を借用して開催した。これは通産局が日本電気協会に委託して行われたもので、講習会には通産局から施設課長ならびに電気協会神奈川県支部長が出席し立ち合った。この講習会を通じて370名の電気工事士が誕生し、社団法人川崎市電設工業会の業界での地位を確立した。

昭和37年11月5日菅原会館において閉会式を行った。翌38年より、第2種電気工事士試験認定準備講習会を開始し今日に至っている。この講習会を受けた受験者の合格率は全国平均にくらべ高成績を収めている。

電気工事人から電気工事士へ

関東大震災のあと、その復旧工事のため各所で多くの建築工事が進められた。それにともない建築工事業者が急増し、過当競争がはじまった。そのため電設工事にも例にもれず工事内容が粗悪なものや、不良工事が目立って多くなった。

これを取締るため通信省令昭和10年9月30日(10月11日施行)「電気工事人取締規則」が公布された。これによると「屋内及び家屋の外面上における電気工事に従事せんとする者は本令の定むる所により通信局長の免許を受くべし」と定められた。

免許には甲、乙二種があり両種とも有効期間は10年とされていた。

この規則は昭和20年敗戦とともに廃止された。

その後電気工事人の資格は「電気工事技術者検定制度(その後電気工事人任意検定制度と名称変更)」という任意資格の検定制度が実施され、電気協会が行ってきた。

しかし、電気工事の施行者が任意の資格では、ということで「電気工事士法」が内閣提出議案として上程、昭和35年8月1日法律第139号で公布された。

電気工事士法の全面施行は昭和38年8月1日からで、法律制定にかかわって、それに間に合うようにそれまでの有資格者を経過措置で次のように救済することになった。

- ① 電気工事技術者任意検定試験（電気協会が委託を受けて行う）で合格したもの
- ② 通産省が認めた養成施設で975時間の講習を終了したもの
- ③ 旧電気工事人免許を所持し10年以上電気工事に従事しているもの
- ④ 前記に準ずるもので工事経験が7年以上のものには36時間（Aコース）

10年以上のものには12時間（Bコース）の受講者に電気工事士の免許証が交付されることになった。



昭和37年

本工業会は昭和37年7月5日附東産公第6443号で東京通産業局長より電気工事士免許取得のため認定講習実施団体として指定をうけ下記のように実施した。

Bコース（1回目）	8月6日～8月24日	受講者 56名
" （2回目）	9月3日～9月21日	受講者 108名
Aコース（1回目）	10月8日～10月18日	受講者 101名
" （2回目）	11月5日～11月15日	受講者 105名
		計 370名

電気工事士試験受験準備講習会

昭和38年～

昭和38年

38年度の電気工事士試験準備講習会は神奈川県労働部に委託して6月10日～7月25日まで神奈川県立川崎職業訓練所で行った。受講者62名。

この年より毎年開催される電気工事士試験準備講習会は本工業会の重要事業のひとつで

あり、後継技術者養成の機会となっている。

昭和39年

学科	日時	6月6日	午後6時～午後9時		
		7日	午前9時～午後4時30分		
		20日	午後6時～午後9時		
		21日	午前9時～午後4時30分		
実技	場所	市民会館	2階会議室	受講者	79名(当初申込者 83名)
	講師	神奈川県川崎職業訓練所訓練課長 熊田節夫			
実技	日時	9月17日	午後2時～午後5時		
	場所	神奈川県川崎職業訓練所		受講者	23名
	講師	神奈川県川崎職業訓練所訓練課長 熊田節夫			
		東電神奈川支店川崎営業所 中島忠市			

昭和40年

学科	月日	6月12日・13日・19日・20日			
	場所	川崎建設会館		受講者	107名
技能	月日	9月11日			
	場所	川崎職業訓練所		受講者	26名

昭和41年

学科	月日	6月11日・12日・18日・19日			受講者	79名
	場所	川崎建設会館				
技能	月日	9月16日			受講者	37名
	場所	当会館屋上				

昭和42年

学科	月日	6月10日・11日・17日・18日			受講者	54名
	場所	当会々館				
技能	月日	9月8日			受講者	53名
	場所	当会々館				

昭和43年

学科	月日	6月8日・9日・15日・16日・22日(5日間)				
	場所	当会々館	講師	東電職員	受講者	58名
技能	月日	9月7日				
	場所	当会々館	講師	東電職員	受講者	35名

昭和44年

学科	月日	6月7日・8日・14日・15日・21日(5日間)				
	場所	産業文化会館	講師	東電職員	受講者	50名
技能	月日	9月6日				
	場所	当会々館	講師	東電職員	受講者	47名

昭和45年

学科 月日 6月13日・14日・20日・21日・22日（5日間）
 場所 産業文化会館 県立青少年会館
 講師 東電職員 受講者 32名

技能 月日 9月5日
 場所 当会々館 講師 東電職員 受講者 37名

昭和46年

月日 9月11日
 場所 当会々館 講師 東電職員 受講者 47名

昭和47年

月日 9月12日
 場所 当会々館 講師 東電職員 受講者 39名

昭和48年

月日 9月1日・2日
 場所 川崎専修職業訓練校 講師 東電職員 受講者 77名

昭和49年

学科 月日 6月10日～20日
 場所 当会々館
 講師 中原専修職業訓練所指導員及び東電職員 受講者 70名

技能 月日 9月11日
 場所 当会々館 講師 東電職員 受講者 75名



講習会（学科）

昭和50年

学科 月日 6月10日～19日
 場所 当会々館
 講師 東京電力（株）川崎支社職員 受講者 72名

技能 月日 9月6日
 場所 当会々館 講師 東京電力（株）川崎支社職員 受講者 44名

昭和51年

学科	月日	6月18日～24日		
	場所	当会々館		
	講師	東京電力(株)川崎支社職員		受講者 73名
技能	月日	9月4日		
	場所	当会々館		
	講師	東京電力(株)川崎支社職員		受講者 79名



講習会(技能)

昭和52年

学科	月日	6月10日～16日		
	場所	当会々館		
	講師	東京電力(株)川崎支社職員		受講者 61名
技能	月日	9月3日	場所 当会々館	
	講師	東京電力(株)川崎支社職員		受講者 71名

昭和53年

学科	月日	6月15日～22日		
	場所	県立技能訓練センター		
	講師	東電及び訓練センター職員		受講者 44名
技能	月日	9月1日～5日		
	場所	県立技能訓練センター		
	講師	東電及び訓練センター職員		受講者 70名

昭和54年

学科	月日	6月4日～18日(内8日間)		
	場所	京浜技能訓練センター		
	講師	東電及び訓練センター職員		受講者 49名
技能	月日	8月31日～9月4日(内4日間)		
	場所	京浜技能訓練センター		
	講師	東電及び訓練センター職員		受講者 39名

昭和55年

学科	月日	6月9日～18日（内7日間）		
	場所	京浜技能訓練センター		
	講師	東電及び訓練センター職員	受講者	48名
技能	月日	9月1日～6日（内4日間）		
	場所	京浜技能訓練センター		
	講師	東電及び訓練センター職員	受講者	56名

昭和56年

学科	月日	6月3日～19日（内8日間）		
	場所	京浜技能訓練センター		
	講師	東電及び訓練センター職員	受講者	48名
技能	月日	9月2日～9日（内4日間）		
	場所	京浜技能訓練センター		
	講師	東電及び訓練センター職員	受講者	42名

昭和57年

学科	月日	6月7日～25日（内6日間）		
	場所	京浜技能訓練センター		
	講師	東電及び訓練センター職員	受講者	33名
技能	月日	9月1日～8日（4日間）		
	場所	京浜技能訓練センター		
	講師	東電及び訓練センター職員	受講者	55名

昭和58年

学科	月日	6月6日～24日（内8日間）		
	場所	京浜技能訓練センター		
	講師	東電川崎支社職員	受講者	23名
技能	月日	9月3日～6日（内2日間）		
	場所	当会大会議室		
	講師	東電川崎支社職員	受講者	55名

昭和59年

学科	月日	6月8日～22日（内7日間）		
	場所	当会大会議室		
	講師	東電川崎支社職員	受講者	33名
技能	月日	9月3日～6日（4日間）		
	場所	当会大会議室		
	講師	東電川崎支社職員	受講者	44名

昭和60年

学科	月日	5月18日～19日（2日間）		
----	----	----------------	--	--

技能	場所	当会大会議室	
	講師	東京電力川崎支社担当職員	受講者 31名
	月日	8月24日・9月3日・4日（3日間）	
	場所	当会大会議室	
技能	講師	東京電力川崎支社担当職員	受講者 32名
	昭和61年		
	学科	月日 5月10日・11日（2日間）	
	場所	当会大会議室	
技能	講師	東京電力川崎支社担当職員	受講者 30名
	月日	7月19日・20日・26日（3日間）	
	場所	当会大会議室	
	講師	東京電力川崎支社担当職員	受講者 30名
昭和62年			
技能	学科	月日 5月23日・24日（2日間）	
	場所	当会大会議室	
	講師	東京電力株式会社川崎支社	受講者 65名
	月日	7月18日・19日・25日（3日間）	
技能	場所	当会大会議室	
	講師	東京電力株式会社川崎支社	受講者 59名
	昭和63年		
	学科	月日 5月28日・29日（2日間）	
技能	場所	当会大会議室	
	講師	東京電力株式会社川崎支社	受講者 54名
	月日	7月23日・24日・30日（3日間）	
	場所	当会大会議室	
技能	講師	東京電力株式会社川崎支社	受講者 91名

第二種電気工事士試験受験準備講習会 と名称を変更

平成元年

技能	学科	月日 5月20日・21日（2日間）	
	場所	当会大会議室	
	講師	東京電力株式会社川崎支社担当職員	受講者 42名
	月日	7月15日・16日・22日（3日間）	
技能	場所	当会大会議室	
	講師	東京電力株式会社川崎支社担当職員	受講者 46名

平成2年

学科	月日	6月2日・3日（終日2日間）		
	場所	当会大会議室		
	講師	東京電力株式会社川崎支社担当職員	受講者	57名
技能	月日	7月21日・28日（終日2日間）		
	場所	当会大会議室		
	講師	東京電力株式会社川崎支社担当職員	受講者	40名

平成3年

学科	月日	6月1日・2日（2日間）		
	場所	当会大会議室		
	講師	東京電力（株）川崎支社担当職員	受講者	62名
技能	月日	7月20日・21日・27日（3日間）		
	場所	当会大会議室		
	講師	東京電力（株）川崎支社担当職員	受講者	51名

平成4年

学科	月日	6月6日・7日（2日間）		
	場所	当会大会議室		
	講師	東京電力（株）川崎支社担当技術職員	受講者	72名
技能	月日	7月18日・19日・25日（3日間）		
	場所	当会大会議室		
	講師	東京電力（株）川崎支社担当技術職員	受講者	73名

平成5年

学科	月日	5月29日・30日（2日間終日）		
	場所	当会大会議室		
	講師	東京電力（株）川崎支社担当技術職員		
	担当	川崎市内電気設備業連絡協議会 教育講習委員会技術指導員	受講者	114名
技能	月日	7月17日・18日（終日）24日（午後）		
	場所	当会大会議室		
	講師	東京電力（株）川崎支社担当技術職員		
	担当	川崎市内電気設備業連絡協議会 教育講習委員会技術指導員	受講者	84名

平成6年

学科	月日	5月28日・29日（2日間終日）（教育講習委員会）		
	場所	当会大会議室		
	講師	東京電力（株）川崎支社担当技術職員		
	担当	川崎市内電気設備業連絡協議会技術指導員	受講者	120名

技能 月日 7月16日・17日（終日）23日（午後）（教育講習委員会）
 場所 当会大会議室
 講師 東京電力（株）川崎支社担当技術職員
 担当 川崎市内電気設備業連絡協議会技術指導員 受講者 99名

平成7年

学科 月日 5月27日・28日（終日）（教育講習委員会）
 場所 当会大会議室 受講者 117名
 技能 月日 7月15日・16日（終日）22日（午後）
 場所 当会大会議室
 講師 東京電力（株）川崎支社担当技術職員
 担当 川崎市内電気設備業連絡協議会技術指導員 受講者 89名



電気工事士試験受験準備講習会（技能）

技術革新に向けての取組み

また本会は発足以来高圧ケーブル端末処理の認定講習会等技術にかかわる講習会を開催、大きな評価を受け多くの技術者を養成した。

今日われわれ電気業界をとりまく技術革新は、それまでの移り変わりにくらべたら問題にならない。ペンチ一丁とはしごの時代から、電設用電動工具、高所作業車ならびにクレーンなど大型電設機械の導入と工事方法も大きく変わった。

エアコンをはじめ家庭用電気製品の大型化、電力使用量の増加、新資材、コンピューターをはじめハイテク機器、光ファイバーの出現など、想像もし得なかったものが出現してきたのがいまの電気業界である。

また各種情報機器の発展もめざましく、マルチメディアの時代を迎え、電気業界はめざましい変化を遂げている。電気通信工事業法の改正にともない、NTTの独占事業であった

電話業界への電設業者の参入、衛星放送開始にともなう放送受信など情報機器業界への参入等にもなう技術習得も急務の課題となっている。

これについて本会では会員の技術向上にむけ新技術に対応すべき講習会、新製品、新機械等の説明会に積極的にとりくんでいる。

高圧ケーブル端末処理認定講習会



高圧ケーブル端末処理講習会

37・11・20	高圧鋼帯鎧ケーブル端末処理講習会	受講者	60名
43・10・24	高圧CVケーブル端末処理講習会	受講者	36名
49・3・17	高圧ケーブル端末処理講習会	参加者	20名
50・11・7～8	高圧CVケーブル端末処理講習会	受講者	41名
51・11・11～12	高圧CVケーブル端末処理講習会	受講者	44名
52・12・1～2	高圧CVケーブル端末処理技術講習会	受講者	36名
54・3・1～2	高圧ケーブル工事技能認定講習会	受講者	45名
55・3・4～5	高圧CVケーブル端末処理技術認定講習会	受講者	40名
56・11・17～18	高圧CVケーブル端末処理技術認定講習会	受講者	29名
56・11・25～26	高圧CVケーブル端末処理技術認定講習会	受講者	27名
57・7・8～9	高圧CVケーブル端末処理技術認定講習会	受講者	132名
58・10・20～21	高圧ケーブル工事端末処理技術認定講習会	受講者	51名

シーケンス講習会

57・6・24	シーケンス講習会	受講者	17名
57・10・6	〃	受講者	11名



シーケンス講習会

58・7・15	シーケンス講習会	(初 級)	受講者	32名
58・9・9	〃	(初 級)	受講者	19名
58・12・2	〃	(中 級)	受講者	21名
59・7・12	〃		受講者	14名
59・9・26	〃	(上 級)	受講者	10名
1・12・5	〃		受講者	21名
2・11・28	〃	(基礎編)	受講者	12名
5・11・19	〃	(初 級)	参加者	19名
7・11・22	〃	(基礎編)	参加者	22名

シーケンサー講習会



シーケンサー講習会

60・11・21	シーケンサー講習会		受講者	11名
61・11・26	〃		受講者	12名
62・11・27	〃		受講者	10名

新技術修得のための研究・講習会

38・9・26	高圧電気技術者講習会	受講者	74名
39・3・18	硬質ビニル管工事講習会	参加者	68名
51・3・27	電気工事士実技講習会	受講者	30名
51・8・26	差込形耐塩ケーブルヘッド講習会	受講者	47名
52・10・6	電気保安技術講習会	受講者	70名
52・10・17	差込形屋外耐塩用終端接合講習会	受講者	60名
57・9・10	工事写真の撮り方説明会	出席者	60名
57・9・10	プラフレキ説明会	出席者	60名
58・6・10	エアコン技術講習会	受講者	30名
58・11・25	第1回技術研究会	出席者	9名
59・5・11	エアコン据付実技講習会	受講者	29名



エアコン据付実技講習会

59・11・27	第2回技術研究会	出席者	17名
60・9・10	コンピューター導入説明会	出席者	63名
60・11・9	工事写真の撮り方説明会	出席者	67名
61・7・2	アーク溶接講習会	受講者	17名
61・9・10	積算システム説明会	出席者	65名
1・9・28	ハイテク技術研修会	出席者	38名
2・9・13	ホームオートメーション化技術指導	出席者	35名
3・10・14~15	高所作業者運転技能特例講習会	受講者	142名
3・9・25~26	小型移動式クレーン運転技能特例講習会	受講者	138名
4・1・27	高所作業車運転特例講習会	受講者	70名
4・1・29	小型移動式クレーン運転技能特例講習会	受講者	64名

通信事業にかかわる講習会

54・11・12	電話工事講習会	受講者	68名
62・11・17	NHK衛星放送受信講習会	出席者	46名



NHK衛星放送受信講習会

6・1・26	NHKテレビ受信システム講習会	受講者	82名
--------	-----------------	-----	-----

光ファイバー講習会

57・6・25	光ファイバーケーブル説明会	出席者	28名
59・9・10	光ファイバー講習会	受講者	58名

工事設備にかかわる法規・説明・講習会

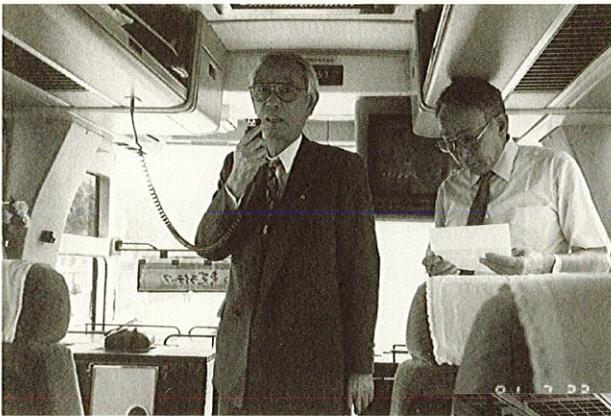
37・12・1	電気設備工事積算講習会	参加者	30名
39・8・5	電気設備工事費積算指針講習会	受講者	80名
43・8・8	仕様書並びに資材表について		
43・8・12	監督員規程及び検査規程についての説明会		
45・3・19	積算技術講習会	受講者	51名
46・11・9	木造住宅電気設備工事費積算講習会	受講者	56名
46・6・28	学校規格図面説明会	受講者	60社

47・8・10	建築基準法説明会	出席者 48名
47・8・10	建築基準法に基づく許可申請実務説明会	出席者 40名
49・9・2	学校規格図面改正説明会	理事全員
50・3・25	消防法令改正説明会	参加者 25社
52・6・16	土木工事施工基準説明会	受講者 60名
52・6・17	通信設備工事共通仕様書説明会	受講者 17名
52・11・10	消防設備工事打合せ	出席者 69名
56・5・15	電気設備工事共通仕様書説明会	受講者 134名
56・7・10	省エネルギー施設説明会	受講者 65名
57・3・10	消防法令説明会	受講者 60名
57・9・13	内線規定説明会	受講者 49名
60・6・5～11・22 (10回)	電気設備工事共通仕様書、標準図、特別事項の見直し検討	
61・4・24	電気設備工事共通仕様書説明会	出席者 108名
61・4・24	工事完成保証人に係る説明会	出席者 108名
61・7・23	公共工事施工に係る説明会	出席者 72名
62・3・10	改修プラン説明会	出席者 69名
63・7・11	消防法改正に係る説明会	出席者 61名
63・7・14	行政及び技術指導講演会	出席者 43名
1・5・18	電気設備工事共通仕様書及び標準図説明会	出席者 68名
1・9・11	” ”	出席者 125名
2・5・30	電気設備工事施工管理指針説明会	出席者 34名
2・9・10	消防法改正に係る説明会	出席者 71名
2・12・4	電灯契約等に係る説明会	出席者 72名
3・9・19	現場管理者統括管理講習会	出席者 15名
4・10・6	安全作業及び内線規定説明会	出席者 60名
4・10・13	公共工事に係る技術指導説明会	出席者 120名
5・9・10	消防法改正等に係る技術指導説明会	出席者 89名
6・10・20	兵庫南部自信に係る特別講演会	出席者 72名
7・8・23	公共工事に係る技術指導並びに説明会	出席者 32名

見学会

38・10・26～27	佐久間発電所及びダム	参加者 40名
39・6・13	第9回全国有料電設資材展	参加者 46名
42・3・25	東電久里浜火力発電所（従業員見学会）	参加者 30名

45・9・10	展示説明会 不二工・シャープ	
47・2・3	プレハブ中層住宅電気工事見学会	参加者 75名
47・7・22~23	松下電工真門工場見学会	参加者 42名
48・12・22	日通工新製品展示説明会	参加者 54名
49・9・10	西日本電線新製品展示説明会	参加者 59社
51・7・9	超小型形態式パイプツール新製品展示説明会	参加者 59名
56・8・25	省エネルギー施設見学会	参加者 34名
2・6・26~27	蛍光灯専門工場見学会	参加者 39名
3・7・23	照明器具（工具用）組立ライン見学会	参加者 39名



東芝ライテック見学会



松下ショールーム見学会

3・11・19	松下電工ショールーム見学会	参加者 38名
4・9・10	ビールの歴史と生産工程見学会	参加者 48名
5・11・19	富士電機・商品・工場見学会	参加者 19名

会員の意欲と技術の向上のため

電気工事士技能競技大会開催

昭和54年度より新たに会員の意欲と技術の向上をめざし、川崎市、川崎市議会、川崎建設業協会、東京電力(株)川崎支社及び営業所、県立京浜高等職業技術校の後援を得て、電気工事士技能競技大会を開催し、現在に至るまで毎年実施している。

当初はベテランの電気工事士が腕を競ったが、第10回以降は前年度第二種電気工事士免許取得者が出場するようになった。

第10回大会から開催前に川崎市建設業施設整備部・大会運営委員及び技術委員会の委員が集まり審査基準の策定などについて検討会を開き、技術競技に臨んでいる。

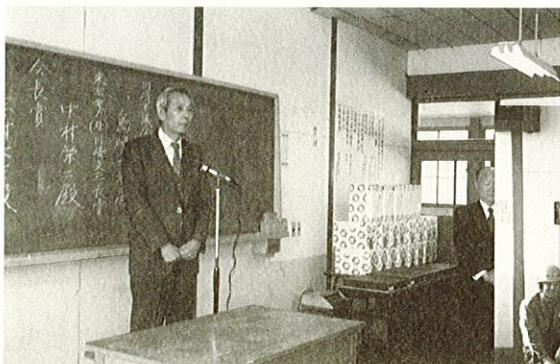
この大会は、川崎市電設工業会の開催する特色ある事業のひとつとして業界から注目されている。

第1回電気工事士技能競技大会

月 日 昭和55年 2月20日

場 所 京浜技能訓練センター

参加者 21名



審査員

市役所設備課長	大島 覚	東電川崎支社試験係長	多田 虎三
〃 電気第一係長	小泉 常義	〃 試験主任	小松原増二
〃 電気第二係長	森 芳郎	川崎高等職業訓練所電気工事科主任	柳原 陽一

受賞者

川崎市市長賞	有山 肇一	日鋼電気	東電川崎支社長賞
川崎市議会議長賞			中村 栄二 光陽電業
	島崎 義明	浜川電気	会長賞 志村 七生 志村電設
			技術委員長賞 山下 考一 関口電気

第2回電気工事士技能競技大会

月 日 昭和55年11月12日

場 所 当会々館

参加者 15名

審査員

市役所設備課長	大島 覚	東電川崎支社試験主任	糀谷 紘三
〃 電気第一係長	小泉 常義	〃	末峰 健次
〃 電気第二係長	石田 知一		

受賞者

川崎市市長賞	山口 俊男	岡電気商会	東電川崎支社長賞
川崎市議会議長賞			西沢 泰一 トヨオカ電気
	岩沢 正男	島田電気	会長賞 安食 馨 関口電設

第3回電気工事士技能競技大会

月 日 昭和57年3月18日

場 所 当会々館

参加者 12名

審査員

川崎市役所設備課長	大島 覚	東電川崎支社試験主任	糀谷 紘三
〃 電気第一係長	石田 知一	〃	末峰 健次
〃 電気第二係長	小上馬利司		

受賞者

川崎市市長賞	昼間 健次	関口電設	川崎商工会議所会頭賞
川崎市議会議長賞			野崎 訓克 京電社
	小泉 利弘	光陽電業社	東電川崎支社長賞
			加藤 尚武 京電社
			会長賞 岸田 義一 加賀谷電機

電気工事士技能競技大会

第4回電気工事士技能競技大会

月 日 昭和58年3月8日

場 所 当会々館

参加者 13名

審査員

川崎市役所設備課長	大島 覚	東電川崎支社試験主任	糀谷 紘三
〃 電気第一係長	石田 知一	〃	末峰 健次
〃 電気第二係長	小上馬利司		

受賞者

川崎市長賞	河野 勝	光陽電業社	東電川崎支社長賞
川崎市議会議長賞			小澤 平 小澤 電気
	幸尻 伸右	南武電業	会長賞
			杉淵 慈朗 小林 電設
川崎商工会議所会頭賞			
	塩川 敬次	京 電 社	

第5回電気工事士技能競技大会

月 日 昭和59年2月9日



場 所 当会々館

参加者 15名

審査員

川崎市役所設備課長	大島 覚	東電川崎支社試験主任	糀谷 紘三
〃 電気第一係長	小上馬利司	〃	吉田 直之
〃 電気第二係長	岩沢 秀国		

受賞者

川崎市長賞	砂原 良男	小澤 電気	東電川崎支社長賞
川崎市議会議長賞			須田 功 東京 電機
	宇野 滋	湘南電設	会長賞
			山下 守 吉田 電設
川崎商工会議所会頭賞			
	野口 広	京 電 社	

第6回電気工事士技能競技大会

月 日 昭和59年10月5日

場 所 当会々館 参加者 15名

審査員

川崎市役所設備課長	大島 覚	東電川崎支社試験主任	糀谷 紘三
〃 電気第一係長	小上馬利司	〃	吉田 直之
〃 電気第二係長	岩沢 秀国		

受賞者

川崎市長賞	渡辺 修司	東京電機	東電川崎支社長賞
川崎市議会議長賞			伊藤 文夫 関口 電設
	菊池 盛夫	菊池電業	川崎建設業協会々長賞
川崎商工会議所会頭賞			堀米 保 サイウエレクトリック商会
	竹内 則男	光陽電業	会長賞 布村 治男 関口 電設

第7回電気工事士技能競技大会

月 日 昭和60年9月27日

場 所 当会1階駐車場特設会場 参加者 15名

審査員

川崎市建築局設備課長	大島 覚	東電川崎支社試験主任	吉田 直之
〃 電気第一係長	小上馬利司	東電高津営業所工事課係長	岡本 三朗
〃 電気第二係長	岩沢 秀国	東電生田営業所配電課係長	佐藤 範雄
東電川崎支社試験主任	糀谷 紘三		

受賞者

川崎市長賞		東京電力高津営業所長賞
	生晴 康孝	菅原 浩一 千代田電気
川崎市議会議長賞		〃 生田営業所長賞
	丸岡 秀弥	篠塚 琴一 住吉電機
川崎商工会議所会頭賞		川崎建設業会々長賞
	原 強寿	田中 茂三 光陽電業
東京電力川崎支社長賞	原電光社	会長賞
	石川 勝広	坂原 長二 富士電気

第8回電気工事士技能競技大会

月 日 昭和61年9月19日

場 所 当会1階特設会場 参加者 15名

審査員

川崎市建築局設備課参事	大島 覚	東京電力株式会社川崎支社・高津営業所
〃 電気第一主査	小上馬利司	生田営業所
〃 電気第二主査	岩沢 秀国	

第10回電気工事士技能競技記念大会開く

社団法人 川崎市電設工業会



手順良く作業板に施工する各選手

「非常に優秀な選手が、成積発表後、壇上にお立ち上がり、賞状を授けられた。この大会は、電気工事士の技術向上に大いに貢献した。今後、更に技術の向上に努め、社会に貢献してほしい。」と、大会の趣意を述べられた。

日頃の技術遺憾なく発揮

当日は天候不順で、会場は雨模様。しかし、選手たちは雨具を着用し、作業に集中して取り組んでいた。会場には、観客も大勢集まり、選手たちの活躍を熱心に見守っていた。

関係各位に敬意

この大会を開催するにあたり、関係各位の御協力に深く感謝申し上げます。今後も、関係各位の御指導と御支援をいただき、大会の発展に努めます。

川崎電設工業会では、電気工事士の技術向上を図るため、毎年開催している「第10回電気工事士技能競技記念大会」を開催いたします。今年も、多くの選手が参加し、熱戦が繰り広げられました。

大会の結果、優秀な選手が表彰されました。この大会を通じて、選手たちは自身の技術を磨き、技術向上を図ることができました。

大会の成功には、関係各位の御協力が不可欠でした。今後も、関係各位の御指導と御支援をいただき、大会の発展に努めます。

大会の趣意を述べられた。今後、更に技術の向上に努め、社会に貢献してほしい。」と、大会の趣意を述べられた。

大会の結果、優秀な選手が表彰されました。この大会を通じて、選手たちは自身の技術を磨き、技術向上を図ることができました。

大会の成功には、関係各位の御協力が不可欠でした。今後も、関係各位の御指導と御支援をいただき、大会の発展に努めます。

第10回大会にあたり、川崎市電設工業会 会長 石崎 寛 一言ご挨拶を申し上げます。本日は、ご多忙の中、ご参加いただき、誠にありがとうございます。

大会の趣意を述べられた。今後、更に技術の向上に努め、社会に貢献してほしい。」と、大会の趣意を述べられた。

大会の成功には、関係各位の御協力が不可欠でした。今後も、関係各位の御指導と御支援をいただき、大会の発展に努めます。

第10回電気工事士技能競技記念大会 開催おめでとうございます

岩崎電気株式会社
代表取締役 高梨 大雄
川崎市神奈川区根岸町5-37 電話(045)321-8881

永優電気製作所
代表取締役 高梨 大雄
川崎市神奈川区根岸町2-14-2 電話(044)299-0913

南関東東芝電材株式会社
代表取締役 静 準一
川崎市神奈川区根岸町2-1-1 電話(044)366-52009

協同電機株式会社
代表取締役 西 堀 隆太郎
川崎市中央区山下町2-2-7 電話(045)641-1415

共和電機株式会社
代表取締役 丹 月 崇
川崎市神奈川区根岸町5-8 電話(044)233-71190

杉本電機産業株式会社
代表取締役 杉 本 伸一
川崎市神奈川区根岸町6-5 電話(044)211-47450

泉州電業株式会社
代表取締役 元 上 敏
川崎市神奈川区根岸町4-1-15 電話(044)555-66119

特立電機製作所
代表取締役 石 井 三男
川崎市神奈川区根岸町1-4 電話(045)574-2561

株式会社 中山防災
代表取締役 中山 快義
川崎市神奈川区根岸町5-9-0 電話(044)854-64619

株式会社 藤電商会
代表取締役 清 水 裕
川崎市神奈川区根岸町4-12-17 電話(044)757-1750

川崎音響設備工業会
事務局 川崎市神奈川区根岸町1333-5 電話(044)433-6781

松下電工株式会社 神奈川東電材営業所
代表取締役 片 山 邦正
川崎市神奈川区根岸町1-3-3 電話(044)742-1203

明工業株式会社
代表取締役 川 村 英夫
川崎市神奈川区根岸町1238 電話(044)411-2222

友幸電機株式会社
代表取締役 村 松 松夫
川崎市神奈川区根岸町1333-5 電話(044)433-3742



川崎市長 伊藤 三郎

川崎市長 伊藤 三郎 一言ご挨拶を申し上げます。本日は、ご多忙の中、ご参加いただき、誠にありがとうございます。

大会の趣意を述べられた。今後、更に技術の向上に努め、社会に貢献してほしい。」と、大会の趣意を述べられた。

大会の成功には、関係各位の御協力が不可欠でした。今後も、関係各位の御指導と御支援をいただき、大会の発展に努めます。

大会の趣意を述べられた。今後、更に技術の向上に努め、社会に貢献してほしい。」と、大会の趣意を述べられた。

友幸電機株式会社
代表取締役 村 松 松夫
川崎市神奈川区根岸町1333-5 電話(044)433-3742

受賞者

川崎市長賞 小俣 真吾 坪田 電業
 川崎市議会議長賞
 田中 忠 佐藤 電機
 川崎商工会議所会頭賞
 竹居 喜明 大昇 電気
 川崎建設業協会々長賞
 久保 忠 千代田電気

東京電力川崎支社長賞
 佐藤 時夫 愛工社
 東京電力高津営業所長賞
 柴田 岩夫 天野商事
 〃 生田営業所長賞
 吉田 薫 吉田電設
 当会々長賞 花沢 操 京浜電興

協賛

協同電気株式会社
 杉本電機産業株式会社

東芝電材株式会社

第9回電気工事士技能競技大会

月 日 昭和62年9月29日

場 所 当会特設会場

参加者 15名

審査員

川崎市建築局設備課 大島 参事
 石田 主査
 小上馬主査

東京電力株式会社川崎支社・高津営業所
 生田営業所

受賞者

川崎市長賞
 佐藤 弘志 光陽電業
 川崎市議会議長賞
 平川 義高 共進電機
 川崎商工会議所会頭賞
 小野寺利治 トヨオカ
 川崎建設業協会々長賞
 前川 茂 小林電設

東京電力川崎支社長賞
 吉田 泰雅 富士電気
 東京電力高津営業所長賞
 名取 元広 岡田電設
 東京電力生田営業所長賞
 高沢 勝美 千代田電気
 当会々長賞
 伏見 泰一 篠原電機

協賛

協同電気株式会社
 杉本電機産業株式会社

東芝電材株式会社

第10回電気工事士技能競技記念大会

審査基準検討会

月 日 昭和63年10月12日

場 所 当会第1会議室

目 的 電気工事士競技大会審査基準並びに採点表の作成

電気工事士技能競技大会

出席者

川崎市建築局設備課
 県立京浜高等職業技術校
 技術委員会委員長外2名

東京電力株式会社
 川崎支社・高津営業所・生田営業所

計8名

技能競技大会

月 日 昭和63年10月24日



場 所 県立京浜高等職業技術校特設会場
 審査員

選手 20名

川崎市建築局設備課
 大島参事・石田主査・高野主査
 県立京浜高等職業技術校

東京電力株式会社
 川崎支社・高津営業所・生田営業所

(計7名)

受賞者

川崎市長賞 小俣 真吾 坪田 電業
 川崎市議会議長賞
 伏見 泰一 篠原 電機
 川崎商工会議所会頭賞
 宇野 滋 湘南 電設
 川崎建設業協会々長賞
 西沢 泰一 トヨオカ
 東京電力(株)川崎支社長賞
 林 浩之 テルヤ電工

東京電力(株)高津営業所長賞
 河野 勝 光陽 電業
 東京電力(株)生田営業所長賞
 渡辺 修司 東京 電機
 京浜高等職業技術校長賞
 塩川 啓次 京 電 社
 当会々長賞
 生清 康孝 神港 電機

第11回電気工事士技能競技大会

審査基準検討会

月 日 平成2年2月6日

場 所 当会第1会議室

目的 電気工事士競技大会審査基準並びに採点表の作成

出席者

川崎市建築局設備課

当会技術委員会

技能競技大会

月 日 平成2年2月16日

場 所 県立京浜高等職業技術校特設会場

選手（平成元年度第二種電気工事士免許取得者）15名

審査員

川崎市建築局設備課

大島 参事

東京電力株式会社川崎支社

”

高野副主幹

高津営業所・生田営業所技術職員

”

山口 主査

県立京浜高等職業技術校 柳原 技幹

受賞者

川崎市市長賞 高橋 一博 岡 電 機

当会会長賞 佐藤 正孝 技術校生

川崎市議会議長賞

当会技術委員会賞

愛甲 浩一 富士電気

加藤 旭 技術校生

川崎商工会議所会頭賞

同 賞

真保 泰明 技術校生

小島 英二 矢崎電機

川崎建設業協会会長賞

同 賞

菅原 新一 菅原電気

深谷 隆士 技術校生

東電川崎支社長賞

同 賞

藤田 弘之 新城電機

浜中 正幸 新城電機

東電高津営業所長賞

同 賞

伊藤 昭悦 技術校生

荻野 哲生 中山防災

東電生田営業所長賞

同 賞

平本 宝 伊鈴電設

大石 建一 技術校生

高等職業技術校校長賞

永井 信 岡 電 機

第12回電気工事士技能競技大会

審査基準検討会

月 日 平成3年2月19日

場 所 当会第1会議室

目的 電気工事士競技審査基準の策定

出席者

川崎市建築局設備課

技術委員会

技能競技大会

月 日 平成3年2月21日

電気工事士技能競技大会

場 所 県立京浜高等職業技術校特設会場

選手（平成2年度第二種電気工事士取得者）14名

審査員

川崎市建設局大島参事他設備課

東京電力株式会社・川崎支社

担当職員3名

高津営業所・生田営業所各1名

県立京浜高等職業技術校担当技官1名

受賞者

川崎市市長賞

高等職業技術校校長賞

村岡 孝敏 技術校生

田中 俊英 技術校生

川崎市議会議長賞

当会会長賞

井上 弘之 岡田電設

佐藤 敏行 技術校生

川崎商工会議所会頭賞

当会技術委員会賞

船曳清次郎 神港電気

八木 勝 関口電設

川崎建設業協会会長賞

同 賞

古屋 修 加賀谷電機

福 浩一 伊鈴電設

東電川崎支社長

同 賞

小出 剛 技術校生

川村 仁 テルヤ電工

東電高津営業所長賞

同 賞

石井 秀夫 岡田電設

勝連 敏則 住吉電機

東電生田営業所長賞

同 賞

遊木 隆彦 光陽電業

荒井 智昭 技術校生

第13回電気工事士技能競技大会

審査基準検討会

月 日 平成4年2月17日

場 所 当会第1会議室

目 的 電気工事士競技大会審査基準の策定

出席者

川崎市建築局設備課

当会技術委員会

技能競技大会

月 日 平成4年2月19日

場 所 京浜高等職業技術校特設会場

選手（平成3年度第二種電気工事士免許取得者）15名

審査員

川崎市建築局設備課橋本課長

東京電力株式会社・川崎支社

他担当職員3名

高津営業所・生田営業所技術職員

県立京浜高等職業技術校佐久間技官

（計8名）

受賞者

川崎市市長賞	岩岡 政己	岩岡電機	当会会長賞	
川崎市議会議長賞				佐藤 勝弘 朝日電機
	及川 壮一	寿電興	当会技術委員会賞	
川崎商工会議所会頭賞				下田 康彦 東海電業
	古川 尚士	京浜愛工	同 賞	
川崎建設業協会会長賞				民谷 貞之 京浜電興
	佐保田 隆	岡電機	同 賞	
東電川崎支社長賞				島田 正栄 丹野電機
	河野 修	岡電機	同 賞	
東電高津営業所長賞				板垣 直人 末広電業
	辰己 豊	岡田電設	同 賞	
東電生田営業所長賞				佐渡山安志 京浜電興
	屋宮 哲郎	吉見電設	同 賞	
高等職業技術校校長賞				川平 政男 技術校生
	中村 修一	岡田電設		

第14回電気工事士技能競技大会

審査基準検討会

月 日 平成5年2月12日
 場 所 当会第1会議室
 目 的 電気工事士競技大会の審査基準の策定他
 出席者

川崎市建築局設備課長他 当会技術委員会委員

技能競技大会

月 日 平成5年2月17日
 場 所 県立京浜高等職業技術校内特設会場

選手（平成4年度第二種電気工事士免許取得者）15名

審査員

川崎市建築局建築部設備課課長 東京電力株式会社・川崎支社
 他担当職員6名 高津営業所・生田営業所技術職員
 県立京浜高等職業技術校担当技官

受賞者

川崎市市長賞		川崎市商工会議所会頭賞
	岡庭 啓二 技術校生	岩永さゆり 国際電工
川崎市議会議長賞		川崎市建設業協会会長賞
	古川 裕二 吉見電設	小泉 英二 岡電機

東電川崎支社長賞

守谷 毅 寿電興

東電高津営業所長賞

古川 康弘 東海電業

東電生田営業所長賞

中里 努 原電光社

京浜高等職業技術校長賞

工藤 達志 原電光社

川崎市電設工業会会長賞

小松 淳司 トヨオカ

技術委員会賞

松江 弘平 松江電業

同 賞

金城 剛 住吉電機

同 賞

神山 義雄 山洋工業

同 賞

吉川 初枝 光洋電業

同 賞

小倉 涙 東邦電業

同 賞

広田真一郎 京浜電興

第15回電気工事士技能競技大会

審査基準検討会 (技術委員会)

月 日 平成6年2月8日

場 所 当会大会議室

目 的 第15回電気工事士技能競技大会の競技課題に係る審査基準策定その他

出席者 川崎市建築局設備課長他7名

大会運営委員・技術委員会委員 計24名



技能競技大会

月 日 平成6年2月16日

場 所 県立京浜高等職業技術校特設会場

選手 (平成5年度第二種電気工事士免許取得者) 15名

審査員

川崎市建築局設備課長他6名

京浜高等職業技術校技官

東京電力株式会社

(株)川崎支社・高津営業所・生田営業所 (計11名)



15回電気工事士技能競技大会
社団法人 川崎市電設工業会



受賞者

川崎市市長賞	磯部 昭二	国際電工	川崎市電設工業会会長賞	
川崎市議会議長賞			三浦 良司	東海電業
	糸田 晃良	光陽電業	工業会技術委員会賞	
川崎商工会議所会頭賞			守谷 勝好	寿電興
	佐々木英樹	岡田電設	同 賞	
川崎建設業協会会長賞			与座 博喜	粕川電業
	山口 芳文	辰野電設	同 賞	
東京電力川崎支社長賞			井戸 勉	京浜愛工
	高橋 幸司	志村電設	同 賞	
東京電力高津営業所長賞			小野 尊弘	小沢電気
	田上 正二	末広電業	同 賞	
東京電力生田営業所長賞			水戸 幸宏	中山防災
	長谷川宗昭	南武電業	同 賞	
京浜高等職業技術校長賞			大城 智玄	甲信電気
	金子 英郎	技術校生		

第16回電気工事士技能競技大会

審査基準検討会 (技術委員会)

月 日 平成7年1月30日

場 所 当会大会議室

目 的 第16回電気工事士技能競技大会に係る審査基準策定他

出席者

川崎市建築局建築部設備課

大会運営委員及び技術委員会委員

(計21名)

技能競技大会

月 日 平成7年2月2日

場 所 京浜高等職業技術校

選手(平成5年・6年度第二種電気工事士免許取得者)15名

審査員

委員長 川崎市建築局参事橋本設備課長

委 員 同設備課佐々木主幹他担当職員4名

東京電力株式会社・川崎支社・高津営業所・生田営業所

受賞者

川崎市市長賞

塚野 定兼 丸井電設

川崎市議会議長賞

梅沢 賢一 坪田電業

川崎商工会議所会頭賞

横山 正秀 光陽電業

県立京浜高等職業技術校校長賞

高橋 知也 菊池電業

川崎建設業協会会長賞

川路 義明 電工舎

東京電力川崎支社長賞

太田 貴之 山洋工業

東京電力高津営業所長賞

仲里 吉弘 沖電設

東京電力生田営業所長賞

佐藤 忠志 日鋼電気

川崎市電設工業会会長賞

野口 和彦 原電光社

当会技術委員会賞

塩本 隆之 京浜愛工

同 賞 安藤 智之 伊鈴電設

同 賞 横山 克明 吉見電設

同 賞 小野寺徹夫 伊鈴電設

同 賞 中井 康滋 辰野電設

同 賞 竹中 義浩 粕川電業

第17回電気工事士技能競技大会

審査基準検討会 (技術委員会)

月 日 平成8年2月2日

場 所 当会大会議室

目 的 電気工事士技能競技大会に係る審査基準策定等他

出席者

川崎市建築局施設整備部 大会運営委員及び技術委員会委員（計23名）

技能競技大会

月 日 平成8年2月8日

場 所 神奈川県立京浜高等職業技術校特設会場

選手（平成6年・7年度第二種電気工事士免許取得者）15名

審査員

委員長 橋本大二郎（施設整備部参事）

委 員 川崎市建築局施設整備部担当職員7名

東京電力株式会社・川崎支社・高津営業所。生田営業所

受賞者

川崎市市長賞 上野 博幸 岡 電 機 川崎市電設工業会会長賞

川崎市議会議長賞 山下 貴士 島田電設

水上 隆文 島田電設 川崎市電設工業会技術委員会

川崎商工会議所会頭賞 八木 康洋 粕川電業

伊藤 武司 日鋼電機 同 賞

県立京浜高等職業技術校校長賞 遠藤 誠 伊鈴電設

志村 信之 国際電工 同 賞

川崎建設業協会会長賞 子安 隆弘 丸子電気

笹山 桂一 原電光社 同 賞

東京電力(株)川崎支社長賞 木村 達也 神港電気

松崎 修 吉見電設 同 賞

東京電力(株)高津営業所長賞 中村 賢 神港電気

前田 篤志 寿電興 同 賞

東京電力(株)生田営業所長賞 西出 幸子 新城電機

和田 典久 千代田電気

競技結果反省会（技術委員会）

月 日 平成8年2月22日

場 所 当会大会議室

目 的 第17回電気工事士競技大会の結果報告並びに今後の運営対策について

出席者

川崎市建築局施設整備部

大会運営委員及び技術委員会委員 計23名

新しい時代に向けての経営研究・講習会

現代は高度情報化時代といわれている。

電設業界も急速に多様化、高度化する技術に対応するだけでなく、経営の合理化を進め優れた企業に成長しなければならない。

しかし将来を見通して、バブル期のように公共工事が大きく伸びることは期待できないと考えてよい。また民間工事においても、時によれば赤字受注を強いられ、また、適正価格を下まわるダンピングは結果的に業界全体の衰退につながる。

新しい時代に向けて、すぐれた企業に成長するには、技術力もさることながら経営力を高め先見的対応が求められるだろう。

電設工業会では、これら諸問題について解決をはかるべく、研修会、講習会など会員と多くの機会を持つよう努力している。

昭和40年

7・29 新電気事業説明会

昭和42年

11・10 講演会 労務監理について 出席者 48名

12・11 講演会 労務監理について 出席者 41名

昭和43年

3・11 説明会 法人税について 出席者 42名

4・1～4 監督者訓練講習会 受講者 27名

昭和45年

3・11 幹部社員講習会 受講者 10名

10・21 税務講演会 参加者 45名

昭和46年

2・10 幹部社員講習会 受講者 13名

昭和48年

3・19	幹部社員講習会	受講者	6名
昭和49年			
3・14	幹部社員講習会	参加者	10名
3・11	税務説明会	参加者	49社
3・11	講演会 環境の変化に対処する電設業界の将来について	参加者	49社
昭和50年			
3・14	幹部社員講習会	受講者	10名
3・25	消防法令改正説明会	参加者	25社
11・10	川崎市長による講演会 市政と一般情勢について	出席者	58名
昭和51年			
3・18	幹部社員講習会	受講者	10名
昭和53年			
10・11	講演会 建設業界の将来の動向について	出席者	66社
昭和54年			
9・10	法人税講習会	受講者	68名
昭和55年			
11・10	省エネルギー講演会	出席者	63名
昭和56年			
3・10	事局講演会 ソ連を考える	出席者	60名
3・9	川崎市指名参加登録業務説明会	参加者	74名
11・10	法人説明会	出席者	70名
昭和57年			
3・10	消防法令説明会	出席者	60名
昭和58年			
3・10	税務説明会	出席者	69名
3・10	指名参加手続説明会	出席者	69名
昭和59年			
12・17	秦野参議員議員による講演会 何の政治か	出席者	79名
昭和63年			
2・16、23	改正労働基準法規説明会	出席者	29名
3・10	講演会 最近の経済情勢について		
4・22、28	労働基準行政運営方針説明会	出席者	31名
7・11	消防法改正に係る説明会	出席者	61名
7・28	経営事項審査申請手続等説明会	出席者	62名
10・20、24	改正労働安全衛生法説明会	出席者	27名
平成元年			
3・10	消費税説明会	出席者	83名

4・21、25	労働基準行政運営方針説明会	出席者	30名
6・12	新税法に係る消費税等説明会	出席者	71名
平成2年			
3・15	労働保険業務手続等説明会	出席者	38名
4・13、24	労働基準行政運営方針説明会	参加者	33名
7・10	労働問題等に係る行政指導説明会	出席者	69名
9・10	消防法改正等に係る説明会	出席者	71名
平成3年			
4・23	労働基準行政運営方針説明会	受講者	19名
7・10	会社法改正等に係る行政指導説明会	出席者	69名
平成4年			
3・10	講演会 人手不足に確保について	出席者	58名
4・20、23	労働基準行政運営方針説明会	出席者	31名
10・21	共同企業体に係る行政指導説明会	出席者	31社
10・27、30	現場管理者統括管理講習会	出席者	28名
平成5年			
2・2	労働時間短縮に係る行政指導説明会	出席者	21名
3・15	講演会 最近の労働問題について「法定労働時間と賃金」	出席者	28名
3・16	緊急安全管理者研修会	出席者	18名
4・21	労働基準行政運営方針説明会	出席者	14名
7・12	講演会 企業者経営と生命保険について	出席者	72名
平成6年			
1・19	新しい入札、契約制度に係る説明会	出席者	84名
4・22	労働基準行政運営方針説明会	出席者	16名
10・20	独禁法にかかわる指導講演	出席者	67名
平成7年			
12・22	電気事業法の改定に伴う説明会	出席者	28名
平成8年			
2・14	公共工事に係る履行保証制度説明会	出席者	91名

懇談と陳情

川崎市電設工業会は昭和36年社団法人として認定されて以来、分離発注、適正工事費、市内業者優先発注等について各種関係機関並びに発注機関とコミュニケーションをとり、かつ懇談会や陳情活動を積極的に行ってきた。

昭和48年、OPECの原油供給削減決定の余波を受け、いわゆる第一次オイルショックに見舞われたわが国では、物不足とインフレになやまされた。電気業界でも電設資材の急激な値上りと不足の事態を生じた。

本会では、市長と建設業協会へ電材不足の実情について、さらに市長には特別措置の適用を陳情した。このように、本会は発足以来、第1次、第2次オイルショックによる構造不況、バブル等経済的な起伏はあったが、政界及び行政、建設関連団体など多くの関係機関と密接な連携を保ち、度あるごとに懇談会、研究会、打ち合わせ会など開き、危機を切りぬけてきた。

それらの活動は工業会の発展に大きな成果をもたらしたと言えよう。

昭和38年

懇談

- | | | | |
|-------|---------|------|-----------|
| 6・25 | 賛助会員懇談会 | 7・2 | 建築・建設局懇談会 |
| 8・21 | 建築局懇談会 | 9・19 | 建設業協会懇談会 |
| 11・27 | 水道局懇談会 | | |

陳情

昭和38年2月18日及び昭和38年3月5日神奈川県建築局長へ電気工事の分離発注に関し岡口顧問の紹介で陳情した。

昭和39年

懇談

- | | |
|------|--------|
| 1・25 | 建築局懇談会 |
|------|--------|

陳情

昭和39年4月21日に県庁へ技術講習委託料増額について陳情した。

昭和40年

懇談

- 7・27 川崎市役所建築局懇談会 8・2 賛助会員懇談会
9・8 川崎市役所建築局懇談会

陳情

昭和40年1月14日川崎市役所に対し、建築工事単価の適正化について川崎建設協会他4団体と連名で陳情した。

昭和41年

懇談

- 3・17 賛助会員懇談会 6・17 賛助会員懇談会
6・27 建設業協会懇談会 10・17 建設業協会懇談会

昭和42年

懇談

- 7・14 川崎市役所建築局事務技術関係懇談会
8・29 川崎市役所建築局事務技術関係懇談会

昭和43年

懇談

- 5・7 川崎市役所建築局懇談会 10・23 川崎建設業協会懇談会

昭和44年

懇談

- 4・22 建設業協会川崎市役所建築局懇談会・建築局長以下11名、協会々長以下22名の懇談会に当方副会長以下2名が出席し、諸経費昂騰、プレハブ工法等について懇談した。
5・2 川崎市役所建築局懇談会・建築局長以下4名の出席を願い、当方会長、副会長が出席して、市の本年度工事計画等について説明を伺い、且つ懇談した。
5・27 川崎市役所建築局懇談会・建築局長以下10名の出席を願い、当方会長以下全理事が出席し、分離発注、人件費、共益費について懇談陳情した。
8・21 川崎建設業協会懇談会・先方会長以下6名、当方会長以下8名出席して共益費について懇談した。
9・9 川崎市役所建築局懇談会・局長、課長、係長の出席を願い、当方会長以下5名が出席し共益費の積算上について懇談した。

昭和45年

懇談

- 1・31 川崎建設業協会懇談会・先方会長以下11名、当方会長以下全理事が出席、物価人件費、共益費等について懇談した。
5・1 川崎市役所建築局 5・2 川崎市役所建築局

5・15 川崎市役所建築局

8・24 川崎市役所建築局

昭和46年

懇談

1・14 川崎市住宅供給公社

1・23 川崎建設業協会

2・19 川崎市役所建設局

3・3 川崎市役所建築局

3・27 川崎建設業協会

6・7 川崎市役所建築局

6・18 川崎市役所建築局

8・10 川崎建設業協会

11・16 川崎市役所建築局

昭和47年

懇談

1・28 川崎市役所総務局

5・15 川崎市役所建築局幹部

6・18 川崎市役所建築局

6・20 川崎市役所営繕第三課

7・11 川崎市役所総務部幹部

9・12 川崎市耐火建築助成公社

10・11 川崎市役所総務局幹部

陳情

4・12 川崎市・プレハブ化住宅電気工事の発注について

12・8 川崎市耐火建築助成公社・分離発注について

昭和48年

懇談

2・27 川崎市役所営繕第三課幹部

7・17 川崎市役所総務局

8・2 賛助会員

8・21 川崎市役所建築局営繕第三課

10・25 川崎市住宅供給公社

11・17 賛助会員

11・20 川崎市役所総務局

11・27 川崎市役所建築局営繕第三課

11・27 電線支給問題（昭和電線・泉州電業）

12・7 川崎市耐火建築助成公社

陳情

4・17 川崎市長・主旨・適正価格による発注

5・8 川崎市住宅供給公社・主旨 分離発注と適正価格による発注

8・18 川崎市長・建設業協会・主旨 電材不足の実情について

12・13 川崎市長・主旨 特別措置の適用について

昭和49年

懇談

1・19 賛助会員

5・21 川崎市役所総務局

6・14 川崎市役所建築局営繕第三課

9・10 川崎建設業協会

昭和50年

懇談

2・3 川崎市役所総務局

3・17 川崎市役所下水道局

- 5・21 川崎市役所建築局
6・5 川崎市耐火建築助成公社
- 5・24 川崎市役所総務局
8・28 川崎市住宅供給公社

昭和51年

懇談

- 2・6 川崎市役所総務局懇談会
6・15 川崎市役所建築局懇談会
8・24 川崎市役所下水道局懇談会
9・21 川崎市役所工事組合懇談会
- 4・27 賛助会員懇談会
7・2 川崎市役所総務局懇談会
9・1 川崎市役所下水道局懇談会

陳情

- 7・13 川崎市役所土木局・水道局・供給公社・助成公社
8・5 川崎市役所水道局・下水道局
10・27 川崎市役所建築局

昭和52年

懇談

- 5・24 川崎市役所総務局懇談会
10・27 川崎市耐火建築助成公社懇談会
- 7・15 川崎市役所建築局懇談会

陳情

- 2・7 川崎市役所建築局
10・31 川崎市役所建築局・総務局（建設業協会に協力）
- 4・13 川崎市役所建築局・総務局

昭和53年

懇談

- 6・3 川崎建設業協会懇談会
7・13 川崎市役所総務局懇談会
10・27 日本電設工業協会懇談会
- 7・13 川崎建設業協会懇談会
7・24 川崎市役所建築局懇談会

陳情

- 5・16 神奈川県住宅供給公社
9・7 川崎市役所建築局・総務局
- 6・1 川崎市市長・各局長
12・27 川崎市役所建築局・総務局

昭和54年

懇談

- 2・17 賛助会員懇談会
6・8 川崎市役所総務局懇談会
- 4・11 川崎市役所建築局懇談会
9・18 川崎市役所設備課懇談会

陳情

- 1・31 川崎市役所建築局・総務局
5・24 川崎市役所各局長
8・30 市役所設備課長
9・19 川崎市市長
10・16 川崎市役所総務局長、水道局長、議会市民クラブ
- 5・2 川崎市役所用度課長
6・1 川崎市市長
9・1 川崎市役所建築局長
10・9 財団法人日本食肉流通センター

10・18 日本食肉流通センター関係梓設計事務所

11・9 日本住宅公団関東支社

12・28 川崎市住宅供給公社

昭和55年

懇談

4・16 川崎建設業協会懇談会 6・3 川崎市役所建築局懇談会

陳情

1・8 川崎市市長、市議会議長 5・17 川崎市役所環境保全局長

5・26 (財)川崎市教育施設整備公社理事長 5・27 雇用促進事業団

7・9 (財)川崎市教育施設整備公社理事長 8・4 川崎市役所設備課長

8・5 川崎市役所第一助役 10・2 川崎市市長

10・6 川崎地下街株式会社

昭和56年

懇談

3・11 川崎建設業協会懇談会 6・25 川崎市総務局懇談会

7・7 川崎市建築局懇談会 8・18 川崎市下水道局懇談会

陳情

3・3 市役所第一助役、設備課長、用度課長

1～3月（5回）(財)川崎市耐火建築助成公社

4・30 川崎市工藤助役 6・16 川崎市役所水道局長

6・16 川崎市役所清掃局長 6・23 川崎市住宅供給公社

6・24 川崎市役所下水道局長 7・17 新百合丘農住都市開発株式会社

7・28 川崎市役所水道局給水部長 9・10 川崎市役所都市開発局開発部長

9・30 新百合丘農住都市開発株式会社 10・1 川崎地下街株式会社

昭和57年

懇談

7・8 川崎市役所総務局懇談会 7・26 川崎市役所建築局懇談会

10・21 民社党市会議員懇談会

陳情

4・5 川崎市港湾局港務課長 4・23 川崎市役所下水道局施設第三係長

4・26 川崎市役所下水道局施設課長 7・12 川崎市役所建築局他4局長

7・27 川崎市工藤助役、設備課長 9・24 川崎市住宅供給公社

9・27 川崎市工藤助役、供給公社高井常務理事

10・7 川崎市住宅供給公社 10・15 川崎市役所下水道局建設部長

10・15 川崎市耐火建築助成公社 10・19 日本住宅都市整備公団本部、関東支社

11・4 川崎市役所設備課長、用度第二課長

昭和58年

懇談

- 6・20 川崎市役所総務局懇談会 7・19 川崎市建築懇談会
11・8 川崎市建築家の会懇談会

陳情

- 1・11 日本住宅都市整備公団関東支社
5・16 川崎市工藤助役、建築局長
8・9 川崎市高橋、田村助役、建築部長、設備課長、用度第二課長
10・13 川崎市住宅供給公社

昭和59年

懇談

- 5・16 川崎市役所企画調整局懇談会 5・22 川崎市役所総務局懇談会
5・28 川崎市役所建築局懇談会 9・3 川崎市通信設備連絡協議会懇談会

陳情

- 2・2 川崎市役所土木・下水道・清掃・環境保全・港湾・交通・水道・民生各局長、
教育長
2・3 川崎市役所土木局道路事務所長、川崎・幸・中原・高津・多摩各土木事務所長、
教育委員会施設部長
6・1 川崎市耐火建築助成公社、住宅供給公社、教育施設整備公社
7・24 川崎商工会議所 8・23 川崎商工会議所
9・3 戸田建設株式会社 9・10 川崎市住宅供給公社

昭和60年

懇談

- 4・16 事業主懇談会 5・24 川崎市役所建築局懇談会
5・28 川崎市役所総務局懇談会 7・17 事業主懇談会
7・24 事業主懇談会 8・1 川崎市耐火建築助成公社懇談会
8・7 事業主懇談会 9・2 川崎市役所環境保全局
12・3 事業主懇談会 並びに各出先事務所懇談会

陳情

- 2・7 川崎商工会議所
2・18 株式会社東芝
4・23 川崎市役所総務局及建築局
5・15 川崎市長並びに助役室・総務局他各局・川崎商工会議所
5・15 川崎市耐火建築助成公社・川崎市住宅供給公社・川崎市教育施設整備公社
5・17 川崎市役所総務局用度二課及建築局設備課
5・27 神奈川県住宅供給公社及神奈川県都市部
6・14 川崎市役所環境保全局・土木局・各出先事務所及道路事務所
6・27 川崎市役所総務局用度二課

- 7・18 川崎市役所環境保全局及耐火建築助成公社
- 7・19 川崎市役所総務局用事二課
- 7・22 川崎市教育施設整備公社
- 8・1 川崎市役所総務局用度二課
- 10・14 川崎市役所建築局・設備課
- 11・13 川崎市役所総務局用度二課及市民ミュージアム準備室
- 11・18 川崎市役所建築局・設備課
- 11・19 川崎市助役室及市民ミュージアム準備室
- 12・4 川崎市長室及び助役室

昭和61年

懇談

- 3・12 事業主懇談会
- 6・10 川崎市役所財政局懇談会
- 8・2 事業主懇談会
- 12・2 事業主懇談会
- 6・10 川崎市役所建築局懇談会
- 7・14 川崎市役所環境保全局懇談会
- 11・7 市議会第四委員会懇談会

陳情

- 4・21 川崎市役所建築局及び設備課
- 5・27 川崎市役所財政局及び管財部工事契約課建築局設備課
- 6・11 川崎市建築局設備課水道局総務課
- 6・18 川崎市役所議会事務局
- 7・15 川崎市役所建築局設備課
- 8・8 川崎市住宅供給公社及び耐火建築助成公社
- 10・2 川崎市役所財政局工事契約課
- 10・27 川崎市議会事務局
- 11・11 川崎市長室及び市議会事務局
- 12・19 川崎市住宅供給公社
- 5・15 川崎市財政局及び管財部工事契約課
- 6・16 川崎市役所環境保全局・下水道局
- 7・2 川崎市役所環境保全局
- 7・24 川崎市役所建築局設備課
- 10・3 川崎市役所建築局設備課
- 11・5 川崎市長室及び助役室
- 12・15 川崎市造園建設業協同組合

昭和62年

懇談

- 2・7 事業主懇談会
- 5・8 事業主懇談会
- 6・9 川崎市役所建築局懇談会
- 7・10 事業主懇談会
- 7・28 事業主懇談会
- 9・3 川崎市役所土木局懇談会
- 12・10 事業主懇談会
- 4・15 事業主懇談会
- 5・11 事業主懇談会
- 6・19 川崎市役所財政局懇談会
- 7・21 川崎市耐火建築助成公社
- 8・4 川崎市役所環境保全局懇談会
- 11・24 川崎市議会第四委員会懇談会

陳情

- 1・7 川崎市長室及び助役室・建築局他各局

- | | | | |
|-------|----------------------|-------|-----------------|
| 1・7 | 川崎市住宅供給公社及び耐火建築助成公社 | | |
| 2・21 | 川崎市議会事務局 | 2・23 | 川崎市議会事務局 |
| 3・9 | 川崎市議会事務局 | 5・21 | 川崎市役所企画調整局 |
| 5・25 | 川崎市長室・助役室 | 5・25 | 住宅・都市整備公団 |
| 5・26 | 川崎市建築局並びに財政局他各局 | 5・29 | 川崎市役所建築局設備課 |
| 6・5 | 神奈川県土木部並びに都市部 | 6・11 | 川崎市役所建築局並びに財政局 |
| 6・16 | 川崎市役所建築局設備課 | 7・2 | 川崎市環境保全局並びに下水道局 |
| 7・2 | 川崎市耐火建築助成公社並びに住宅供給公社 | | |
| 8・5 | 川崎市土木局並びに環境保全局 | 8・5 | 川崎市議会事務局 |
| 8・11 | 川崎市役所土木局 | 8・11 | 川崎市議会第四委員会 |
| 8・24 | 川崎市役所建築局設備課 | 9・24 | 川崎市長室 |
| 11・17 | 川崎市役所長室並びに助役室 | 11・26 | 川崎市議会事務局 |
| 12・3 | 川崎市役所建築局設備課 | | |

昭和63年

懇談

- | | | | |
|-------|-------------|-------|-------------|
| 2・13 | 事業主懇談会 | 4・21 | 事業主懇談会 |
| 5・25 | 川崎市役所建築局懇談会 | 6・24 | 川崎市役所財務局懇談会 |
| 6・28 | 川崎市耐火建築助成公社 | 7・14 | 事業主懇談会 |
| 8・9 | 川崎市役所土木局懇談会 | 9・20 | 事業主懇談会 |
| 12・12 | 事業主懇談会 | 12・15 | 事業主懇談会 |

陳情

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|----------------|
| 2・12 | 川崎市役所建築局設備課 | 3・31 | 川崎市役所建築局 |
| 4・7 | 川崎市役所建築局整備課 | 5・9 | 川崎市役所建築局整備課 |
| 5・11 | 川崎市役所財政局他関係当局 | 5・11 | 川崎市長室及び助役室 |
| 5・12 | 川崎市役所建築局整備課 | 5・26 | 川崎市役所財政局工事契約課 |
| 5・30 | 川崎市耐火建築助成公社・住宅供給公社 | | |
| 6・20 | 川崎市役所財政局 | 6・24 | 川崎市土木局及び建築局整備課 |
| 6・27 | 川崎市役所土木局 | 7・2 | 川崎市役所消防局予防課 |
| 7・25 | 川崎市役所建築局設備課 | 7・27 | 川崎市役所環境保全局 |
| 8・10 | 川崎市役所土木局道路部補修課 | 9・5 | 川崎市耐火建築助成公社 |
| 9・6 | 川崎市長室及び助役室 | | |
| 9・29 | 川崎市住宅供給公社及び耐火建築助成公社 | | |
| 10・3 | 川崎市役所建築局設備 | 10・13 | 川崎市議会事務局 |
| 10・17 | 川崎市役所建築局設備課 | 12・5 | 川崎市長室及び議長室 |

平成元年

懇談

- | | | | |
|-----|--------|------|--------|
| 2・4 | 事業主懇談会 | 4・10 | 事業主懇談会 |
|-----|--------|------|--------|

懇談と陳情

- | | | | |
|------|-----------|------|--------------|
| 4・25 | 事業主懇談会 | 6・30 | 川崎市建築局懇談会 |
| 7・7 | 川崎市財政局懇談会 | 7・10 | 川崎市通信設備連絡協議会 |
| 7・19 | 事業主懇談会 | 9・19 | 事業主懇談会 |

陳情

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|----------------|
| 1・13 | 川崎市長室他関係当局 | 2・1 | 川崎市土木局及び建築局設備課 |
| 3・9 | 川崎市建築局設備課及び財政局工事契約課 | | |
| 4・3 | 川崎市役所建築局設備課 | 4・11 | 川崎市役所財政局他関係当局 |
| 5・25 | 川崎市長室並びに助役室 | 6・8 | 川崎市耐火建築助成公社 |
| 6・15 | 川崎市役所財政局並びに建築局 | 7・4 | 川崎市役所建築局設備課 |
| 8・17 | 川崎市役所建築局設備課 | 8・19 | 川崎市住宅供給公社 |
| 9・11 | 川崎市役所財政局工事契約課 | 10・23 | 川崎市役所建築局他関係当局 |
| 11・29 | 川崎市長室並びに助役室 | 12・6 | 川崎市役所建築局設備課 |
| 12・27 | 川崎市長室他関係当局 | | |

平成2年

懇談

- | | | | |
|-------|--------|------|----------|
| 2・10 | 事業主懇談会 | 4・11 | 事業主懇談会 |
| 6・13 | 川崎市建築局 | 6・28 | 事業主懇談会 |
| 7・14 | 事業主懇談会 | 7・23 | 川崎市企画財政局 |
| 10・31 | 事業主懇談会 | 11・9 | 事業主懇談会 |
| 12・17 | 事業主懇談会 | | |

陳情

- | | | | |
|-------|-------------------|-------|------------------|
| 1・8 | 川崎市長室他関係当局 | 1・24 | 川崎市長室並びに市議会事務局 |
| 2・13 | 川崎市建築局設備課 | 2・15 | 川崎市長室並びに建築局及び設備課 |
| 2・19 | 川崎市建築局整備課 | 4・24 | 川崎市企画財政局他関係当局 |
| 5・28 | 川崎市建築局 | 6・6 | 川崎市建築局設備課 |
| 7・11 | 川崎市企画財政局並びに建築局設備課 | | |
| 8・10 | 川崎市企画財政局工事契約課 | 10・31 | 川崎市長室並びに助役室 |
| 11・5 | 川崎市耐火建築助成公社 | 12・3 | 川崎市市長室他関係当局 |
| 12・11 | 川崎市建築局設備課 | | |

平成3年

懇談

- | | | | |
|------|-------------|------|-----------|
| 2・8 | 事業主懇談会 | 2・19 | 事業主懇談会 |
| 4・25 | 事業主懇談会 | 6・20 | 川崎市建築局懇談会 |
| 7・13 | 事業主懇談会 | 7・20 | 事業主懇談会 |
| 7・22 | 川崎市企画財政局懇談会 | 12・5 | 事業主懇談会 |

陳情

- 1・8 川崎市市長室並びに助役室他関係当局

- | | | | |
|-------|--------------------|-------|----------------|
| 1・24 | 川崎市市議会事務局並びに建築局設備課 | | |
| 2・22 | 川崎市市長室並びに議長室他関係当局 | | |
| 2・25 | 川崎市市長室渉外課 | 5・17 | 川崎市企画財政局 他関係当局 |
| 5・28 | 川崎市市長室並びに助役室 | 5・30 | 川崎市企画財政局並びに建築局 |
| 6・6 | 川崎市建築局設備課 | 7・11 | 川崎市企画財政局工事契約課 |
| 9・10 | 川崎市建築局設備課 | 10・15 | 川崎市市長室 |
| 11・21 | 川崎市市長並びに助役室 | 12・10 | 川崎市建築局設備課 |
| 12・26 | 川崎市市長室他関係当局 | | |

平成4年

懇談

- | | | | |
|-------|-------------|-------|--------|
| 2・14 | 事業主懇談会 | 2・22 | 事業主懇談会 |
| 5・13 | 川崎市建築局懇談会 | 5・19 | 事業主懇談会 |
| 7・21 | 川崎市企画財政局懇談会 | 7・29 | 事業主懇談会 |
| 8・10 | 事業主懇談会 | 12・11 | 事業主懇談会 |
| 12・12 | 事業主懇談会 | | |

陳情

- | | | | |
|-------|----------------------|------|--------------|
| 1・7 | 川崎市市長室他関係当局 | | |
| 1・7 | 川崎市耐火建築助成公社並びに住宅供給公社 | | |
| 2・3 | 川崎市建築局設備課 | 2・25 | 川崎市建築局設備課 |
| 3・9 | 川崎市建築局設備課 | 4・7 | 川崎市建築局建築部設備課 |
| 4・23 | 川崎市企画財政局他関係当局 | 5・21 | 川崎市耐火建築助成公社 |
| 7・2 | 川崎市企画財政局 | 10・1 | 川崎市建築局建築部設備課 |
| 11・16 | 川崎市建築局建築部設備課 | 12・3 | 川崎市市長室・助役室 |

平成5年

懇談

- | | | | |
|-------|-----------|-------|-------------|
| 2・6 | 事業主懇談会 | 3・26 | 事業主懇談会 |
| 5・27 | 川崎市建築局懇談会 | 6・23 | 事業主懇談会 |
| 7・2 | 事業主懇談会 | 7・12 | 川崎市企画財政局懇談会 |
| 7・12 | 事業主技術懇談会 | 7・28 | 事業主懇談会 |
| 10・28 | 事業主懇談会 | 10・29 | 事業主懇談会 |
| 12・3 | 事業主懇談会 | | |

陳情

- | | | | |
|------|-----------|-------|----------------|
| 2・2 | 川崎市企画財政局 | 2・4 | 川崎市建築局建築部設備課 |
| 2・5 | 川崎市住宅供給公社 | 3・4 | 川崎市住宅供給公社 |
| 4・7 | 川崎市建築局設備課 | 5・17 | 川崎市建築局設備課 |
| 6・10 | 川崎市企画財政局 | 8・3 | 川崎市住宅供給公社 |
| 9・3 | 川崎市建築局 | 10・14 | 川崎市建築局及び住宅供給公社 |

11・15 川崎市建築局設備課

12・10 川崎市市長室及び助役室

平成6年

懇談

2・10 事業主懇談会

2・22 事業主技術懇談会

3・3 事業主技術懇談会

3・25 川崎市建築局設備課技術懇談会

3・30 川崎市空調衛生工業会技術懇談会

4・20 川崎市空調衛生工業会技術懇談会

4・26 事業主技術懇談会

5・20 事業主技術懇談会

6・8 川崎市建築局設備課懇談会

7・7 川崎市企画財政局懇談会

12・2 事業主技術懇談会

陳情

1・17 川崎市市長室及び助役室

2・4 川崎市建築局

2・18 川崎市市長室及び議会事務局

3・2 川崎市耐火建築助成公社

3・10 川崎市建築局及び企画財政局

4・12 川崎市建築局建築部設備課

4・13 川崎市溝ノ口市街地再開発事業

5・6 川崎市建築局建築部設備課

5・19 川崎市建築局及び企画財政局

5・27 川崎市溝ノ口市街地再開発事業

6・2 川崎市建築局及び企画財政局

6・3 川崎市建築局建築部設備課

6・30 川崎市企画財政局工事契約課

7・8 川崎市建築局建築部設備課

7・27 川崎市溝ノ口市街地再開発事業

8・29 川崎市社会福祉法人セイワ

9・19 川崎市市長室並びに助役室

10・28 川崎市建築局建築部設備課

11・22 川崎市建築局建築部設備課

11・28 川崎市建築局建築部設備課

11・28 川崎市市長室並びに助役室

12・8 川崎市まちづくり公社及び住宅供給公社

12・26 川崎市市長室他関係当局

平成7年

懇談

2・8 事業主技術懇談会

2・10 事業主技術懇談会

4・20 川崎市建設業協会懇談会

4・21 事業主技術懇談会

5・8 川崎市建築局懇談会

5・29 事業主技術懇談会

7・7 事業主技術懇談会

7・12 川崎市企画財政局懇談会

10・2 事業主技術懇談会

12・1 事業主技術懇談会

陳情

1・13 川崎市市長室他関係当局

1・17 川崎市まちづくり公社及び住宅供給公社

2・6 川崎市市長室並びに助役室

2・28 川崎市助役室

3・2 川崎市助役室及び建築局建築部設備課

3・10 川崎市建築局建築部設備課

3・15 川崎市建築局建築部設備課

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 3・27 川崎市助役室 | 4・3 川崎市建築局施設整備費 |
| 4・7 川崎市まちづくり公社 | |
| 4・28 川崎市助役室及び建築局施設整備部 | |
| 5・12 川崎市建築局施設整備部 | 5・19 川崎市企画財政局及び建築局 |
| 6・2 川崎市建築局施設整備部 | 6・14 川崎市建築局施設整備部 |
| 7・17 川崎市まちづくり公社 | 8・22 川崎市助役室及び企画財政局 |
| 9・22 かわさきファズ株式会社 | 10・26 かわさきファズ株式会社 |
| 11・13 川崎市溝ノ口市街地再開発事業 | 11・16 川崎市市長室並びに助役室 |
| 12・1 かわさきファズ株式会社 | 12・4 川崎市市長室並びに助役室 |
| 12・8 川崎市まちづくり公社 | 12・13 川崎市建築局施設整備部 |
| 12・20 川崎市溝ノ口市街地再開発事業 | 12・25 川崎市市長室他関係当局 |

平成8年

陳情

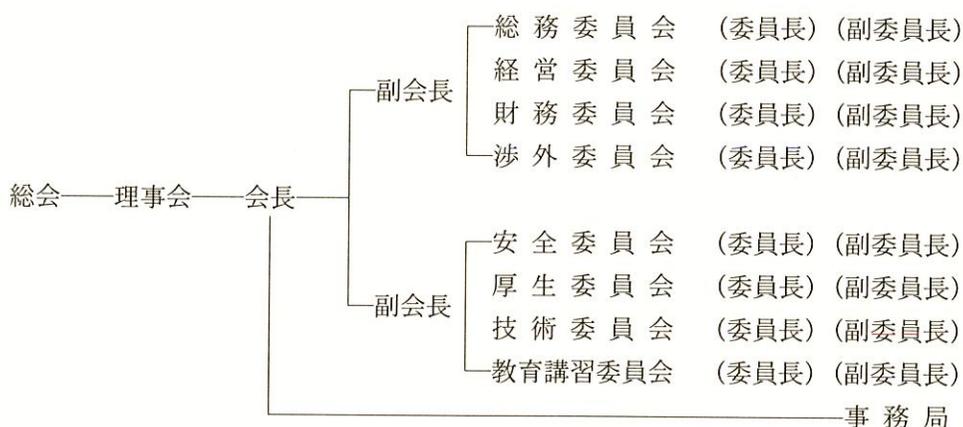
- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1・9 川崎市市長室他関係当局 | 1・18 川崎市建築局施設整備部 |
| 1・24 川崎市企画財政局 | 1・31 川崎市市長室並びに助役室 |
| 2・14 川崎市助役室及び市議会事務局 | 2・19 川崎市市長室及び建築局 |
| 2・26 川崎市住宅供給公社 | 2・28 かわさきファズ株式会社 |
| 3・8 川崎市建築局施設整備部 | |



川崎市建電会

熱海 寿旅館 34・1・11

委員会一覧と事務組織図



社団法人川崎市電設工業会として創立以来会務運営の円滑化と、いきいきとした事業の計画と実施を進めるため8委員会を置いている。役員改選にあわせ、委員を決め、各種の問題に取り組んできた。

委員会の主たる事業内容と執行担当委員会は次に示すとおりである。

(1) 総務広報対策事業

◎総務委員会 ◎経営委員会 ◎財務委員会

- A. 関係当局および建設諸団体との懇談会等を開催して、意志の疎通と情報の伝達を図る。
- B. 業界に関する一切の法令遵守を徹底するため、各種法令規定等の講習または、研修会を行う。(独禁法の遵守業界秩序と倫理の確立及び入札・契約制度の適正化)
- C. 会員相互の情報交換とその他広報活動を図るため、月例会を隔月10日(土曜・日曜の場合は繰下げとなる)に開催する。
- D. 定時総会を5月、新年賀詞交換会を1月、事業計画及び予算案のための臨時総会を3月に開催する。

- E. 会館改修および備品等の整備点検と、防犯防火の強化を図って会館運営の適正化に努める。
- F. その他総会又は理事会において、必要と認めた事業をその都度逐次実施する。

(2) 労務安全対策事業

◎安全委員会 ◎厚生委員会

- A. 労働安全衛生大会（7月又は9月中実施）を開催して、会員全体の安全意識の高揚を図る。
- B. 阪神大震災を教訓に、災害時応急対策協力隊組織表の見直しを行って、川崎市の防災対策への参画協力をする。
- C. 建災防川崎南北管内の、安全パトロールに会員毎月20日に出勤して、建設工事に係わる労働災害防止その他安全運動を協力を推進する。
- D. 建災防川崎南北分会の諸事業及び、川崎南北労働基準監督署の行政指導並びに、行事にも積極的に参加して安全対策の確立を図る。
- E. 川崎警察署交通課の指導により、道路交通の法定講習会及び電気安全に係わる講習又は研修会を実施して、従業員の安全運転の励行と安全作業の徹底を図る。
- F. 会員相互扶助のための、神奈川県電設健康保健組合並びに年金基金・労災上乘せ保険及び建退金共済制度の会員加入の促進を図る。
- G. 雇用改善の推進と労働時間短縮のための、調査研究又は、情報収集に努め労働福祉の向上を図る。
- H. 研修・見学旅行会を開催し、健康管理に関する研修又は説明会等を実施する。
- I. 優良従業員の表彰及び優秀技能者等の推薦と、会員に対する各種顕彰並びに慶弔慰行事を実施する。
- J. 川崎電友会ゴルフクラブ始め各種同好会への助成、その他必要事項を適時開催する。

(3) 技術研修対策事業

◎技術委員会 ◎教育講習委員会

- A. 電気工事士技能競技大会を実施し、川崎市長賞始め各賞の受賞により、全従業員の励みとなって技能錬磨の向上と、優秀な電気設備工事の施工につながることを、目的の一つとして開催するものである。
- B. 最新工法をもって施工される工事現場の視察調査又は、新器材の紹介及び安全施工法の説明並びに研修会等を実施する。
- C. 関連団体及び賛助会員との技術懇談会を開催して、適正なる積算資料の調査収集と事業運営に努力する。
- D. 公共工事積算の適正化並びに適正工期の確保と安全施工の徹底を図る。
- E. 神奈川県魅力ある建設事業協議会(CCI神奈川)への参加協力と、建設業イメージアップ活動の推進に努力する。

F. その他必要事項を適時実施する。

(4) 教育講習対策事業

◎教育講習委員会 ◎技術委員会

- A. 従業員の技術習得及び技能錬磨の向上を図るため、各種免許検定試験のための指導講習又は、研修並びに説明会等を適時開催する。
- B. 第二種電気工事士試験のための受験準備講習会は、当委員会の主目事業であり、これを開催する。
- C. 従業員への各種講習会、工場見学、現地研修会を随時実施する。
- D. 川崎市中小企業大運動会へのファミリー参加により、従業員の健康管理とコミュニケーションを図る。
- E. 川崎市内電気設備業連絡協議会並びに、京浜地区職業能力開発推進協議会の諸事業に積極的に参画協力する。
- F. その他必要事項を適時開催する。

(5) 経営財務合理化事業

◎経営委員会 ◎財務委員会 ◎渉外委員会

- A. 業界意見並びに要望事項の上申による、公共事業の受注拡大と分離分割発注の徹底を図るため、陳情の強化と渉外活動を積極的に推進する。
- B. 合理的経営基盤を確保するため、各界の権威者を講師に招き指導講習又は、講演会等を適時開催する。
- C. 南武沿線における主要市街地再開発事業及び、臨海部再編整備計画等に係わる経済波及効果の調査又は、受注拡大のための情報収集を積極的に推進する。
- D. 財政一般の健全なる運用のため、会費等に関する調査研究と徴収方法の見直しについて、特別委員会を開催して協議検討する。
- E. 川崎市民祭り他各種行事に対して、社会奉仕の一環として賛助協力する。
- F. 税制等に関する説明会又は時局講演会その他、必要事項を適時開催する。

安 全

労働災害防止に貢献 市の災害応急対策に協力

昭和39年12月1日、建設業労働災害防止協会川崎支部の創立よりかわり、協会と密接な関係を持ち、その諸事業に協力、会員の労働衛生に対する関心を高めてきた。

建設業労働災害防止協会川崎支部並びに川崎南北労働基準監督署と協力して、毎月実施する川崎建設業協会と合同の建設現場パトロールに要員を派遣し、工業会発足以来協力参加してきた。

また、毎年1回実施される全国安全運動推進月間特別合同パトロールに参加、現場電気施設の安全指導を行い災害防止に貢献してきた。

警察署交通課の指導により年1回道路交通の法定講習会を行い、会員及び従業員の安全運転の励行の徹底を図り、業界全体の災害防止と安全意識の高揚に努めてきた。

建設業労働災害防止協会川崎支部諸事業、川崎南北労働基準監督署の行政指導並びに行事。

安全パトロール要員研修会、緊急安全管理者研修会、現場管理者統括管理講習会
安全推進委員講習会、安全衛生、現場責任者実務講習会、安全指導研修会
労働基準法規説明会、労働基準行政運営方針説明会、労働安全衛生法説明会

建設業労働災害防止研修会 等に多くの会員が受講し、実践に生かしてきた。このことは関係当局や建設業界から本工業会の団結と信頼度、そして会員個々の安全意識の高さと評価されることになった。

また、「災害事例から学ぶ高電圧の安全、建設現場における電気災害の実例と対策」等直接現場にかかわる安全対応の研修会を随時行ってきた。

平成4年度より、新たに監督署指導のもとに第1回労働安全衛生大会を当会独自に開催、会員全体意識の高揚に努めると同時に恒例化した。

労務安全対策は事業者の経営の安定と発注者に対する信頼度の高揚に外ならない。

昭和37年

7・3 安全協議会・安全週間巡回パトロール参加

9・2 一斉休日推進 高津 登戸地区巡回パトロール参加

9・16 一斉休日推進 中原 御幸地区巡回パトロール参加

昭和38年

2・17 安全協議会、一斉休日推進 大師 田島地区巡回パトロール参加

7・3 安全巡回パトロール参加

7・10 安全巡回パトロール参加

8・9 感電災害について講演会

9・9 安全巡回パトロール参加

昭和40年

1・21 一斉休日パトロール参加

昭和41年

3・16 建労災防パトロール参加

7・6 市警察協会合同特別パトロール参加

昭和42年

建設業労働災害防止協会川崎分会並びに川崎南北労働基準監督署と協力し、川崎建設業協会と合同で毎月2回（10日・25日）南北地区毎にパトロールを実施した。

昭和43年

イ. 建設業労働災害防止協会川崎分会並びに川崎南北労働基準監督署と協力し川崎建設業協会と合同で毎月2回（10日・25日）のパトロールを実施し、昭和43年7月3日には特別合同パトロールを実施した。

ロ. 川崎市建設安全会議の委員として市内諸官庁、諸団体と共に広域的な災害撲滅運動に協力した。

9・10 労基法の改正点について講演会 聴講者 36名

7・10 安全靴の展示会

昭和44年

イ. 建設業労働災害防止協会川崎分会並びに川崎南北労働基準監督署と協力し、川崎建設業協会と合同で毎月2回（10日、25日）の建設現場パトロールを実施し、昭和44年7月7日には特別合同パトロールを実施した。

ロ. 川崎建設安全会議の委員として市内諸官庁、建設、工場その他諸団体と共に全市をあげての災害撲滅運動に協力した。

ハ. 会員の安全意識高揚の一助として標旗を製作し、その中で作業中標示三角旗を配布した。

昭和45年

イ. 建設業労働災害防止協会川崎分会及び川崎南北労働基準監督署と協力し、川崎建設業協会と合同して毎月1回（20日）建設現場のパトロールを実施し、昭和45年7月3日には安全運動推進月間特別合同パトロールを実施した。

ロ. 川崎建設安全会議の委員として市内諸官庁、建設、工場、その他諸団体と共に全市をあげての災害撲滅運動に協力した。

ハ. 従業員安全教育の資料として「電気安全実務の手引」を購入し配布した。

昭和46年

イ. 建設業労働災害防止協会川崎分会並びに川崎南北労働基準監督署と協力し、川崎建設業協会と合同して毎月20日に建設現場のパトロールを実施した、また毎年一回実施される全国安全運動推進月間の特別合同パトロールに参加して現場電気施設の安全指導を行った。

ロ. 川崎建設安全会議の委員として市内諸官庁、会社、工場、各種団体の委員と共に災害撲滅運動に協力した。

ハ. 安全運動推進の一助として安全旗、腕章を会員に配布した。

昭和47年

イ. 建設業労働災害防止協会川崎分会並びに川崎南北労働基準監督署と協力し、川崎建設業協会と合同して毎月建設現場のパトロールを行い、また全国安全運動推進月間には特別合同パトロールに参加して現場電気施設の安全指導を行うほか、関係法令についての説明会を開催した。

ロ. 川崎建設安全会議の委員として市内諸官庁、諸団体等の委員と共に労働災害撲滅運動に協力した。

ハ. 川崎商工会議所提唱の川崎市公害対策協力財団設立に協力した。

11・10、14 労働安全衛生法説明会 参加者 136名

昭和48年

イ. 建設業労働災害防止協会川崎分会、川崎建設業協会、川崎南北労働基準監督署と合同して毎月建設現場のパトロールを実施し、全国安全運動推進月間の特別合同パトロールに参加した。

ロ. 川崎建設安全会議の委員として労働災害撲滅運動に協力した。

昭和49年

建設業労働災害防止協会川崎分会、川崎建設業協会、川崎南北労働基準監督署と合同して毎月建設現場のパトロールを実施し、また川崎建設安全会議の委員として労働災害撲滅運動に協力した。

昭和50年

建設業労働災害防止協会川崎南北分会、川崎南北労働基準監督署、川崎建設業協会と合同して毎月建設現場の安全パトロールを実施し、また川崎建設安全会議の委員として上記3者の外、商工会議所、川崎市役所、公社、警察署、東京電力、東京ガス、電報電話局と協力し、労働災害撲滅運動を推進した。

昭和51年

建設業労働災害防止協会川崎南北分会の諸事業に参画し、川崎南北労働基準監督署、川崎建設業協会、川崎市設備工業会、川崎市役所と合同して、建設現

場の安全パトロールを実施、さらに川崎建設安全会議の委員として労働災害撲滅運動を推進した。

昭和52年

建設業労働災害防止協会川崎南北分会の諸事業に参画し、川崎南北労働基準監督署、川崎建設業協会、川崎市設備工業会、川崎市役所と合同して、建設現場の安全パトロールを実施し、さらに川崎建設安全会議の労働災害撲滅運動に協力した。

8・4 労働安全衛生法説明会 受講者 47名

昭和53年

建設業労働災害防止協会、川崎南北分会の諸事業に参画し、川崎南北労働基準監督署、川崎建設業協会、川崎市設備工業会、川崎市役所と合同して、毎月建設現場の安全パトロールを実施し、川崎建設安全会議の労働災害撲滅運動に協力した。

なお、下記の建設安全推進講習に参加し合計15名の推進員が認定された。

昭和53年 9月12～13日	川崎北労働基準監督署	11名
〃 10月16～17日	川崎南労働基準監督署	4名

3・10 防災関係講習会 受講者 30名

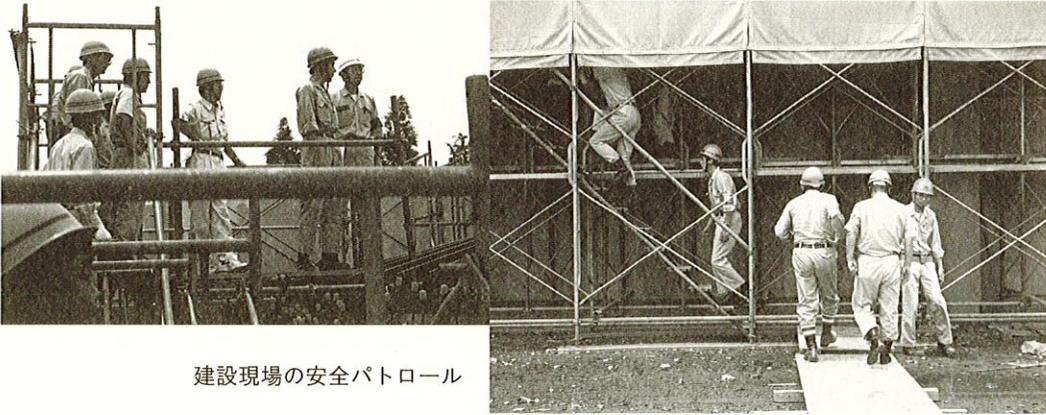
昭和54年

建設業労働災害防止協会南北分会に役員を送り、同分会の諸事業の企画、実施に協力し、川崎南北労働基準監督署、川崎建設業協会、川崎市設備工業会、川崎市役所と合同して毎月建設現場の安全パトロールを実施し、昭和54年8月9日及び昭和55年1月22日開催のパトロール要員講習会には担当会員の積極的参加があり、特に本年は安全委員会において仮設現場電気一般注意事項のパンフレットを作成して、川崎建設業協会加盟の全社その他に配布し電気安全意識の高揚に努めた。

なお、川崎建設安全会議の委員として市内各界の委員と協力して労働災害撲滅運動を推進した。

昭和55年

建設業労働災害防止協会川崎南北分会に団体として一括加入し、両分会に役員を送り、同分会の諸事業の企画、実施に協力し、川崎南北労働基準監督署、川崎建設業協会、川崎市設備工業会、川崎市役所関係局と合同して毎月1回建設現場の安全パトロールを実施、特に本年度は北労働基準監督署内の災害多発のため、年末パトロールの強化及び1月より3月まではパトロール班を増強して月2回のパトロールを実施した。なお、全国安全週間川崎南地区推進大会、同じく北地区推進大会並びに南北監督署別に開催された改正安全衛生法の講習会（南）（北）説明会に多数会員が参加した。



建設現場の安全パトロール

昭和56年

建設業労働災害防止協会川崎南北役員として、毎月開催の幹事会では諸事業の企画、実施に協力し、建設現場の安全パトロール、パトロール要員講習会、建設業安全推進講習会、建設業安全セミナー等参加、災害防止に多大の貢献をした。なお全国安全週間、全国労働衛生週間には川崎南北地区推進大会に多数参加して労働基準監督署や友好団体より当会の組織と熱意が高く評価された。

12・15 災害事例から学ぶ低電圧の安全（スライド映写会） 出席者 60名

昭和57年

建設業労働災害防止協会川崎南北分会の役員として、毎月開催の幹事会で分会諸事業の企画、実施に協力し、建設現場の安全パトロールは全員参加の編成表により、毎月実施し災害防止に多大の貢献をした。なお全国安全週間、全国労働衛生週間には川崎南・北地区推進大会や監督署の労働福祉研修会等に多数参加して監督署や友好団体より当会の組織と熱意が高く評価された。

7・12 労働安全講習会 出席者 64名

昭和58年

建設業労働災害防止協会川崎南北分会の役員として、毎月開催の幹事会で分会諸事業の企画、実施に協力し、建設現場の安全パトロールについては会員全員の参加により毎月実施し、災害防止に多大の貢献をした。なお全国安全週間、全国労働衛生週間には、川崎南・北地区推進大会や監督署の研修会等の行事に多数参加して監督署や建設業界より当会の組織と熱意が高く評価された。又、今年には災害時応急対策協力隊の組織について見直しを行い、新編成の協力隊により市の非常時行政に協力することとした。

昭和59年

建設業労働災害防止協会川崎南北分会において毎月開催の幹事会でも分会事業の企画実施に協力し、安全委員会の最重点事業である建設現場の安全パトロー

仮設電気一般注意事項

1. 近接架空電線に危険はないか
2. 電線の支持物は堅牢に出来ているか
3. 地中電線路その他の埋設物の確認はしてあるか
4. 危険表示、立入危険表示及び責任者の表示はあるか
5. 職長はその日の使用を開始する前に、電動機械器具の点検を必ず行っているか
6. 電気工事士資格を有する者以外の者は電線の接続その他の工事を行ってはならない

(仮設分電盤)

1. 外扉には責任者が明示され、施錠の用意があるか
2. 分電盤の破損はないか、外箱の設置は確実か
3. 漏電しゃ断器が取付けられているか、また確実に作動するか
4. 開閉器、コンセント類に絶縁部の損傷はないか
5. 各開閉器の用途は明示されているか
6. 開閉器のヒューズは適正か、ヒューズのかわりに銅線や鉄線を使っていないか
7. 電線と各端子との間にゆるみや劣化、損傷はないか

(仮設電灯)

1. 電球にはガードがついているか、破損はないか
2. 照明が必要な場所に電灯が不足していないか
3. 作業や通行のじゃまになっている電灯はないか
4. 照明用ソケットから動力用電源をとっていないか
5. たばね配線、引かけ配線等はないか

(移動電線)

1. 移動電線にキャプタイヤケーブルが使用されているか
2. 移動電線が無防護で路面上に敷設されていないか
3. 電線の接続部のゆるみ、端末のテーピングは確実か
4. 水気のある場所での接続には、防水型ケーブルコネクタが使われているか

(電動機械器具)

1. 電動機械器具には確実にアースをとっているか
2. 単相機器には3芯、3相機器には4芯のケーブル及び接続器が使用されているか
3. アーク溶接機に自動電撃防止装置があるか、溶接端子に物をはさんだりしていないか
4. アーク溶接ホルダーの絶縁物は損傷していないか、また足下に投げだしていないか

社 団 法 人 川 崎 市 電 設 工 業 会
安 全 委 員 会

ルは会員格別の協力の下に毎月実施して、南北労働基準監督署館内の災害防止に多大の貢献をした。

また、本年は道交法講習会の外、電気安全研修会を実施し会員全体の安全意識の高揚に努めた。その他全国安全週間、全国労働衛生週間には川崎南・北推進大会や監督署の研修会等の行事に会員多数が参加して監督署や建設業協会より当会の団結と会員個々の安全熱意が高く評価された。

11・9 建設現場に於ける電気災害の実例と対策研修会 出席者 65名

昭和60年

建設業労働災害防止協会川崎南北分会にて、毎月開催される幹事会で、分会諸事業実施に協力した。安全委員会の最重点事業である、建設現場の安全パトロールには、毎月会員が積極的に参加して、南北労働基準監督署管内の災害防止に多大の貢献をした。また道交法講習会の外、電気安全研修並びに説明会等を開催して、会員全体の安全意識の高揚に努めた。その他全国安全週間・全国労働衛生週間・川崎南北推進大会や監督署の研修会等の行事に会員多数が参加して、監督署や建設業界より、当会の団結と会員個々の安全認識が高く評価された。なお、災害時応急対策協力隊の組織見直しを行ない、新編成の協力隊によって、本市の非常時行政に協力することとした。

7・10 スライドによる電気安全研修会 出席者 61名

昭和61年

建災防川崎南北分会にて毎月開催される幹事会の諸事業に参画し、特に建設現場の安全パトロールには、会員が積極的に出動して、南北労働基準監督署管内の災害防止に貢献した。また、道交法講習会電気安全の研修会等を開催して、安全教育の高揚に努めた。その他、全国安全労働衛生週間・川崎南北推進大会等の行事に会員多数が参加して、関係当局より当会の団結と会員個々の安全意識が高く評価された。なお、本市の非常時行政に当会災害応急対策協力隊をもって協力するとともに、電公ビル防火管理協議会を設置して、各階の共同防火管理態勢を強化することにした。

2・20、24 建設業災害防止研修会 出席者 35名

3・10 高圧自家用波及事故防止説明会 出席者 60名

3・20、24 安全パトロール要員の研修会 出席者 40名

8・21 安全推進委員講習会 出席者 12名

8・27 安全衛生・現場責任者実務講習会 出席者 10名

昭和62年

建設労働災害防止協会川崎南北分会において、毎月開催の幹事会諸事業企画実施に全面協力し、特に安全委員会の最重点事業の一つである、建設現場の安全パトロールには、会員格別の協力のもとに毎月実施を行なって、南北労働基準監督内の、災害防止撲滅に多大の貢献をした。

また、道交法規の講習会及び電気安全の研修会等を実施して、会員全体の安全意識の高揚に努めるとともに、建災防関係の諸事業に会員多数が積極的に参加して、監督署や建設業協会並びに市当局から、当会の団結と会員個々の安全意識が高く評価された。なお、電公ビル共同防火管理協議会の設立によって、非常時における災害応急対策など、各階の共同管理の責任態勢が強化された。

3・17、20	安全パトロール要員研修会	
7・10	安全指導講習会	出席者 63名
6・18、19	安全推進委員講習会	出席者 15名
9・29	安全衛生・現場実務講習会	出席者 12名

昭和63年

1. 建災防川崎南北分会幹事会に毎月出席し諸事業に参画協力
2. 建災防主催の安全パトロールに毎月出動し、災害防止撲滅に貢献した。
3. 川崎南北労働基準監督署の諸事業に、会員積極的に参加して安全の高揚に努めた。
4. 市当局の非常時における、災害応急対策への協力。
5. 道交法規及び電気安全の講習又は研修会の実施。
6. 電公ビル共同防火管理協議会への協力。

2・16、23	改正労基法説明会	出席者 29名
3・22	安全パトロール要員研修会	出席者 18名
4・22、28	労働基準行政運営方針説明会	出席者 31名
9・27	安全衛生・現場責任者実務講習会	出席者 15名
10・20、24	改正労働安全衛生法説明会	出席者 27名
12・8	安全パトロール講習会	出席者 13名

平成1年

1. 建災防川崎南北分会常任幹事会に毎月出席し、諸事業に協力した。
2. 建災防主催の安全パトロールに、出動要員を毎回派遣して、災害防止撲滅に貢献した。
3. 川崎南北労働基準監督の諸事業に、会員積極的に参加して安全の高揚に努めた。
4. 市当局の非常時における災害応急対策に対して、協力組織隊の再見直しを行って、出動態勢の強化を計った。
5. 道交法規及び電気安全の講習又は研修会を行なった。
6. 電公ビル共同防火管理協議会（川崎市健保・職員厚生会・助成公社・佐々木氏・当会）の運営方針の協議確認を行った。

2・27	安全パトロール要員研修会（北管内）	出席者 46名
3・22	安全パトロール要員研修会（南管内）	出席者 28名
4・21、25	労働基準行政運営方針説明会	出席者 30名

9・27	安全衛生推進者研修会（南管内）	出席者	19名
10・3	安全衛生推進者研修会（北管内）	出席者	8名
11・14	安全衛生現場責任者実務講習会（南管内）	出席者	13名

平成2年

建設業労働災害防止協会川崎南北分会の幹事会に、当役員毎月出席をして分会諸事業の企画実施に協力、特に安全委員会の最重点事業である。建設現場の安全パトロールには、会員の格別なる協力のもと毎回出動して、南北労働基準監督内の災害防止に多大の貢献をした。又電気安全作業はもとより、道交法の講習会等を積極的に開催して、会員全体の安全意識の高揚に努め、そのほか建災防南北分会の諸事業にも、会員多数が参加して監督署や建設業協会より、当会の団結と会員個々の安全熱意が高く評価された。

3・22	安全パトロール講習会	出席者	12名
4・13、24	労働基準行政運営方針説明会	参加者	33名
5・15	安全パトロール講習会	出席者	18名
6・18	安全作業研修会	参加者	43名
9・18	現場管理者統括管理特別研修会	出席者	9名
10・14	建設業労働災害特別研修会	出席者	16名

平成3年

1. 建災防川崎南北分会の幹事会に担当理事が毎回出席し、企画立案及び諸事業に協力した。
2. 建災防による安全パトロールに出動要員を毎回派遣して、災害防止撲滅に多大の貢献をした。
3. 川崎南北労働基準監督署の諸事業に、会員が積極的に参加して安全の高揚に努めた。
4. 市当局の非常時における災害応急対策に対し、当会独自の組織隊再編成を行って、出動態勢の強化を計った。
5. 電公ビル共同防火管理協議会の充実を図って、当会館の防犯防火の万全に努めた。

2・19	建設業務及び安全研修会	出席者	17名
2・27	平成3年度建設業労働災害防止研修会	出席者	24名
4・23、26	労働基準行政運営方針説明会	受講者	33名
7・9	低電圧による災害のいろいろ研修会	出席者	73名
9・26	統括安全衛生現場責任者研修会	出席者	12名

平成4年

建設業労働災害防止協会川崎南北分会において、毎月開催の理事会で分会諸事業の企画実施に協力をし、安全委員会の重点事業の一つである建設現場の安全パトロールに出動要員を毎回派遣して、川崎南北労働基準監督署内の災害防

止に多大の貢献をした。

また本年度は道路交通法定講習会のほか、新たに7月22日第1回労働安全衛生大会を監督署指導のもと、当会独自に開催して会員全体の安全意識の高揚に努めた。そのほか建災防並びに監督署の諸行事に、会員多数が参加して関係当局や建設業会から、当会の団結と会員個々の安全熱意が高く評価された。

3・27	安全パトロール要員研修会	出席者	16名
4・20、23	労働基準行政運営方針説明会	出席者	31名
6・22	安全パトロール要員研修会	出席者	10名
7・10	安全労働衛生研修会	出席者	62名
10・6	安全作業及び内線規程説明会	出席者	60名

平成5年

建設業労働災害防止協会川崎南北分会の諸事業に、会員が積極的に参画すると共に建設現場の安全パトロールに毎回出動して、南北労働基準監督署管内の災害防止に貢献をした。

当会継続事業の一つである第2回労働安全衛生大会を9月7日に実施して、電気安全及び交通安全の完全励行と、併せて自然災害または非常時における、応急対策協力隊の緊急出動態勢の強化を図り、会員はもとより業界全体の安全意識の高揚に努力した。

2・2	労働時間短縮に係る行政指導説明会	出席者	21名
3・16	緊急安全管理者研修会	出席者	18名
4・21	労働基準行政運営方針説明会	出席者	14名

平成6年

- (1) 建設業労働災害防止協会川崎南北分会の理事会に、当会理事がそれぞれ毎月出席して、分会諸事業に参画協力をした。
- (2) 建設現場の安全パトロールに担当会員が毎回出動して、川崎南北労働基準監督署管内の災害防止に多大の貢献をした。その他建災防並びに監督署の諸事業にも会員が積極的に出席して、関係当局や友好団体から当会の団結と、安全に対する会員の熱意が高く評価された。
- (3) 7月5日第3回労働安全衛生大会の実施と、道交法の講習会又は研修会等を開催して、災害時における会員全体の安全意識の高揚に努めた。

4・22	労働基準行政運営方針説明会	出席者	16名
9・13	安全労働衛生研修会	出席者	61名

平成7年

建設業労働災害防止協会川崎南北分会の、理事会に毎月出席して分会諸事業の推進に協力した。

建設現場の安全パトロールに毎回出動して、川崎南北労働基準監督署管内の、災害撲滅防止に多大の貢献をした。又建災防及び監督署の諸事業にも、会員が

積極的に参加出席した。

第4回労働安全衛生大会の継続実施により、災害時における会員全体の安全意識の高揚に努めた。

2・24 統括安全衛生推進者研修会

出席者 12名

道路交通に係わる法定講習会

当会は設立以来年1度警察署交通課係官の指導のもと道路交通に係わる法定講習会（安全委員会）を開き会員の交通安全の完全励行を図り、さらに業界全体の交通災害の防止と安全意識の高揚に努めている。

	講師	出席者		講師	出席者
昭和39年			昭和59年		
2・14	御幸警察署交通係官	72名	7・10	川崎警察署交通係官	61名
昭和41年			昭和61年		
11・15	〃	42名	11・10	〃	
昭和42年			昭和62年		
3・18	神奈川県警交通係官	62名	12・10	〃	60名
昭和42年			昭和63年		
4・15	〃	35名	12・19	川崎署交通課担当係官	51名
昭和43年			平成1年		
7・10	〃	54名	11・10	〃	65名
昭和44年			平成2年		
3・10	〃	47名	11・16	〃	62名
昭和45年			平成3年		
9・10	〃	40名	11・13	〃	75名
昭和46年			平成4年		
7・10	川崎警察署交通係官	40名	11・10	〃	58名
昭和54年			平成5年		
7・10	臨港 〃	49名	11・10	〃	74名
昭和55年			平成6年		
9・10	川崎 〃	42名	11・10	〃	74名
昭和55年			平成7年		
12・18	臨港 〃	42名	11・10	〃	71名

災害時における応急対策を行うための協力に関する協定書

地震等による災害が発生した場合において、川崎市が行う応急対策（以下「災害応急対策」という。）に関する協力について、川崎市（以下「甲」という。）と社団法人川崎市電設工業会（以下「乙」という。）との間において、次のとおり協議を締結する。

（協力要請）

第1条 甲は、災害応急対策を行うため乙の協力を要請する必要があると認めるときは、災害応急対策の内容、期間、場所その他必要と認める事項を文書で明らかにし、乙に対して協力を要請するものとする。ただし、緊急の場合は口頭又は電話によることができる。

（要請に対する措置）

第2条 乙は、前条の規定により要請を受けた場合は、速やかに災害応急対策を行うための協力体制を確立し、市職員の指揮監督に従い災害応急対策に協力するものとする。ただし、市職員の指揮監督が受けられない場合は、乙は、自ら甲の要請事項に従い実施する。

2 乙は前項ただし書の規定により自ら甲の要請事項を実施した場合は、速かに当該実施の状況を甲に報告するものとする。

（連絡窓口）

第3条 この協定の業務に関する連絡窓口は、甲においては川崎市災害対策本部事務局、乙においては川崎市電設工業会事務局とする。

（災害補償）

第4条 第2条の規定に基づき災害応急対策に協力した者が当該災害応急対策の業務により死亡し、負傷し、若しくは疾病にかかり又は負傷若しくは疾病により死亡し、若しくは廃疾となった場合は、甲は、本人又はその遺族に対し、川崎市消防団員等公務災害補償条例（昭和36年川崎市条例第23号）の例により補償する。

（協議）

第5条 この協定に定めのない事項又はこの協定に疑義が生じた事項については、その都度甲乙協議して定めるものとする。

（効力）

第6条 この協定は、協定締結の日から効力を生じる。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各自一通を保有する。

昭和55年6月16日

甲 川 崎 市 川崎市長 伊藤 三郎

乙 川崎市川崎区宮本町3番地5 社団法人 川崎市電設工業会 会長 関口 誠一

災害時応急対策協力隊組織表

平成7年度編成

隊長	副隊長	班長	隊員	FAX番号
会 長 杉本徳男 FAX 211-1298 ☎ 211-1291	副会長 原 峯 由 FAX 333-1154 ☎ 333-1155	第1班 協成電気(株) FAX 222-7360 ☎ 211-1191	(株)遠藤電業社 233-5663 川崎電設(株) 244-9363 山洋工業(株) 270-1302 関口電設(株) 244-3843	千代田電気(株) 244-5465 (株)電工舎 211-6280 八巧機電設備(株) 211-6003 (株)富士電気商会 211-1298
		第2班 川又電気工事(株) FAX 299-1457 ☎ 277-3834	(株)旭電業 288-5744 (株)菊池電業社 266-3790 (株)京電社 266-5110 ㈹サトウエレカワリツ商会 211-9222	昭和電機サービス 266-2351 細谷電機工業(株) 266-3194 矢崎電機(株) 288-3520 (㈹)吉田電設工業 299-0643
		第3班 工都電業(株) FAX 222-6879 ☎ 222-5200	協山電設(株) 222-3534 高信電機(株) 211-0616 三協電機(株) 222-6018 篠原電機工業(株) 211-1770	柴電気工業(株) 333-5722 神港電気工事(株) 355-4712 田島電業(株) 322-2566 トヨオカ電気(株) 344-2409
		第4班 東海電業(株) FAX 366-5625 ☎ 333-9409	(株)大島電機商会 277-6930 (株)小野崎電業 333-0956 (株)斉藤電気工事 233-6927 (㈹)佐藤電気店 276-4433 島田電設工業(株) 244-3238	辰野電設(株) 211-3072 (㈹)タマ無線電気商会 366-6161 日鋼電気(株) 222-5430 宮城電設(株) 333-0333
		第5班 (株)京浜愛工社 FAX 344-1919 ☎ 355-2311	共進電気(株) 233-5946 京浜電興(株) 244-4756 太陽電装(株) 333-6333 東京電機(株) 366-3304	(株)原電光社 333-1154 (株)山形電設 344-4985 山崎電業(株) 366-6519 (株)吉見電設 344-4213
	副会長 菊地原忠光 FAX 522-0855 ☎ 522-4491	第6班 佐々木電機工業(株) FAX 246-0673 ☎ 246-0671	愛知電業(株) 533-6864 小澤電気(株) 555-1145 三友電機(株) 533-3271 湘南電設(株) 533-5316	電興設備(株) 511-4793 宮川電機(株) 511-2679 (株)和田電業社 541-6940
		第7班 (株)寿電興 FAX 555-4843 ☎ 555-4761	(㈹)阿部電気商会 588-6516 (株)栄電社 433-2464 加賀谷電機工業(株) 544-5370 (㈹)志村電設工業 541-2207	テルヤ電工(株) 599-0005 東邦電業(株) 522-0855 日出磨電工(株) 588-2005
		第8班 (㈹)丸子電気商会 FAX 711-3313 ☎ 711-3311	(株)岡田電設 433-3230 柏川電業(株) 433-9298 (株)共和エレクニクス工業 777-8349 (株)光明電設工業 511-9033	(株)光陽電業社 434-2814 (株)坂下電業社 434-9611 (株)佐藤電機 511-7365
		第9班 (㈹)小宮電気商会 FAX 733-5219 ☎ 722-5023	(㈹)石井電気商会 711-0420 伊鈴電設(株) 798-0391 (㈹)岩岡電機 754-0475 男全電機(株) 722-7760	末広電業(株) 722-3329 東幸電気工事(株) 766-4233 (㈹)南武電業社 766-8954 (㈹)山室電機商会 766-5939
		第10班 住吉電機(株) FAX 755-6133 ☎ 755-6161	(株)岡電機 751-7193 甲信電気(株) 888-4398 (㈹)小林電設工業社 844-4959 (株)新城電機 888-7101 塚田電気工業(株) 833-7324	坪田電業(株) 888-6062 (㈹)東神電業社 822-2623 (㈹)松江電業社 844-1272 丸井電設工業(株) 752-0077
		第11班 稲田電機(株) FAX 911-5351 ☎ 911-2312	国際電工(株) 953-8112 コクシン工業 911-9190 (㈹)昌電社 853-2539 大昇電気(株) 856-6378 東和電設(株) 812-9011	(㈹)深谷電気工事 751-8955 富双電気(株) 751-9121 (株)百合丘電設 966-8088 (株)堀電機工業(株) 976-5709
事務局 FAX 233-0493 ☎ 233-5451	準市内班	(株)共栄社 681-0262 東芝プラント建設(株) 661-1809	富士電機工事(株) 505-8192	

厚生

会員の健康に対する意識の高揚 共済制度の啓蒙と普及

昭和43年神奈川県電設健康保険組合の設立認可、昭和45年12月1日神奈川県電設厚生年金の設立認可にともない、会員の相互扶助のため神奈川県電設健康保険並びに神奈川県電設厚生年金制度の会員加入の促進を図ってきた。

また、労災保険の上積み補償のため建団連共済の保険（総合共済制度）の加入をすすめるとともに、労働福祉の社会的見地から、昭和39年に発足した建設業の共済制度の啓蒙普及に努力している。

いずれも年々加入者は増加の一途をたどっている。

一方、健康管理の目的をもって、例年健康管理者研修会、健康管理研修会を開き会員の健康に対する意識の高揚をはかってきた。日常会員の生活の中から、腰痛・タバコ・酒・心臓などふだんから気をつけねばならぬ問題を選び、講演会や研修会等で関心を深めると同時に健康管理の大切さを知ってもらうよう努力を重ねてきた。

会員相互の親睦を目的とする一方見学と研修を兼ねた研修旅行会は工業会発足以来恒例化している。各種同好会やクラブについても、育成と助成を行っている。

川崎市内電気設備業連絡協議会担当で行われる川崎市中小企業大運動会には毎年協力参加している。

昭和46年

9・10 神奈川県電設健康保険組合加入促進説明会 参加者 50名

昭和52年

9・13 川崎市勤労者福祉共済制度説明会 受講者 61名

9・13 建設業総合共済制度説明会 受講者 61名

昭和53年

3・10 電設健保加入説明会 受講者 43名

昭和54年

1. 神奈川県電設健康保険の加入促進をはかり35社加入した。

2. 労災保険上積み保険として加入促進している建団連共済会への加入は昭和55年度分、8社105名160口で昭和55年3月18日発足した。

昭和55年

昭和56年度、建団連共済会の加入は、8社116名170口で昭和56年3月18日に発足した。

昭和56年

昭和57年度、建団連共済会の保険の加入は、9社140名198口をもって昭和57年3月18日に発足した。なお昭和56年度において加入者中1名の病気があったが労災保険非適用補償として加入会社を通して相当額の保険が支払われた。

9・10 映画及びスライド映写会 腰痛と予防 出席者 63名

昭和57年

昭和58年度共済会は10社146名211口の加入があり昭和58年3月18日に発足した。

3・10 川崎市勤労者福祉共済制度説明会 出席者 63名

11・10 労働保険説明会 出席者 70名

昭和58年

会員各位に加入を進めている建団連共済会保険について、昭和58年はさいわい事故なく満期になった。昭和59年度は9社145名181口で昭和59年3月18日に発足した。

7・11 厚生年金基金説明会 出席者 72名

昭和59年

昭和59年はさいわい事故なく満期になり、昭和60年度は9社145名181口で昭和59年3月18日に発足した。

昭和60年

労災保険の上乗せ補償のため、加入を薦めている建団連共済会の保険（総合共済制度）について、幸い無事故で、グループ保険として9社が、安田生命保険相互会社と更改契約した。また、電設健保及び年金基金の加入促進を計った。

健康管理の目的をもって、有志による親睦ゴルフ大会が、川崎国際カントリークラブで隔月6回開催された。

5・29 健康管理者研修会 出席者 35名

昭和61年

建団連共済会の労災上乗せ保険は、グループ保険として11社が、安田生命（総合共済制度）と更改契約を行なった。

また、神奈川県電設健保及び年金基金の加入促進を計るとともに、健康管理の目的をもって研修会旅行会がほか、親睦ゴルフ大会が隔月6回、大仁カントリークラブ等で開催された。

5・27 健康管理者研修会 出席者 41名

7・10 スライドによる健康管理研修会 出席者 66名
昭和62年

建団連共済会（総合共済制度）の保険について、幸い無事故で11社がグループ保険として、安田生命相互会社と更改契約を行なった。

神奈川県電設健康保険組合並びに年金基金の会員加入に向けて促進を図った。健康管理の目的をもって開催される電友会ゴルフ大会は、年々有意義に展開されるなど、各種同好会育成への助成を図った。

5・29 健康管理研修会 出席者 42名

9・10 健康管理研修会 出席者 62名

昭和63年

労災保険上乗せ補償のための、建団連総合共済制度、電設健保並びに年金基金の会員加入の促進をはかった。健康管理研修会の実施、各種同好会の育成並びに助成を行なった。

5・26 健康管理研修会 参加者 46名

平成1年

労災保険上乗せ補償のための、建団連総合共済制度、電設健保及び年金基金の会員加入の促進を行なった。また健康管理研修会、各種同好会の育成及び助成を行なった。

5・26 健康管理研修会 参加者 43名

平成2年

労災保険上乗せ補償のための建団連総合共済制度への加入と、神奈川県電設健保・厚生年金基金の会員加入の促進を図るとともに、会員相互の親睦と健康増進のため、研修旅行会および健康管理研修会等を実施した。そのほか各種同好会（電友会ゴルフコンペは、伊豆大仁カントリークラブほか4回開催された）の育成又は助成を行なった。

3・12 健康管理研修会 出席者 60名

3・12 講演会 心臓と健康について 聴衆者 63名

5・24 健康管理研修会 参加者 42名

平成3年

労働保険上乗せ補償のため建団連総合共済制度、電設健保及び年金基金の会員加入の促進並びに健康管理研修会を行なった。また、会員相互の親睦と健康増進の研修会旅行会及び各種同好会の助成を行なった。

3・11 お酒と健康（スライドによる健康管理研修会） 出席者 61名

5・24 健康管理研修会 参加者 43名

9・10 タバコやめますか（スライドによる労働衛生研修会） 出席者 69名

9・26 統括安全衛生現場責任者研修会 出席者 12名

11・22 健康管理研修会（心と体の健康を科学する） 出席者 75名

平成4年

建団連総合共済制度及び神奈川県電設健保・年金基金への会員加入促進と、健康管理者研修並びに労働衛生研修会等を行った。また会員相互の親睦と健康増進を目的に各種同好会の助成、特に川崎電友会ゴルフクラブは年4回伊豆大仁カントリークラブ他で盛大に開催された。

- 5・28 健康管理者研修会 参加者 45名
 7・10 安全労働衛生大会 出席者 62名

平成5年

労災上乗せ補償のための建団連グループ保険更新と、神奈川県電設健保並びに年金基金への会員加入の促進を図ると共に、労働福祉の社会的見地から、建設業退職金共済制度の啓蒙普及に努力した。また電友会その他各種同好会の育成又は助成を行った。

- 5・21 健康管理者研修会 参加者 43名

平成6年

労災保険上乗せ補償の為の建団連共済制度更新加入と、神奈川県電設健保並びに厚生年金基金の会員加入促進を引続き行った。

恒例の研修旅行会は熱海さざん亭において、会員多数参加のもと有意義かつ盛大に開催された。

会員相互の親睦と健康管理を目的に発足（昭和37年）した、電友会ゴルフクラブは（年間4回開催）をもって通産171回を数え発展して同好会の育成の励みとなっている。

- 5・16 健康衛生管理者研修会 参加者 45名

平成7年

労災上乗せ補償のための建団連グループ保険更新と、神奈川県電設健保並びに年金基金への会員加入の促進を図るとともに、各種同好会の育成と建設業退職金共済制度の普及に努力した。

- 5・16 健康衛生管理者研修会 参加者 55名
 7・10 安全労働衛生研修会、ストレスと健康 出席者 76名

研修旅行・見学会

昭和37年

- 10・24～25 埼玉間行田、岩崎電気KK工場、水上温泉菊屋ホテル泊 参加者 31名

昭和38年

- 6・7 東芝技術研究所内、東芝科学館 受講者 77名



水上温泉菊屋ホテル
37・10・24

7・13	吉野	参加者	42名
10・26～27	佐久間発電所及びダム	参加者	40名
昭和39年			
6・13	東京都立産業会館（第9回全国優良電設資材展） オリンピック施設（メインスタジアム・駒沢公園）	参加者	46名
9・2	仙石原・俵石閣	参加者	51名
昭和40年			
7・10～12	黒四ダム	参加者	56名
昭和43年			
7・13～14	伊豆稲取・ホテル伏見	参加者	34名
昭和45年			
6・8～11	万国博	参加者	48名
昭和46年			
9・24～26	北陸	参加者	34名
昭和47年			
7・22～23	松下電工KK・真門工場	参加者	42名
昭和48年			
2・18～19	金城館	参加者	49名
11・7	水明荘	参加者	62名
昭和49年			
5・24～26	紀州勝浦・白浜	参加者	27社
昭和50年			
10・19～20	伊東・サンハトヤ	参加者	84社
昭和52年			
2・20～21	熱海大野屋	参加者	57名
11・18～19	湯河原・大伊豆	参加者	66名

昭和53年			
11・26	湯本ホテル	参加者	67名
昭和54年			
9・21	鬼怒川温泉ホテル	参加者	45名
昭和55年			
10・9	宮の下武蔵野観光旅館	参加者	60名

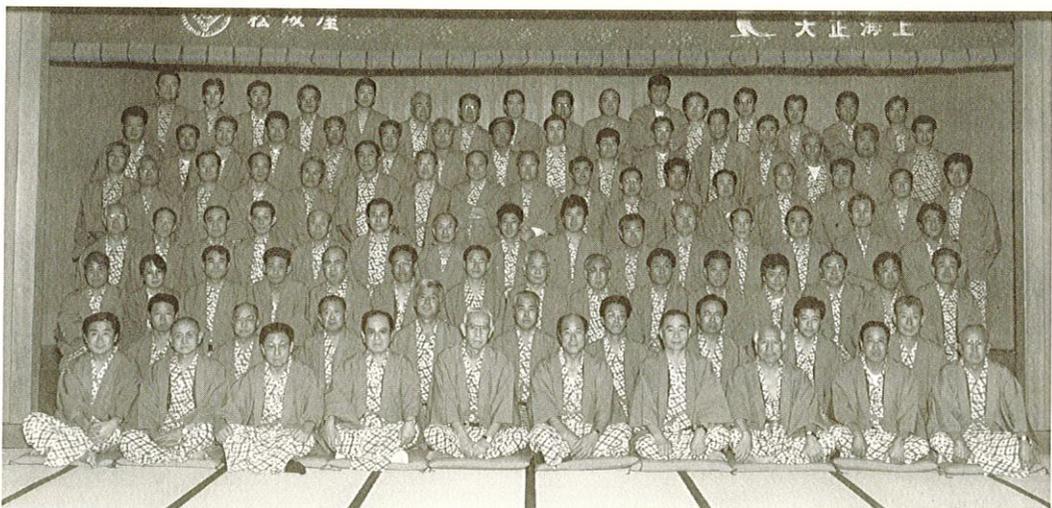


宮の下武蔵野観光旅館
55・10・9

昭和56年			
10・22～23	矢崎総業株式会社・沼津電線工場	参加者	61名
昭和57年			
11・26	箱根仙景	参加者	64名
昭和58年			
10・26	熱海大月	参加者	72名
昭和60年			
10・4	箱根宮の下ホテル奈良屋	参加者	67名
昭和61年			
10・18～19	老神温泉・朝日ホテル	参加者	41名
昭和62年			
10・6～7	熱海温泉・大観荘	参加者	76名
昭和63年			
8・9	(財)川崎市産業振興会館	参加者	理事13名
11・2～3	奥湯河原温泉山翠楼	参加者	75名
平成元年			
11・2～3	箱根湯本温泉・ホテルおかだ	出席者	77名
平成2年			
6・26～27	岩崎電気株式会社茨城製作所 最新鋭設備工場見学	参加者	39名

研修旅行・見学会

11・2・3	熱海温泉さざん亭	出席者	84名
平成3年			
7・23	東京電気(株)静岡三島工場・照明器具(工事用) 組み立てライン見学	参加者	39名
11・1～2	箱根湯本温泉・ホテル河鹿荘	出席者	86名
11・19	松下電工(株)東京本社・ナイステクノプラザ東京 ナイスプラザしんじゅく展示店	参加者	38名
平成4年			
9・10	麒麟ビール横浜工場・ビールの歴史と生産工程	参加者	48名
11・1～2	熱海温泉さざん亭	出席者	83名
平成5年			
11・5～6	熱海温泉さざん亭	出席者	94名
11・19	富士電機(株)吹上工場・テクノウイング (イ)商品見学(展示デモ器) (ロ)工場視察(電磁開閉器・ブレーカー・高圧遮断機)	参加者	19名
平成6年			
9・29	神奈川県宮ヶ瀬ダム建設現場・ RCD工法による施工現場視察及び研修	参加者	42名
11・4～5	熱海温泉・さざん亭	出席者	95名
平成7年			
11・2～3	奥湯河原温泉・山翠楼	出席者	101名



奥湯河原温泉・山翠楼 7・11・2

雇 用

昭和37年～54年 新規学卒者が金の卵と呼ばれた時代

昭和34年春、東北地方から中学校新規卒業生950名が神奈川県に就職した。3月24日その一陣106名が横浜へ到着した。当時住込みで給料月額3～4000円であった。この年の我が国の経済成長率は17パーセントに達した。岩戸景気にはじまった1960年代の日本の経済は米国を追う立場から次第に米国に危機感を持たせるまでに至った。

鉄鋼や自動車の生産は増え輸出の伸びもすばらしく、工場はフル稼働の状態でも慢性的な人手不足に悩んだ。そして農業労働力は急速に都会にながれるようになった。

新規学卒者の求人数が卒業者の数をはるかに上回り、川崎市電設工業会の会員の企業も県外まで新規学卒者を求め、集団求人を実施するようになった。

この状態を解決すべく昭和38年神奈川県雇用対策協議会川崎市支部が発足、本会は電設工業会として入会、役員に矢崎理事が委嘱された。

当時の記録によれば

- 昭和39年5月16日 川崎職業安定所主催集団求人説明会出席
- 昭和40年2月4日 川崎職業安定所主催集団求人赴任説明会出席
- 昭和40年11月14日 雇対協川崎支部派遣県外学卒求人懇請出張参加
- 昭和41年4月26日 川崎職安集団求人説明会出席
- 昭和42年2月16日 市役所主催集団求人団体打合会出席
- 昭和42年6月19日 職安主催集団求人団体打合会に出席
- 昭和43年9月23日 雇対協川崎支部依頼により県外求人懇請のため青森県下出張
- 昭和44年4月28日 雇対協川崎支部依頼による県外求人懇請のため岩手県下に出張
- 昭和45年2月2日 県主催集団求人団体懇談会に出席
- 昭和46年8月25日 雇対協川崎市部委員として求人懇請のため28日まで宮城県下の職安訪問

昭和47年5月29日 川崎職安による集団求人説明会が当会館で持たれる。

これからもわかるように昭和30年後半から40年代にかけて、雇用状況は厳しく、とくに中学校新規卒業生などは金の卵と言われるほど求人難であった。この状況を克服すべく、

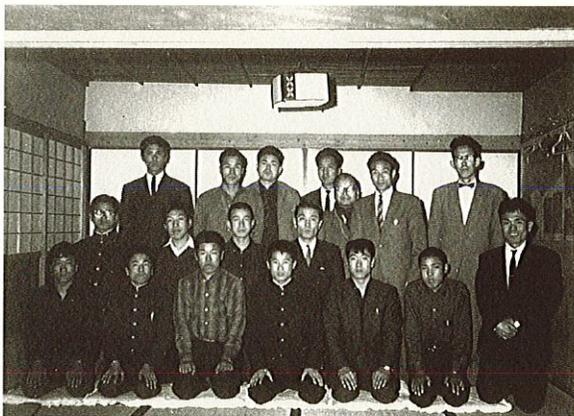
各種の業界が集まり神奈川県雇用対策協議会、川崎では川崎支部を発足させて、川崎職業安定所と係を保ち、集団求人への開拓に努力した。

電設工業会々員のなかには、集団求人による採用者だけでは間に合わず、職安や雇対協の指導を得て、会員の出身地の学校や職安に独自に求人懇請に出かけるものもできた。

だが結果はたやすいものではなかった。現在その多くが現在各社の中堅として活躍している。

この傾向は昭和50年代前半におさまり、昭和54年3月30日 雇対協川崎支部は発展的解消、雇用開発協会川崎支部が設立された。

しかし、電気業界の技術革新、ハイテク機器の導入など、最新技術に対応できる技術者雇用の厳しさは現在も続いている。



40・4・6
新規学卒の社員

昭和37年

川崎職業訓練所卒業生の一括求人については会員4社に卒業生5名が決定した。

昭和38年

イ. 中学卒集団求人 昭和38年7月以降、川崎職業安定所を通じて13社で実施した結果、2社に3名が決定した。

ロ. 高校卒求人 昭和38年11月以降12社で実施した結果、3社3名が決定した。

昭和39年

イ. 中学卒集団求人

川崎職業安定所通した集団求人へ6名の採用があった。

ロ. 高校卒集団求人

川崎職業安定所の手続きのうえ実施した結果、北海道にて9名採用した。

ハ. 技術高校生採用

川崎技術高校第1学年修了生17名が正会員、賛助会員の各社に就職した。

昭和40年

川崎職安及び雇対協川崎支部と連絡をとって実施した中卒集団求人に対し9名採用があり高卒求人は13名の採用があった。

昭和41年

川崎職安及び雇対協川崎支部と連絡をとり実施した集団求人、中卒採用希望8社、高卒採用希望7社が参加した。各社の努力によって中卒は3社に7名、高卒は4社に20名その他職業訓練所卒が2社に11名の採用を見た。

昭和42年

川崎職安及び雇用対策協会の指導援助をうけ、本年度も希望者、中卒12社・高卒12社で集団求人を実施した。その結果、中卒5名、工高卒2名、訓練所卒12名の採用をみた。

昭和43年

川崎職安及び雇用対策協会の指導援助をうけ、中卒採用希望8社、高卒採用希望12社で集団求人を実施、その結果中卒1名、高卒10名、工高卒5名、訓練所卒11名の採用をみた。

4月5日新入社員教育講習会を当会館で行った。

昭和44年

川崎職業安定所及び神奈川県雇用対策協会の援助の下に新規学校卒業者の集団求人を実施（中卒採用希望7社、高卒採用希望12社）その結果中卒5名、高卒5名、工高卒4名、訓練所卒13名の採用をみた。4月18日旧会館にて、新入社員教育講習会を行う。4月19日雇対協主催新卒激励大会に参加、以後、毎年この会に参加している。

昭和45年

川崎職業安定所及び神奈川県雇用対策協会の指導と援助を受け、新規学校卒業者の集団求人を実施（中卒採用希望5社、高卒採用希望12社）その結果、高卒2名、工高卒6名、訓練所卒7名の採用をみた。4月24日新入社員講習会を行ったのち東芝科学館を見学する。

昭和46年

- イ. 神奈川県雇用対策協議会及び同会川崎支部の評議員、委員として県及び川崎職業安定所の求人業務に協力した。
- ロ. 新規学校卒業者の集団求人を13社で実施、その結果高校卒1名、工業高校卒3名、職業訓練所卒6名、中学卒1名の採用をみた。

昭和47年

- 5月29日当会館で川崎職安の指導係長を招き集団求人説明会を持つ。
- イ. 神奈川県雇用対策協会及び同会川崎支部の評議員、委員として県及び川崎職業安定所の業務に協力した。
- ロ. 新規学校卒業者の集団求人を15社で実施その結果、中卒2名、高校卒3名、工業高校卒6名、技術高校卒4名の採用があった。

昭和48年

- イ. 新規学校卒業者の集団求人を10社参加で実施し工業高校6名、普通高校1

名、技術高校（訓練所）3名の採用があった。

ロ．神奈川県雇用対策協会評議員、同会川崎支部委員、川崎雇用対策協議会委員として県及び川崎職業安定所の求人業務に協力した。

昭和49年

イ．新規学校卒業者の集団求人を9社参加で実施し工業高校1名、普通高校1名、専修校（訓練所）3名の採用があった。

ロ．神奈川県雇用対策協会評議員、同会川崎支部委員、川崎雇用対策協議会委員として県及び川崎職業安定所の求人業務に協力した。

昭和54年

3月30日雇用対策協会川崎支部発展解消、雇用開発協会川崎支部設立される。



赤尾ホテル
37・1・13



熱海 金城館
41・1・9

表彰

(敬称を略させていただきました)

昭和38年

正会員旭日電気工業(株)富井金三郎が昭和38年11月に黄綬褒章を受賞された。

昭和40年

11・18 第2回全国建設業労働災害防止大会において株式会社光陽電業社が無災害事業所として会長表彰を受けた。

11・3 豊国電気工業株式会社社長陣内勝市が黄綬褒章を授けられた。

昭和42年

9・23 柘植理事が労災防川崎分会より功労者表彰を受けられた。

10・30 神電工社長小野一郎が黄綬褒章を受賞された。

11・9 建設業神奈川県安全衛生推進大会において下記の方と会社が表彰をうけられた。
 功 労 賞 辻会長・柘植理事 事 業 場 賞 株式会社光陽電業社
 功 績 賞 渡辺忠雄 光陽電業

昭和43年

11・5 建設業神奈川県安全衛生推進大会において下記の会社と従業員が表彰を受けられた。

事業場賞 株式会社京電社 事業場賞 トヨオカ電気株式会社
 功 績 賞 立川福三 トヨオカ電気(株)

昭和44年

9・24 川崎建設業協会太子講祭において下記の会社と従業員が労災防の表彰を受けられた。

企業体賞 テルヤ電工株式会社 功績賞 宮沢 守 神電工
 11・21 川崎商工会議所より下記の方が優良産業人表彰を受けられた。

渡辺 忠雄 (株)光陽電業社 塚本 雄三 トヨオカ電気(株)
 狩野 一男 トヨオカ電気(株) 雨宮 完 矢崎電機(株)

昭和45年

7・1 市政記念日に当たり当会推薦の下記11名の方々が市長表彰を受けられた。

木村 広 (株)京電社 柘植 善一 東京電機(株)
 平井 謹吾 東京電機(株) 葉山 邦松 東京電機(株)
 菅野 照雄 東京電機(株) 柳田 春吉 東京電機(株)
 宇山 弘 矢崎電機(株) 比留間 清 (有)小林電設工業社
 前田 正治 (有)原電光社 原 強寿 (有)原電光社
 鈴木 市章 トヨオカ電気(株)

9・24 川崎建設業協会太子講祭において下記の会社と従業員が建設業労働災害防止協会神奈川支部川崎分会の表彰を受けられた。

事業場賞 協成電気(株) 事業場賞 (株)佐藤電機商会
 事業場賞 トヨオカ電気(株) 事業場賞 矢崎電機(株)
 功績賞 狩野 一男 トヨオカ 功績賞 桜井八千郎 トヨオカ

10・12 第6回建設業神奈川県安全衛生推進大会において当会は団体賞を受賞した。

昭和46年

7・1 市制記念日に当会推薦の下記8名が市長賞を受けられた。

大崎 清 (有)小林電設工業社 田丸 鋭明 トヨオカ電気(株)
 中島 作男 田島電業(株) 竹本 六二 神奈川県電気工事(株)
 山崎基三郎 山崎電業(株) 岩瀬 武 山崎電業(株)
 増田 公 (株)光陽電業社 田辺 一雄 (株)光陽電業社

昭和48年

7・1 市政記念日に当たり、当会推薦の下記の方々が市長表彰をうけられた。

山内 正夫 (有)愛工社 高橋 政栄 (有)愛工社
 吉泉 賢一 山崎電業(株)

9・25 川崎建設業協会太子講祭において下記の方々が建設業労働災害防止協会神奈川支部川崎分会より表彰をうけられた。

功績賞 岩本 孝司 住吉電機(株) 功績賞 林 進 日鋼電気(株)

昭和49年

7・1 市政50周年記念日に当たり当会は自治行政の振興と公共の福祉増進に貢献した

旨をもって川崎市長より表彰をうけた。

同じく下記の方々が永年勤続者表彰をうけられた。

三ツ沢元芳 関口電設(株) 岡野 武夫 関口電設(株)
加藤 六男 (株)森電気商会

昭和50年

7・1 川崎市長より下記の方々が商工業従業員永年勤続者表彰を受けられた。

豊島 正幸 関口電設(株) 恩田 修 山崎電業(株)
古川 忠治 山崎電業(株) 服部 賢治 山崎電業(株)
森 皎 (株)森電気商会

11・21 川崎商工会議所会頭より会長辻嘉三郎が優良産業人表彰を受けられた。

昭和51年

2・12 神奈川県知事、商工会議所神奈川県連合会会頭より会長辻嘉三郎が優良産業人表彰を受けられた。

7・1 川崎市長より下記の方々が商工業従業員永年勤続者表彰を受けられた。

相馬 優 東京電機(株) 矢野目 勝昭 (株)栄電社
深沢 朗他1名 天野商事(株) 会田 義男他90名 昭和工事(株)

11・19 川崎商工会議所会頭より下記の方々が優良産業人表彰を受けられた。

宮前 良生 千代田電気(株) 加藤 六男 (株)森電気商会
木村 弘 事務局

昭和52年

5・26 会長辻嘉三郎が日赤奉仕団関係にて厚生大臣特別表彰を受けられた。

7・1 川崎市長より下記の方々が商工業従業員永年勤続者表彰を受けられた。

高見沢 勇他2名 トヨオカ電気(株) 岡崎 宗平他10名 昭和工事(株)

9・6 雇対協川崎支部、川崎職安、川崎市共催の昭和52年度新規学校卒業就職者歓迎
激励大会において、下記の方々が優良勤労青少年表彰を受けられた。

中村 文人 矢崎電機(株) 山下 秀雄 (株)富士電気商会
酒出 哲典 (株)愛工社 麻生 辰美 テルヤ電工(株)

9・22 建災防川崎南北分会より下記の会社及び個人が表彰を受けられた。

作業場表彰 住吉電機(株) 作業場表彰 (株)栄電社
企業表彰 (株)菊池電業社 功績賞 菊池信幸 (株)菊池電業社

昭和53年

5・22 関口電設(株)社長関口誠一が関東地建の優良建設業者表彰を受けられた。同表彰
は3,700社の申請中51社が表彰され電気工事業者は関口電設1社のみであった。

表 彰

- 5・16 雇対協川崎支部、川崎職安、川崎市共催の昭和53年度新規学校卒業就職者歓迎
激励大会において、下記の方々が優良勤労青少年表彰を受けられた。
酒井 克彦 (株)光陽電業社 赤池 幸男 (株)光陽電業社
平田 時男 (株)電工舎
- 7・1 川崎市長より下記の方々が商工業従業員永年勤続者表彰を受けられた。
渡辺 静子 山崎電業(株) 大熊 勝雄 山崎電業(株)
小泉 久一 関口電設(株) 白川 国雄 関口電設(株)
望月つる子 関口電設(株) 早川 英男 関口電設(株)
- 11・22 (株)佐藤電機商会社長佐藤清が神奈川県知事より神奈川県技能者表彰を受けられ
た。
- 12・2 田島電業(株)社長中島忠三が川崎時事新聞社より第18回民間自治功労賞を受けら
れた。

昭和54年

- 5・19 稲田電機(株)社長森澤 正が神奈川県知事より県民功労賞を受賞された。
- 7・1 川崎市長より市政記念日に当たり下記の方々が商工業従業員永年勤続者表彰を
受けられた。
日角 東吾 天野商事(株) 有賀 紀一 関口電設(株)
安達雄太郎他4名 関電工川崎営業所 小林 紀男他10名 昭和工事(株)
- 11・28 桑原 郁郎(関電工神奈川支店現場長)が建設業労働災害防止協会神奈川支部
より職長賞を受けられた。

昭和55年

- 6・19 理事山崎源次(山崎電業(株)社長)が建設業労働災害防止協会川崎南分会より功
労賞を受けられた。
- 7・1 川崎市長より市政記念日に当たり、下記25氏が商工業従業員永年勤続者賞を受
けられた。
公平 京一 関口電設(株) 岩本 孝司 住吉電機(株)
木村 文男 (有)小林電設工業社 岩瀬 武 山崎電業(株)
斉藤 勝男 三友電機(株) 関 正義他7氏 関東電気工事(株)
太田はつ子他2氏 矢崎電機(株) 西村 登年他1氏 天野商事(株)
片桐 康吉他6氏 (株)杉本電気商会
- 10・31 川崎商工会議所より下記2氏が優良産業人表彰を受けられた。
副会長 石崎 寛 (株)光陽電業社 事務長 高手 光雄
- 11・28 副会長石崎 寛(株)光陽電業社)が建設業労働災害防止協会神奈川支部より功
労賞を受けられた。

昭和56年

- 5・16 佐藤 清 (株)佐藤電機商会社長) が神奈川県知事より県民功労者表彰を受けられた。
- 5・26 理事柏倉政男 (有)カシクラ電気商会社長) が厚生大臣表彰を受けられた。
- 7・1 下記16氏が川崎市市長より商工業従業員永年勤続者表彰を受けられた。
- | | | | |
|----------|------------|----------|------------------|
| 吉岡 正弘他1名 | 関口電設(株) | 沼野井建夫 | (有)愛工社 |
| 加賀谷 孝他1名 | 加賀谷電機工業(株) | 邨田 光志他1名 | 東邦電業(株) |
| 戸畑 夏夫他3名 | 関東電気工事(株) | 猪坂 忠男 | 東京電機(株) |
| 滝沢 忠良 | 粕川電業(株) | 堀米 保 | (有)サイトウエレクトリック商会 |
| 高橋 英雄 | 旭日電気工業(株) | 丸岡 秀弥 | 千代田電気(株) |
- 11・3 杉生 力宣(賛助会員、杉生電機(株)会長) が勲四等瑞宝章を受けられた。
- 12・8 吉泉賢一(山崎電業(株)) が川崎市市長より優秀技能者表彰を受けられた。
- 12・15 下記3氏川崎市市長より技能功労者表彰を受けられた。
- | | | | |
|-------|---------|------|-----------|
| 三辺 倉蔵 | 湘南電設(株) | 島田 功 | 島田電設工業(株) |
| 林 進 | 日鋼電気(株) | | |

昭和57年

- 2・4 株式会社光陽電業社が神奈川県建築部優良建築工事表彰を受けられた。
- 7・1 下記23氏が川崎市市長より商工業従業員永年勤続者表彰を受けられた。
- | | | | |
|----------|-----------|----------|-------------|
| 松倉 功他3名 | 篠原電機工業(株) | 川村 信夫他1名 | 山崎電業(株) |
| 小林 三樹他1名 | 関口電設(株) | 平 裕幸他1名 | トヨオカ電気(株) |
| 伊藤 隆男他7名 | (株)京電社 | 逸見 幸雄他2名 | 神奈川県電機工事(株) |
| 桑原 郁郎 | 関東電気工事(株) | 土川 真澄 | 東京電機(株) |
- 7・13 稲田電機(株)社長森沢 正が建設大臣表彰を受けられた。
- 10・19 下記5氏が川崎市市長より川崎市優秀青少年技術者表彰を受けられた。
- | | | | |
|-------|------------------|-------|-------------|
| 平原 勝利 | 加賀谷電機工業(株) | 中村 弘 | 工都電業(株) |
| 堀米 保 | (有)サイトウエレクトリック商会 | 杉山 修作 | (有)カシクラ電気商会 |
| 八木 眞 | (株)新城電機 | | |
- 11・12 下記2氏が川崎市市長より川崎市優秀技能者表彰を受けられた。
- | | | | |
|-----|----------|-------|------------|
| 岡 章 | 岡電機(株)社長 | 松江 恭平 | (有)松江電業社社長 |
|-----|----------|-------|------------|
- 11・16 下記2氏が川崎市市長より川崎市技能功労者表彰を受けられた。
- | | | | |
|-------|------------|-------|---------------|
| 上野 富夫 | 千代田電機(株)社長 | 柏倉 政男 | (有)カシクラ電気商会社長 |
|-------|------------|-------|---------------|

昭和58年

- 4・12 新卒歓迎激励大会において下記3氏が神奈川県雇用開発協会川崎支部長より優良勤労青少年表彰をうけられた。

- 山下 久美 湘南電設(株) 藤木 強 湘南電設(株)
柴本 整 (株)富士電気商会
- 7・1 川崎市政記念日において下記の方々(株)が川崎市長より商工業従業員永年勤続者表彰を受けられた。(当会より推薦された方)
- 元木 隆 東邦電業(株) 高田 捨次 (株)電工舎
石塚 弘勝 (有)岩岡電機 遠藤 義三 山崎電業(株)
尾池 正雄 (株)新城電機
- 10・28 下記の方々(株)が川崎市長より川崎市優秀青年技術者表彰を受けられた。
- 近藤 清 住吉電機(株) 中村 文人 矢崎電機(株)
- 11・11 下記の方々(株)が川崎市長より川崎市優秀技能者表彰を受けられた。
- 恩田 修 山崎電業(株) 小野 英樹 (有)愛工社
山室 政雄 (有)山室電機商会 長谷川 昭 (有)南武電業社
- 12・9 下記の方々(株)が川崎市長より川崎市技能功労者表彰を受けられた。
- 小林 哲雄 (有)小林電設工業社 小林 高幸 高信電機(株)

昭和59年

- 4・12 新卒歓迎激励大会において下記(株)の3氏が神奈川県雇用開発協会川崎支部長より優良勤労青少年表彰を受けられた。
- 遠藤 実 篠原電機工業(株) 阿部 一男 篠原電機工業(株)
佐藤 一樹 篠原電機工業(株)
- 5・17 理事山崎源次(山崎電業(株)社長)が建災防川崎南分会昭和59年度通常総会において功労賞を受けられた。
- 7・1 監事中島忠三(田島電業(株)社長)が川崎市制60周年記念式において川崎市長より自治功労者表彰をうけられた。
- 同じく下記の方々(株)が商工業従業員永年勤続者表彰を受けられた。
- 五十嵐瑞洋他1名 (有)愛工社 太田 清五他2名 関口電設(株)
藤木 富雄 住吉電機(株) 上原 邦展 高信電機(株)
松本 利春他3名 (株)京電社 金田 武 (株)山形電設
小坂 利男 (有)岩岡電機 東城 清太他2名 日鋼電気(株)
- 10・18 下記の方々(株)が川崎市長より川崎市優秀青年技術者表彰を受けられた。
- 市川 明男 篠原電機工業(株) 山口 春夫 加賀谷電機工業(株)
赤池 誠 矢崎電機(株)
- 10・23 堀内昭寿(株)堀内電工社社長)が川崎市長より川崎市優秀技能者表彰を受けられた。
- 11・3 塚原尚也(三協電機(株)社長)が社会福祉の功労者として、秋の叙勲で勲六等単光旭日章を受けられた。
- 11・3 理事柏倉政男(有)カシクラ電気商会社長)が身障者福祉の功績により、川崎市

文化賞を受賞された。

- 11・5 監事中島忠三（田島電業(株)社長）が社会教育功労者として文部大臣表彰を受けられた。
- 11・21 副会長石崎寛（株光陽電業社社長）理事山崎源次（山崎電業(株)社長）が建災防
 神奈川支部大会において功労賞を受けられた。
 下記の方々が川崎商工会議所優良産業人表彰を受けられた。
 加賀谷 孝 加賀谷電機工業(株) 平原 勝利 加賀谷電機工業(株)
 土方 昭文 篠原電機工業(株) 寺沼 敏夫 篠原電機工業(株)
 宝田 毅一 篠原電機工業(株)
- 11・25 理事宮川秀雄他10名の会員が川崎市勤労者福祉共済10周年記念式において川崎
 市長より永年加入事業主として感謝状を受けられた。
- 12・14 下記の方々が川崎市長より川崎市技能功労者表彰を受けられた。
 小野崎勝雄 (有)小野崎電業社長 監事中島忠三 田島電業(株)社長
 理事矢崎 直 矢崎電機(株)社長

昭和60年

- 4・12 新卒者歓迎激励大会において下記の方々が、神奈川県雇用開発協会川崎支部長
 より、優良勤労青少年表彰を受けられた。
 田口 一郎 加賀谷電機工業(株) 庭田 光弘 加賀谷電機工業(株)
 大仲 均 住吉電機(株) 大仲 孝 住吉電機(株)
 我原 勝 住吉電機(株) 橋本 新一 テルヤ電工(株)
 千葉 弘 テルヤ電工(株)
- 5・18 中島忠三（田島電業(株)社長）が、神奈川県知事より、教育文化分野で、県民功
 労彰を受けられた。同じく、小宮清次（(有)小宮電気商会社長）が産業振興分野
 で、県民功労彰を受けられた。
- 7・1 下記の方々が、川崎市長より、商工従業員永年勤続者表彰を受けられた。
 木塚 隆庸 篠原電機工業(株) 磯部 一夫 篠原電機工業(株)
 林 和夫 篠原電機工業(株) 武田 健義 (株)関電工
 慶野 戊 (株)関電工 志村 七生 (有)志村電設工業
 冬野 弘 関口電設(株) 渡辺 靖高 東京電機(株)
 伊藤 博之 東京電機(株) 橋本 忠 東京電機(株)
 関根 七郎 (株)富士電気商会 小山 真一 (株)京電社
 正木 利幸 (株)京電社 木目沢幸雄 (株)京電社
- 7・18 中島忠三（田島電業(株)社長）が神奈川県警本部長並びに神奈川県少年補導員連
 絡協議会より、感謝状を受賞された。
- 8・1 稲田電機(株)が電気の保安確保の業績により通商産業大臣表彰を受けられた。
- 10・17 斎藤浩（(有)サイトウエレクトリック商会社長）が、社会福祉法人神奈川県社会

福祉協議会から、保護司として、その功労により会長賞を受彰された。

- 10・18 邨田光志（東邦電業(株)）が、京浜地区職業訓練推進協議会設立10周年記念式典において、同協議会から、企業発展向上の業績により表彰を受けられた。
- 10・23 中島恵司（田島電業(株)）が川崎市長より、川崎市優秀青年技術者表彰を受けられた。
- 11・13 東海林丈男（(有)東海電業社社長）が川崎市長より、優秀技能者表彰を受けられた。
- 11・21 副会長杉本徳男（(株)富士電気商会社長）が、川崎市長より、技能功労者表彰を、建設業労働災害防止協会神奈川県支部大会において功績賞を、それぞれ受彰された。
- 11・21 竹居喜明（大昇電気(株)）が、川崎市長より、川崎市優秀青年技術者表彰を受けられた。
- 11・22 塩川佳男（篠原電機工業(株)）が、神奈川県知事より、優秀技術者表彰を受けられた。
- 11・22 斎藤浩（(有)サイトウエレクトリック商会社長）が、川崎市長から、保護司としての功績により表彰を受けられた。

昭和61年

- 2・13 森二男（(株)森電気商会社長）が、川崎商工会議所より、優良産業人表彰を受けられた。
- 4・11 新卒者就職歓迎激励大会において下記の方々が、神奈川県雇用開発協会より、優良勤労青少年表彰を受けられた。
 舛館 武良 日鋼電気(株) 玉利 幸生 (株)富士電気商会
 中園 辰美 (株)富士電気商会
- 5・17 柏倉政男（(有)カシクラ電気商会）が、神奈川県知事より、社会福祉分野で、県民功労者表彰を受けられた。
- 5・23 監事中島忠三が、全国少年補導員協会より、賞状を受賞された。
- 7・1 下記の方々が川崎市長より、商工従業員永年勤続者表彰を受けられた。
 平原 勝利 加賀谷電機工業(株) 斎藤 和雄 (株)関電工
 島田理一郎 (株)関電工 降旗 晃二 (有)共進電気
 平川 義高 (有)共進電気 井芹 直孝 関口電設(株)
 青木 誠 関口電設(株) 矢島 幹也 東邦電業(株)
 横溝 幸男 東邦電業(株) 磯崎 佳三 (株)電工舎
 杉田 武 日鋼電気(株)
- 9・22 協成電気株式会社が、川崎市長より、第1回川崎市優良建設業者表彰を受けられた。
- 11・21 小宮 清次（(有)小宮電気商会社長）、折笠千之（(株)関電工）が、川崎市長より、

川崎市技能功労者表彰をうけられた。

- 11・21 古川忠義（山崎電業(株)）が川崎市市長より、川崎市優秀技能者表彰を受けられた。
- 11・21 小俣真吾（坪田電業(株)）、中林哲夫（加賀谷電機工業(株)）、菊池信幸（(株)菊池電業社）の方々が、川崎市市長より、川崎市優秀青年技能者表彰を受けられた。
- 11・28 理事石井清が建災防神奈川支部大会において、個人表彰功績賞を受けられた。
- 11・28 加藤福次郎（協成電気(株)社長）が、建災防川崎南分会より、個人表彰功績賞を受けられた。
- 11・28 理事山崎源次が、第22回建災防神奈川支部大会において、個人表彰功績賞を受けられた。
- 12・2 監事中島忠三が、電気安全関東委員会より、電気安全功労者表彰を受けられた。

昭和62年

- 4・10 神奈川県雇用開発協会優良勤労青少年表彰
吉峰潤一郎 (株)富士電気商会
- 5・20 建災防川崎南分会個人表彰功績賞
栗原 剛夫 テルヤ電工(株) 森 二男 (株)森電気商会
建災防川崎北分会個人表彰功績賞 菊地原忠光 東邦電業(株)
建災防川崎南分会個人表彰職長賞 高橋 次男 (有)和田電業社
- 6・26 第2回川崎市優良建設業者表彰
株式会社富士電気商会
- 7・1 川崎市商工業永年勤続者表彰
谷口 康彦 天野商事(株) 石井 春男 (有)石井電気商会
菊池 盛夫 (株)菊池電業社 大野 幸一 (株)光陽電業社
清金 俊成 (株)光陽電業社 梅景 八郎 篠原電機工業(株)
海老沢 武 東京電機(株) 丸山 繁春 東京電機(株)
大越 行雄 東京電機(株) 石井 勝 東京電機(株)
松崎 光男 東京電機(株) 落合 一雄 東京電機(株)
佐藤 敏明 東京電機(株) 林 進 日鋼電機(株)
佐藤 源夫 日鋼電機(株) 庄野 三郎 丸井電設工事(株)
居城 幸恵 (株)原電光社 大木 修一 (株)山形電設
金田 正義 (株)山形電設
- 7・1 川崎市優秀青年技能者表彰
立崎 進 矢崎電機(株) 平原 昭雄 (有)愛工社
- 7・10 建設大臣表彰
佐藤 清 (株)佐藤電機商会
- 11・13 川崎市技能功労者表彰
原 一男 (株)原電光社 山崎 源次 山崎電業(株)

吉田 善治 (株)吉田電設工業

昭和63年

4・8 神奈川県雇用開発協会優良勤労青少年表彰

伊藤 勝美 篠原電機工業(株)

吉沢 浩通 篠原電機工業(株)

志々目光寿 (株)富士電気商会

5・18 勲六等瑞宝賞受彰

山崎 源次 山崎電業(株)

5・18 建災防川崎南北分会個人表彰功績賞

原 峯由 (株)原電光社

鈴木 岩治 末広電業(株)

6・27 第3回川崎市優良建設業者表彰

矢崎電機株式会社

7・1 川崎市商工業永年勤続者表彰

山口 春夫 加賀谷電機工業(株)

高橋 義和 (株)関電工

関岡 博 協成電気(株)

会田 晃一 山洋工業(株)

会田 文夫 山洋工業(株)

荒井誠一郎 山洋工業(株)

飯野 武志 山洋工業(株)

鹿野永治郎 山洋工業(株)

小林 秀幸 山洋工業(株)

志村 七郎 山洋工業(株)

曾田 康之 山洋工業(株)

田窪 勲 山洋工業(株)

能美 康弘 山洋工業(株)

浜田 達夫 山洋工業(株)

益満 行紀 山洋工業(株)

向井 隆夫 山洋工業(株)

塩川 佳男 篠原電機工業(株)

荒井 勝利 東京電機(株)

宮内 良明 東京電機(株)

千田 晴昭 東邦電業(株)

山本 輝男 東邦電業(株)

蔵原 孝 トヨオカ電気(株)

渡辺 烈 トヨオカ電気(株)

7・16 神奈川県優良勤労青少年等表彰

吉沢 浩通 篠原電機工業(株)

9・5 全国労働衛生推進大会優良事業場賞受彰

株式会社光陽電業社

10・12 建災防第24回神奈川大会功労賞受彰

杉本 徳男 (株)富士電気商会

10・25 川崎市優秀青年技能者表彰

塩川 佳男 篠原電機工業(株)

鈴木 文久 末広電業(株)

11・11 川崎市技能功労者表彰

深瀬 孝雄 (株)光陽電業社

鈴木 岩治 末広電業(株)

11・16 川崎南税務署長賞受彰

原 峯由 (株)原電光社

- 11・18 川崎商工会議所第36回優良産業人表彰
 木村 溥 協成電気(株) 市川 明男 篠原電機工業(株)
 佐々木徳美 トヨオカ電気(株) 宮城 秀行 トヨオカ電気(株)
 渡辺 衛 トヨオカ電気(株) 川村 信夫 山崎電業(株)
 中島 正亟 山崎電業(株) 渡辺 静子 山崎電業(株)
- 11・25 電気安全関東委員会第32回電気工事安全模範賞受彰
 株式会社森電気商会

平成元年

- 4・7 神奈川県雇用開発協会優良勤労青少年表彰
 小沢 潤 篠原電機工業(株) 笹原 広行 篠原電機工業(株)
 愛甲 浩一 (株)富士電気商会 岡 一成 関口電設(株)
 草場 一高 関口電設(株) 平野 信二 関口電設(株)
 大健 謙二 湘南電設(株) 古屋 修 加賀谷電機工業(株)
- 5・18 建災防川崎北分会個人表彰功績賞
 矢崎 直 矢崎電機(株) 辻 勝美 京浜電興(株)
 八木 眞 新城電機(株)
- 7・1 川崎市商工業永年勤続者表彰
 前村 好則 協成電気(株) 金田 徳治 (株)光陽電業社
 大川 博康 山洋工業(株) 真下 敏夫 山洋工業(株)
 飯野登美雄 篠原電機工業(株) 亀山 武志 柴電気工業(株)
 瀬尾 義明 関口電設(株) 高橋 正夫 東京電機(株)
 林 紀久夫 東京電機(株) 藤崎 勝志 トヨオカ電気(株)
 松田 利夫 トヨオカ電気(株) 外崎 治 トヨオカ電気(株)
- 7・6 第4回川崎市優良建設業者表彰
 東邦電業株式会社
- 10・4 建災防神奈川支部功績賞表彰
 杉本 徳男 (株)富士電気商会
- 10・11 神奈川県消防設備安全協会功績賞表彰
 杉本 徳男 (株)富士電気商会
- 10・24 川崎市優秀青年技能者表彰
 岩崎 亮 小澤電気(株) 河口 明 (株)富士電気商会
 東 兼二 丸井電設工事(株)
- 10・31 川崎市優秀技能者表彰
 大熊 勝雄 山崎電業(株)
- 11・19 川崎市技能功労者表彰
 岡 章 (株)岡電機

11・21 川崎商工会議所第37回優良産業人表彰

須崎 繁富 山崎電業(株)	関 留吉 山崎電業(株)
高塚 一彦 山崎電業(株)	

平成2年

4・6 神奈川県雇用開発協会優良勤労青少年表彰

藤田 勝 篠原電機工業(株)	古川 勝裕 篠原電機工業(株)
細尾 幸司 柴電気工業(株)	穎川 健二 (株)富士電気商会
本山 進 (株)富士電気商会	

4・26 川崎商工会議所振興委員永年勤続職表彰

宮川 秀雄 当会理事

5・21 神奈川県電気工事工業組合永年勤続者表彰

(25年勤続)

磯部 一夫 篠原電機工業(株)	林 和夫 篠原電機工業(株)
-----------------	----------------

(20年勤続)

鈴木 末男 篠原電機工業(株)

(15年勤続)

福盛田安代 篠原電機工業(株)

(10年勤続)

上原 光 篠原電機工業(株)

落合 義昭 篠原電機工業(株)

後藤 行弘 篠原電機工業(株)

林田 賢悟 篠原電機工業(株)

横田 澄久 篠原電機工業(株)

5・22 建災防川崎南北分会個人表彰功労賞

原 峯由 (株)原電光社

建災防川崎南北分会個人表彰功績賞

森沢 正 稲田電機(株)

依田 博明 篠原電機工業(株)

高橋徳太郎 住吉電機(株)

宮川 秀雄 (有)宮川電機工業所

7・1 川崎市商工業従業員永年勤続者表彰

鈴木 進 粕川電業(株)

中村 丑雄 (株)菊池電業社

田中 一男 山洋工業(株)

筒井 正夫 山洋工業(株)

豊田 恭介 山洋工業(株)

望月 英基 山洋工業(株)

鈴木 末男 篠原電機工業(株)

大矢 光枝 住吉電機(株)

篠田 琴一 住吉電機(株)

平田 時男 (株)電工舎

瀬戸島 斌 東京電機(株)

小沢 勇 トヨオカ電気(株)

高橋 恒雄 トヨオカ電気(株)

宮本 俊 トヨオカ電気(株)

柏 嘉一郎 丸井電設工事(株)

7・4 第5回川崎市優良建設業者表彰

- 関口電設株式会社
- 7・21 神奈川県優良勤労青少年表彰
小沢 潤 篠原電機工業(株)
- 10・6 川崎商工会議所永年議員職表彰
石崎 寛 当会会長
- 10・23 川崎市優秀青年技能者表彰
佐藤 登 国際電工(株)
- 11・21 川崎商工会議所優良産業人表彰
磯部 一夫 篠原電機工業(株)
- 11・22 川崎市技能功労者表彰
石井 清 (有)石井電気商会 原 峯由 (株)原電光社
- 11・28 川崎警察署優良安全運転管理者表彰
鈴木 末男 篠原電機工業(株)

平成3年

- 4・9 神奈川県雇用開発協会優良勤労青少年表彰
坪井 秀樹 篠原電機工業(株) 江口 彰二 関口電設(株)
窪田 善紀 関口電設(株) 八木 勝 関口電設(株)
浜田 学 (株)富士電気商会
- 5・17 神奈川県電気工事工業組合永年勤続者表彰
(25年勤続)
志田 一郎 山洋工業(株)
(20年勤続)
前村 好則 協成電気(株)
(15年勤続)
杉浦 一秀 山洋工業(株)
(10年勤続)
田口 一郎 加賀谷電機工業(株) 竹ノ下和文 協成電気(株)
和佐田 正 協成電気(株)
- 5・22 建災防川崎南分会個人表彰功績賞
小澤 清水 小澤電気(株)
- 5・24 建災防川崎北分会個人表彰功績賞
岡 章 (株)岡電機
- 6・28 第6回川崎市優良建設業者表彰
株式会社光陽電業社
- 7・1 川崎市商工業永年勤続者表彰
横田 栄子 (株)京浜愛工社 松島 辰一 (株)栄電社

表 彰

- | | | | |
|-------|------------------|-------|------------|
| 江原 光一 | 山洋工業(株) | 大阿久一郎 | 山洋工業(株) |
| 桜田 慶二 | 山洋工業(株) | 田中 満夫 | 山洋工業(株) |
| 金高 清 | 篠原電機工業(株) | 関 博 | 篠原電機工業(株) |
| 石川 成次 | トヨオカ電気(株) | 高橋美津男 | トヨオカ電気(株) |
| 吉沢 靖臣 | トヨオカ電気(株) | | |
| 11・14 | 川崎市優秀技能者表彰 | | |
| 齋藤 修 | (有)サイトウエレクトリック商会 | 竹居 武久 | 大昇電気(株) |
| 前田 正治 | (株)原電光社 | | |
| 11・21 | 川崎市技能功労者表彰 | | |
| 岩岡 安男 | (有)岩岡電機 | 加賀谷 勉 | 加賀谷電機工業(株) |
| 山木 実 | (有)タマ無線電機商会 | 吉泉 賢一 | 山崎電業(株) |
| 小向 稔 | (株)百合丘電設 | 和田 勇 | (有)和田電業社 |
| 11・22 | 川崎市優秀青年技能者表彰 | | |
| 山口 俊男 | (株)岡電機 | 菊原 英男 | 小澤電気(株) |
| 平林 憲治 | (有)小宮電気商会 | 盛 昌通 | 篠原電機工業(株) |
| 柴 修 | 柴電気工業(株) | | |

平成4年

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|-----------|
| 4・9 | 神奈川県雇用開発協会優良勤労青少年表彰 | | |
| 内田 尚宏 | 関口電設(株) | 木下美由紀 | 関口電設(株) |
| 5・20 | 建災防川崎南分会事業所表彰作業場賞 | | |
| | 山洋工業株式会社 | | |
| | 建災防川崎南分会個人表彰功績賞 | | |
| 佐々木 宏 | 佐々木電気工業(株) | 桜田 慶二 | 山洋工業(株) |
| 島田 精二 | 島田電設工業(株) | 野村 和世 | 篠原電機工業(株) |
| | 建災防川崎南分会個人表彰職長賞 | | |
| 石田 稔 | トヨオカ電気(株) | | |
| 5・25 | 建災防川崎北分会事業所表彰作業場賞 | | |
| | 住吉電機株式会社 | | |
| | 建災防川崎北分会個人表彰功績賞 | | |
| 原 敏男 | 粕川電業(株) | 坪田 博夫 | 坪田電業(株) |
| 7・1 | 川崎市商工業永年勤続者表彰 | | |
| 小澤 康佑 | 小澤電気(株) | 小澤 平 | 小澤電気(株) |
| 押見 広司 | 山洋工業(株) | 片山 博 | 山洋工業(株) |
| 高木 一萬 | 山洋工業(株) | 島田 辰男 | 山洋工業(株) |
| 田島 孝 | 篠原電機工業(株) | 後藤 忠信 | 山形電設(株) |
| 土居 孝夫 | 山形電設(株) | | |

- 7・6 平成4年度川崎市優良建設業者表彰
小澤電気株式会社
- 7・18 神奈川県優良勤労青少年知事表彰
古川 勝裕 篠原電機工業(株)
- 10・14 建災防全国大会個人表彰功績賞
杉本 徳男 (株)富士電気商会
- 10・23 建災防神奈川支部大会個人表彰功績賞
菊地原忠光 東邦電業(株)
- 10・27 川崎市優秀青年技能者表彰
林 康幸 (株)京浜愛工社 田口 洋子 (株)和田電業社
- 11・12 川崎市優秀技能者表彰
市川 雄三 工都電業(株)
- 11・19 川崎市技能功労者表彰
阿部 昭二 (有)阿部電気商会 志村 汎史 (有)志村電設工業
- 11・20 川崎商工会議所優良産業人表彰功績賞
矢崎 直 矢崎電気(株) 林 和夫 篠原電機工業(株)
- 11・24 神奈川県優秀技能者表彰
梅景 八郎 篠原電機工業(株)
- 11・26 大和市市長表彰優良従業員賞
栗林 伸一 篠原電機工業(株)

平成5年

- 2・12 神奈川県商工会議所優良産業人表彰
矢崎 直 矢崎電機(株)
- 5・21 建災防川崎南分会個人表彰功績賞
東海林丈男 (有)東海電業社
- 5・28 建災防川崎北分会個人表彰功績賞
田通 一確 (有)丸子電気商会
- 7・1 川崎市商工業永年勤続者表彰
岩崎 亮 小澤電気(株) 小西 康友 山洋工業(株)
佐藤 寿夫 山洋工業(株) 長岡 輝好 山洋工業(株)
外山 元雄 篠原電機工業(株) 座間 登 東邦電業(株)
石川 忠志 トヨオカ電気(株) 斎藤 次郎 トヨオカ電気(株)
宝田 毅一 トヨオカ電気(株) 中島 猛 トヨオカ電気(株)
- 7・17 神奈川県優良勤労青少年知事表彰
坪井 英樹 篠原電機工業(株)
- 8・11 通商産業大臣表彰

表 彰

- 中島 忠三 田島電業(株)
- 10・7 川崎市労働災害防止功労団体者表彰
山洋工業株式会社
- 10・20 建災防神奈川支部大会個人表彰功績賞
原 峯由 (株)原電光社
- 11・2 川崎市優秀青年技能者表彰
吉川 光司 (株)京浜愛工社
- 11・3 勲五等瑞宝賞表彰
佐藤 清 (株)佐藤電機商会
- 11・7 川崎市技能功労者表彰
栗原 剛 テルヤ電工(株)
- 11・22 川崎商工会議所優良産業人表彰功績賞
金高 清 篠原電機工業(株)
- 11・24 大和市市長表彰優良従業員賞
林田 賢悟 篠原電機工業(株)
- 11・30 神奈川県優秀技能者表彰
磯部 一夫 篠原電機工業(株)

平成6年

- 4・8 神奈川県雇用開発協会優良勤労青少年表彰
守谷 勝好 (株)寿電興 高橋 幸司 (有)志村電設工業
三浦 良司 (有)東海電業社
- 5・23 建災防川崎南分会個人表彰功績賞
市川 雄三 工都電業(株) 小宮 清次 (有)小宮電気商会
- 7・1 川崎市商工業永年勤続者表彰
熊田 博良 (株)菊池電業社 鈴木 雅之 (株)菊池電業社
五十嵐瑞洋 (株)京浜愛工社 勝見 晃 (株)京浜愛工社
斎藤 尚三 (株)京浜愛工社 沼野井建夫 (株)京浜愛工社
平原 昭雄 (株)京浜愛工社 景 広太郎 山洋工業(株)
村上 勝 佐々木電気工業(株) 山口 寿正 佐々木電気工業(株)
伊藤 ヤス 篠原電機工業(株) 栗田 利明 篠原電機工業(株)
菊池 功 辰野電設(株) 程島日出男 東芝プラント建設(株)
石塚 昭二 東和電設(株) 井上 康夫 東和電設(株)
猪熊 三久 東和電設(株) 岩崎 正広 東和電設(株)
上富 俊一 東和電設(株) 広峰 光則 東和電設(株)
宮内 英男 東和電設(株) 吉川 正忠 東和電設(株)
小野 雅章 トヨオカ電気(株) 工藤 庸夫 トヨオカ電気(株)

- 竹井 寛 トヨオカ電気(株) 鶴田 修衍 トヨオカ電気(株)
 江川 富夫 (株)吉見電設 松田 行雄 (株)吉見電設
- 9・13 神奈川県優良工事表彰 (公文書館新築電気設備)
 トヨオカ電気株式会社
- 10・25 川崎市優秀青年技能者表彰
 上野 裕康 千代田電気(株) 下地 順栄 (株)電工舎
 上富 俊一 東和電設(株) 安達 幸雄 (株)富士電気商会
- 11・3 川崎市社会功労賞表彰
 中島 忠三 田島電業(株)
- 11・9 川崎市優秀技能者表彰
 塚原 繁夫 三協電機(株) 木村 文男 (有)小林電設工業社
 三辺 保夫 湘南電設(株) 菊地原忠光 東邦電業(株)
 横山 松広 東和電設(株)
- 11・22 川崎市技能功労者表彰
 赤津 茂 共進電気(株)

平成7年

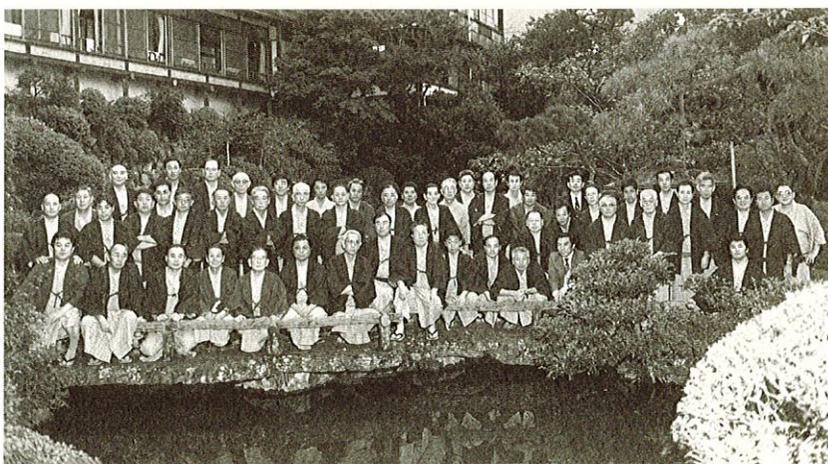
- 5・22 建災防川崎北分会個人表彰功績賞
 山室 政雄 (株)山室電機 川又 和男 川又電機工事(株)
- 7・1 川崎市商工業永年勤続者表彰
 小野寺 務 川崎電設(株) 林 康幸 (株)京浜愛工社
 青木 良吉 山洋工業(株) 石橋富美雄 山洋工業(株)
 渋谷 一之 山洋工業(株) 徳江 裕 山洋工業(株)
 福盛田安代 篠原電機工業(株) 川島 治彦 湘南電設(株)
 三辺倉次郎 湘南電設(株) 森 啓二 湘南電設(株)
 小野 優 太陽電装(株) 磯崎 佳三 (株)電工舎
 高田 拾次 (株)電工舎 平田 時男 (株)電工舎
 綾部 義弘 東芝プラント建設(株) 阿部 寛文 トヨオカ電気(株)
 大塚 靖夫 トヨオカ電気(株) 糟谷 正 トヨオカ電気(株)
 佐々木徳美 トヨオカ電気(株) 渡辺 衛 トヨオカ電気(株)
 割鞘 豊治 トヨオカ電気(株)
- 7・1 川崎市商工業永年勤続者表彰
 中村 精次 (株)富士電気商会 安達 修 丸井電設工事(株)
 稲葉 光知 丸井電設工事(株) 長岡 行雄 丸井電設工事(株)
- 10・18 建災防神奈川支部大会個人表彰功績賞
 菊地原忠光 東邦電業(株) 坪田 博夫 坪田電業(株)
- 11・6 神奈川県環境美化啓発個人表彰功績賞

表 彰

- 中島 忠三 田島電業(株)
- 11・11 川崎市優秀青年技能者表彰
吉田 薫 (株)吉田電設工業
- 11・16 川崎市優秀技能者表彰
深谷 実 (有)深谷電気工事
- 11・17 川崎市技能功労者表彰
内田 博 愛知電業(株) 小澤 清水 小澤電気(株)



熱海 金城館 43・1・14



箱根宮の下温泉奈良屋旅館 60・10・4

二世会

新しい時代に活躍を期待

川崎市電設工業会が発足して35年の歳月が経過した。発足当時活躍した会員もその約3分の2が前線から引退、二世、早いところでは三世が事業を継いでいる。

昭和55年のことである。これから二世の時代になる。二世が工業会に出席してお互いにごこのだれかわからぬような会では困る。早い時期から会になれておくことが必要だ。それなら二世が抵抗なく工業会に出席できるような雰囲気のを会に作っておくことが望ましいという話がでてきた。

川崎建設業協会にはすでに二世会があり大きな活動をしている。これらを参考に、むずかしい入会条件など作らず、二世が気軽に出席できるような二世会を作ろうということになり、昭和55年12月の例会で、二世会結成の了解を得ることになった。

二世会の誕生

昭和55年12月の例会で了解を得た二世会の結成について、翌56年2月10日に第1回の会合を開き組織、会則等の説明及び準備委員（二世会の世話人）の推薦を行った。

出席者は、関口会長、杉本、矢崎、菊地原理事の4氏で準備委員に次の5氏が選ばれた。

(株)斎藤電気工事	斎藤 信一
三協電気株式会社	塚原 繁夫
柴電気工業(株)	柴 博
トヨオカ電気(株)	十八日義雄
日鋼電気株式会社	内藤 完治

準備会は昭和56年2月10日より同年5月7日まで7回にわたって持たれた。第1回目の準備会で準備委員に次の2氏が増員された。

細谷電機工業(株)	細谷 至孝
(株)栄電社	内藤 正幸

7回の準備会で、会則の修正、入会費、会費、入会者、賛助会員、幹事数、発会式及びパーティー等の件が討議された。昭和56年5月7日、電設工業会大会議室に正会員31社が

出席、午後1時30分より会則並びに役員を選出を行い、引き続き祝賀会を開催、午後4時30分に散会した。

56年度役員	会長	塚原 繁夫	三協電機株式会社
	副会長	十八日義雄	トヨタ電気(株)
	”	内藤 完治	日鋼電気株式会社
	会計	柴 博	柴電気工業(株)
	幹事	細谷 至孝	細谷電機工業(株)
	”	内藤 正幸	(株)栄電社
	”	斎藤 信一	(株)斎藤電気工事

次いで6月12日、会館大会議室で第1回通常総会が開かれ二世会は、

会員相互の親睦

電設工業会はもとより諸団体の行動に参加

電気工事技術の向上、経営の発展

を軸にする活動方針を決定した。

発足以来二世会では、総務委員会、厚生委員会、技術委員会、経営委員会の4委員会が輪番制で毎月1回(8月を除く)例会を開催している。また、これに合わせ、講演会、講習会、説明会、研修会、見学会を開き、新時代に適応すべく厳しい業界の諸問題に積極的に取り組んできた。

経営の合理化、ハイテク技術の修得、めざましい進歩をとげる情報通信分野の研究など所信の目的をもって後継者として着実に成果を上げてきた。これら独自の事業計画を進めるとともに、建設業協会二世会とも交流を重ね、合同事業の実施にも大きな前進が見られた。

さらに、会員同士の親睦、融和、協調意識を高めるための研修旅行、会員家族を含めた恒例のボーリング大会は、会として結束を一段と高めてきた。



二世会創立10周年記念祝賀会



それだけにとどまらず、電設工業会の行事、新年賀詞交換会等には裏方として大いに活躍、会の発展に寄与してきた。

昭和61年2月12日、創立5周年を迎えるにあたり、新時代に適応すべく、積極的に諸問題に取り組むことを決意した。

平成2年6月6日、創立10周年を行い、これを契機にして、会員の結束を固め後継者としての知識、技能および雇用改善の向上につとめる。3Kの汚名返上をテーマにして、若者の魅力ある職業と位置づけイメージアップに努力前進をはかった。

平成7年、昭和56年発足以来15年を経過、この年二世会より本会に理事2名が選出された。

座談会

本会が35周年を迎えるに当り、平成8年4月2日、歴代二世会会長代表5名に出席を願ひ本会会長を交え二世会の思い出とこれからの抱負について語ってもらった。

初代会長	塚原 繁夫	三協電機(株)
	佐藤 光義	(株)佐藤電機
	小林 正幸	高信電機(株)
	岡 克宣	(株)岡電機
	和田 清	(株)和田電業社

オブザーバー

杉本会長
菊地原副会長
原副会長
鈴木理事

司会 十八日理事

(敬称略)



左より 塚原繁夫、和田 清、佐藤光義、岡 克宣、小林正幸

発会当時の思い出

川崎市電設工業会は発足以来35年の年月が過ぎ去った。発足当時活躍された会員の半数以上が引退され、二世、早いところでは三世が後継者として仕事を引き継いでいる。

時代は、一世から二世の時代を迎えようとしている。

このような状況のなか、昭和55年の暮れもおしつまった頃、役員会のなかで、「将来電設工業会を背負って立つ後継ぎのため二世会を作ったらどうだろうか」という話が煮つまって二世会の誕生をみることになった。

それなら、二世たちが、後継者として何の抵抗なく入れるような組織でなくてはならない。むずかしい会ではなく、誰でも気軽に入会できる会にしたいというのが、発起人たちの考え方だった。

そのために、発足当時は、二世会が何か遊びの会のように誤解されたことも少なくなかったようだ。昼間は仕事の都合上、会合はどうしても夜になってしまうことが多かった。月1回、例会が終わったあと気の合った者同士飲むチャンスが多く、時には翌日仕事にさしきわることがあったことも事実で、いたし方のないことだったと思う。もちろん、現在ではそのようなことは無い。

二世会の持つ意義

当初、規約を作るにあたり、建設業協会の二世会の規約をずい分参考にさせてもらったので、似かよったものになってしまった。

規約も大分変わったが、はじめ、入会者に年齢制限があった。40歳以上の者と、社長の肩書きのつく者は入会できなかった。そのため入会できず残念がった人もいた。二世会は事業を継ぐ人なら誰でもよいというわけで、もちろんおむこさんでもよい。

二世会は会の設立目的どおり、工業会に早くからなれておく、つまり工業会の組織の勉強、多くの会員と知り合いになることが、工業会の会員になった時に役立つことをOBの会員が語っている。

だが、ふつう、電設工業会に出席するのは社長で、二世が本会に出席することが少ない。このことが、二世会の存在が多くの人に知られない原因になっているようだ。

新規会員の入会を願う

電気業界に限らず、後継者不足は深刻な問題になっている。現在電設工業会の会員は百数社あるが総ての会社が、決った後継者がいるとは限らない。これら限られた人数の中から、多くの二世会の会員を募っていくことができるか、今後大きな課題となると思う。

会員を増やす意味でも、二世会を入会したくなるような魅力ある会にしていかなければならない。

二世会の会則では本人が退会の意志を表わさない限り、特別な場合を除いて、その資格を失わないことになっている。しかし、当会も発足して15年、会社の代表者になった会員も13社ほどでてきている。電設工業会と二世会の両方に籍を置く会員もおり、二世会を卒業したいとの言もしばしば聞かれる。新規入会者の大増加がなかなか望めない現在、会員数の維持のため、何とか退会を待ってもらっているのが現状である。



二世会 春日井工場見学 4・7・6

これらの問題を深刻に受け止めて、会員を増やすべく何らかの方策を考える時が来ていると考えられる。

これからの課題

現在、二世会が定期的に交流を持っているのは建設業協会の二世会だけだが、将来会の発展を考えると、大きな視野のなかに、同業者団体、他業種団体をその中に入れていく必要がある。

また現在、新年賀詞交換会では、裏方として参加しているが、将来二世会が主流になる事業が行えるよう成長をしていくべきだろう。

とくに最近、情報、通信分野の技術進歩がめざましい。現在でも年何回か、これにかかわる技術講習会を開いているか、新しい分野の知識、技術の講習会をいまより増やし、会員の技術向上に役立つことを願っている。



平成7～8年度 川崎市電設工業会理事・事務局職員

付 録

平成7年度事業概要報告書
平成8年度正会員・賛助会員名簿
協 賛 広 告

平成7年度事業概要報告書

平成8年6月 日

神奈川県知事 殿

川崎市川崎区宮本町3番地5
社団法人 川崎市電設工業会
会 長 杉 本 徳 男
電 話 川崎 044-233-5451

次のとおり、当法人の平成7年度において、実施した事業について、関係書類を添えて報告します。

1. 事業の状況
2. 処務の概要
3. 会員の移動状況

《関係書類》

1. 平成7年度収支決算書及び正味財産増減計算書
並びに貸借対照表・財産増減の事由書
2. 平成7年度末の財産目録及び増減事由書
3. 平成7年度末の会員名簿
4. 総会並びに理事会議事録及び登記簿謄本

1. 事業報告

次のとおり事業を執行した。

(1) 例会開催〔定款第5条8・総務委員会〕

- ア. 月 日 平成7年7月10日 出席者 76名
場 所 当法人事務所大会議室
議 題 1. 川崎市建築局との技術懇談会の報告について
2. 第4回労働安全衛生大会の実施について
3. 秋の研修旅行会の開催について
4. その他報告事項
- イ. 月 日 平成7年9月11日 出席者 86名
場 所 当法人事務所大会議室
議 題 1. 第4回労働安全衛生大会の成果について
2. 川崎市企画財政局懇談会の報告について
3. 公共工事に伴う関係書類等の説明について
4. その他報告事項
- ウ. 月 日 平成7年11月10日 出席者 71名
場 所 当法人事務所大会議室
議 題 1. 研修旅行会の結果報告について
2. 第17回電気工事士技能競技大会について
3. 平成8年度新年賀詞交換会の開催について
4. その他報告事項

(2) 委員会開催〔定款第8条〕

- | | | |
|--------|-----------|--------------|
| ●総務委員会 | 平成7年4月22日 | 於当法人事務所第一会議室 |
| | ” 6月14日 | ” ” |
| | ” 10月13日 | ” ” |
| | ” 11月22日 | ” ” |
| ●安全委員会 | 平成7年4月24日 | ” ” |
| | ” 5月24日 | ” ” |
| | ” 7月26日 | ” ” |
| | ” 9月6日 | 於川崎市いさご会館 |
| | ” 10月27日 | 於当法人事務所第一会議室 |
| ●厚生委員会 | 平成7年6月14日 | ” ” |
| | ” 6月23日 | ” ” |
| | ” 8月3日 | ” ” |
| | ” 9月21日 | ” ” |

● 厚生委員会	平成7年11月2日	於奥湯河原温泉山翠楼	
● 技術委員会	“ 7月10日	於当法人事務所第一会議室	
	“ 8月21日	“ “	
	“ 8月23日	“ “	
	“ 10月24日	“ “	
	“ 11月29日	“ “	
	“ 12月5日	“ “	
	“ 12月12日	“ “	
	“ 12月26日	“ “	
	平成8年1月22日	“ “	
	“ 2月7日	“ “	
	“ 2月8日	於県立京浜高等職業技術校	
	“ 2月22日	於当法人事務所第一会議室	
● 教育講習委員会	平成7年5月27日	“ “	
	“ 6月6日	“ “	
	“ 7月10日	“ “	
	“ 10月19日	“ “	
● 経営委員会	平成7年6月16日	“ “	
	“ 7月27日	“ “	
	“ 8月21日	“ “	
(特別委)	“ 8月24日	“ “	
	“ 8月30日	“ “	
	“ 9月18日	“ “	
	“ 9月29日	“ “	
	“ 10月9日	“ “	
	“ 10月23日	“ “	
	“ 11月13日	“ “	
(特別委)	“ 11月15日	“ “	
	“ 12月19日	“ “	
	平成8年1月8日	“ “	
	“ 1月31日	“ “	
	“ 3月14日	“ “	
● 財務委員会	平成7年4月11日	“ “	
	“ 6月19日	“ “	
	平成8年3月1日	“ “	
	“ 3月28日	“ “	

(3) 説明会開催〔定款第5条4〕

ア. 公共工事に係る技術指導並びに説明会〔技術委員会〕

月 日 平成7年8月23日
場 所 当法人事務所大会議室
講 師 川崎市建築局施設整備部担当職員（7氏）
出席者 39名

イ. 電気事業法の改定に伴う説明会〔総務委員会〕

月 日 平成7年12月22日
場 所 当法人事務所大会議室
講 師 東京電力㈱神奈川支店営業部・川崎支社
内 容 1. 電気事業法改定の主な変更点
2. 新電気料金の概要と主な変更点
3. 高周波の技術指針についてその他
出席者 川崎市建築局施設整備部・管理検査課
川崎市まちづくり公社担当職員（11名）
杉本会長他全理事（13） 計 28名

ウ. 公共工事に係る履行保証制度説明会〔総務委員会〕

月 日 平成8年2月14日
場 所 当法人事務所大会議室
内 容 1. 公共工事の履行保証体系その他
安田火災海上保険㈱金融保証保険部
2. 工事契約等について
川崎市企画財政局管財部工事契約課
出席者 正会員 91名

(4) 研修会開催〔定款第5条7〕

ア. 健康衛生管理者研修会〔厚生委員会〕

月 日 平成7年5月16日
場 所 当法人事務所大会議室
講 師 神奈川県電設健康保険組合担当職員
参加者 55名

イ. 安全労働衛生研修会〔厚生・安全委員会〕

月 日 平成7年7月10日
場 所 当法人事務所大会議室
内 容 ストレスと健康《労働衛生スライド》
参加者 76名

ウ. シーケンス基礎編研修会〔教育講習委員会〕

月 日 平成7年11月22日
場 所 当法人事務所大会議室
内 容 1. 制御盤動力回路及び制御回路の説明
2. 実習による外灯制御回路及び揚水・排水ポンプ制御回路
3. 質疑応答その他
講 師 松下電工(株)横浜電材営業所電設盤事業部
参加者 22名

(5) 講習会開催〔定款第5条5〕

ア. 第二種電気工事士試験受験準備講習会〔教育講習委員会〕

【学科】

月 日 平成7年5月27日～28日（終日）
受講者 117名

【技能】

月 日 平成7年7月15日～16日（終日）
“ 7月22日（午後）

受講者 89名
講 師 東京電力(株)川崎支社技術担当職員
担 当 川崎市内電気設備連絡協議会技術指導員

イ. 道路交通に係る法定講習会〔安全委員会〕

月 日 平成7年11月10日
場 所 当法人事務所大会議室
講 師 川崎警察署交通課交通担当官
協 賛 川崎働く青少年交通安全協議会
受講者 71名

(6) 第4回労働安全衛生大会〔安全・厚生委員会〕

月 日 平成7年9月6日
場 所 川崎市いさご会館2階大ホール

第1部《指導講演》

主 題 建設業における労働災害の防止について
講 師 川崎南労働基準監督署第一方面
主任監督官 木瀬 克 徳 様

第2部《特別企画》

テーマ 健康食事学入門
『二日酔い対策から長寿の秘けつまで』
講 師 明治製菓(株)健康産業事業部
管理栄養士 深 川 史 麻 様

協 賛 神奈川県電気工事工業組合川崎地区本部
出席者 179 名（賛助会員・組合含む）

(7) 第22回川崎市中小企業大運動会〔厚生・教育講習委員会〕

月 日 平成7年10月22日
場 所 川崎競輪場特設会場
担 当 川崎市内電気設備業連絡協議会
参加者 25名

(8) 協 賛〔定款第5条8〕

- ア. 川崎市多摩川花火大会
平成7年8月26日開催
- イ. 第22回川崎みなと祭り実行委員会
平成7年10月20～22日開催
- ウ. 第18回かわさき市民祭り実行委員会
平成7年11月3日～5日開催
- エ. 光のイベントかわさきインナイト95
平成7年12月1日～8年1月15日期間

(9) 研修旅行会〔定款第5条6〕

月 日 平成7年11月2～3日
場 所 奥湯河原温泉 山翠楼
研 修 健康早朝ゴルフ大会（参加者36名）
担 当 厚生委員会
出席者 101名

(10) 平成8年新年賀詞交換会〔総務委員会〕

月 日 平成8年1月10日
場 所 当法人事務所大会議室
出席者 232名

(11) 審査基準検討会〔技術委員会〕

月 日 平成8年2月2日
場 所 当法人事務所大会議室
目 的 電気工事士技能大会に係る審査基準策定等他
出席者 川崎市建築局施設整備部担当職員
大会運営委員及び技術委員会委員 計 23名

(12) 第17回電気工事士技能競技大会

月 日 平成8年2月8日
場 所 神奈川県立京浜高等職業技術校特設会場
選 手 15名(平成6年・7年度第二種電気工事士取得者)
審査員 委員長 橋本 大二郎氏(川崎市建築局参事)
委 員 川崎市建築局施設整備部派遣担当職員 7氏
東京電力株式会社 川崎支社
同 高津営業所
同 生田営業所

受賞者

川崎市市長賞	上野博幸	(株)岡電機
川崎市議会議長賞	水上隆文	島田電設工業(株)
川崎商工会議所会頭賞	伊藤武司	日鋼電気(株)
県立京浜高等職業技術校校長賞	志村信之	国際電工(株)
川崎建設業協会会長賞	笹山桂一	(株)原電光社
東京電力(株)川崎支社長賞	松崎修	(株)吉見電設
東京電力(株)高津営業所長賞	前田篤志	(株)寿電興
東京電力(株)生田営業所長賞	和田典久	千代田電気(株)
川崎市電設工業会会長賞	山下貴士	島田電設工業(株)
川崎市電設工業会技術委員会賞	八木康洋	粕川電業(株)
同 賞	遠藤誠	伊鈴電設(株)
同 賞	子安隆弘	(有)丸子電気商会
同 賞	木村達也	神港電気工事(株)
同 賞	中村賢	神港電気工事(株)
同 賞	西出幸子	(株)新城電機

(13) 競技大会結果反省会〔技術委員会〕

月 日 平成8年2月22日
場 所 当法人事務所大会議室
目 的 第17回電気工事士技能競技大会結果報告並びに今後の運営対策について
出席者 川崎市建築局施設整備部担当職員
大会運営委員及び技術委員会委員 計 23名

(14) 表彰〔定款第5条8〕(総務・厚生委員会)

平成7年5月22日	建災防川崎北分会個人表彰功績賞	山室政雄氏 (株)山室電機
		川又和男氏 川又電機工事(株)
平成7年7月1日	川崎市商工業永年勤続者表彰	小野寺務氏 川崎電設(株)
		林康幸氏 (株)京浜愛工社
		青木良吉氏 山洋工業(株)
		佐々木徳美氏 トヨタカ電気(株)
		渡辺衛氏 ”
		割鞆豊治氏 ”
		中村精次氏 (株)富士電気商会
		安達修氏 丸井電設工事(株)
		稲葉光知氏 ”
		長岡行雄氏 ”
		石橋富美雄氏 ”
		渋谷一之氏 ”
		徳江裕氏 ”
		福盛田安代氏 篠原電機工業(株)
		川島治彦氏 湘南電設(株)
		三辺倉次郎氏 ”
		森啓二氏 ”
		小野優氏 太陽電装(株)
		磯崎佳三氏 (株)電工舎
		高田拾次氏 ”
		平田時男氏 ”
		綾部義弘氏 東芝プラント建設(株)
		阿部寛文氏 トヨタカ電気(株)
		大塚靖夫氏 ”
		糟谷正氏 ”
平成7年10月18日	建災防神奈川支部大会個人表彰功績賞	菊地原忠光氏 東邦電業(株)
		坪田博夫氏 坪田電業(株)
平成7年11月11日	川崎市優秀青年技能者表彰	吉田薫氏 吉田電設工業
平成7年11月16日	川崎市優秀技能者表彰	深谷実氏 (有)深谷電気工事

平成7年11月17日 川崎市技能功労者表彰
 内田 博氏 愛知電業(株)
 小澤清水氏 小澤電気(株)

(15) 連絡・協力〔定款第5条8〕

平成7年4月5日 電公ビル改修工事所有区分者会議出席
 “ 4月12日 建災防川崎南分会理事会出席
 “ 4月13日 同 川崎北分会理事会出席
 “ 4月14日 川崎建設業協会合同会議出席
 “ 4月20日 建災防川崎南北分会安全パトロール出席
 “ 4月26日 川崎市まちづくり公社特別座談会出席
 “ 5月1日 建災防川崎南分会監事会出席
 “ 5月12日 二世会第15回通常総会出席
 “ 5月16日 建災防川崎北分会理事会出席
 “ 5月16日 神奈川県魅力ある建設業推進協議会総会出席
 “ 5月16日 建災防神奈川支部理事会出席
 “ 5月18日 同 神奈川支部総会出席
 “ 5月18日 神奈川県雇用開発協会川崎支部総会出席
 “ 5月18日 建災防川崎南分会理事会出席
 “ 5月22日 同 川崎北分会総会出席
 “ 5月23日 神奈川県消防設備安全協会総会出席
 “ 5月25日 神奈川県電気工事工業組合総代会出席
 “ 5月26日 建災防川崎南分会総会出席
 “ 5月26日 川崎商工会議所第246回常議員会出席
 “ 6月6日 建災防川崎南分会理事会出席
 “ 6月8日 同 川崎北分会理事会出席
 “ 6月12日 川崎建設業協会総会出席
 “ 6月13日 二世会例会及び研修会出席
 “ 6月15日 神奈川県暴力追放推進県民大会出席
 “ 6月20日 建災防川崎南北分会安全パトロール出席
 “ 7月1日 川崎市内電気設備業連絡協議会出席
 “ 7月2日 二世会移動例会出席
 “ 7月8日 建災防川崎北分会東京湾道路施設見学会出席
 “ 7月12日 第3回神奈川県建設産業構造改善推進大会出席
 “ 7月14日 神奈川県電設団体連絡協議会出席
 “ 7月14日 建災防川崎南分会理事会出席
 “ 7月20日 同 川崎南分会安全パトロールミーティング出席

- ” 7月21日 建災防川崎北分会安全パトロール出席
- ” 7月21日 川崎商工会議所第84回通常議員総会出席
- ” 7月21日 同 第247回常議員出席
- ” 7月25日 同 建設工業部会出席
- ” 7月25日 川崎市内電気設備業連絡協議会出席
- ” 8月7日 建災防川崎南北分会合同理事会出席
- ” 8月8日 神奈川県雇用開発協会川崎支部委員会出席
- ” 9月4日 建災防川崎北分会理事会出席
- ” 9月5日 同 川崎南分会理事会並びに全国労働衛生週間大会に出席
- ” 9月5日 雇開協川崎支部川崎駅前広場キャンペーン参加
- ” 9月12日 二世会例会並びに講演会出席
- ” 9月20日 建災防川崎南北安全パトロール出席
- ” 9月22日 川崎商工会議所第248回常議員回出席
- ” 9月22日 川崎建設業協会9月太子講祭出席
- ” 9月27日 平成7年度川崎市労働災害防止研究集会出席
- ” 10月4日 建災防北海道全国安全大会参加
- ” 10月11日 同 川崎北分会理事会出席
- ” 10月18日 同 神奈川支部理事会出席
- ” 10月19日 日本電設工業会平成7年度会員大会出席
- ” 10月20日 建災防川崎南北分会安全パトロール出席
- ” 10月25日 川崎商工会議所建設工業部会出席
- ” 10月30日 神奈川県第2回建設懇話会出席
- ” 11月7日 建災防川崎北分会理事会出席
- ” 11月9日 同 川崎南分会理事会出席
- ” 11月14日 二世会例会並びに時局講演会出席
- ” 11月20日 建災防川崎南北分会安全パトロール出席
- ” 11月20日 同 神奈川支部理事会出席
- ” 11月21日 神奈川県平成7年度建設業経営管理者研修会出席
- ” 11月22日 建災防神奈川支部安全相模原大会出席
- ” 11月24日 川崎商工会議所第249回常議員会出席
- ” 12月1日 二世会例会並びに懇親会出席
- ” 12月7日 建災防川崎南分会理事会並びに懇親会出席
- ” 12月8日 電公ビル改修工事所有区分者会議出席
- ” 12月12日 建災防川崎北分会理事会並びに懇親会出席
- 平成8年1月5日 川崎市長・市議会議長新年賀詞交換会出席
- ” 1月5日 第二記者クラブ新年賀詞交換会出席
- ” 1月5日 川崎商工会議所新年賀詞交換会出席

平成8年1月8日 神奈川県電業協会新年賀詞交換会出席
 “ 1月12日 川崎市通信設備連絡協議会新年賀詞交換会出席
 “ 1月12日 神電工組川崎地区本部新年賀詞交換会出席
 “ 1月12日 同 川崎北地区本部新年賀詞交換会出席
 “ 1月12日 横浜電設協会新年賀詞交換会出席
 “ 1月18日 建設業における安全対策技術講習会出席
 “ 1月18日 川崎市空調衛生工業会新年賀詞交換会出席
 “ 1月19日 建災防川崎南分会理事会並びに懇親会出席
 “ 1月22日 同 川崎南北分会安全パトロール出席
 “ 1月25日 川崎塗装工業会新年賀詞交換会出席
 “ 1月25日 建災防川崎北分会理事会並びに懇親会出席
 “ 1月27日 川崎市内電気設備業連絡協議会出席
 “ 1月30日 神奈川県消防設備安全協会出席
 “ 2月1日 神奈川県建設業経営研修講座出席
 “ 2月9日 建災防川崎南分会理事会出席
 “ 3月5日 神奈川県電設団体連絡協議会出席
 “ 3月7日 神奈川県雇用開発協会川崎支部委員会出席
 “ 3月8日 建災防川崎南分会理事会出席
 “ 3月12日 建災防川崎北分会理事会出席
 “ 3月19日 建設業公益法人事務局長会議出席
 “ 3月22日 川崎商工会議所第251回常議員会出席
 “ 3月22日 同 第85回通常議員総会出席
 “ 3月28日 かながわ・ゆめ国体募金推進委員会設立総会出席
 “ 3月28日 川崎市新履行保証制度に関する説明会に出席

2. 処務の概要

(1) 役員に関する事項

平成7年度末現在

役 職	氏 名	就任年月日	現 職	最初の就任 年 月 日
理 事(会 長)	杉 本 徳 男	平.7.5.10	(株)富士電気商会 社長	昭. 44. 5. 10
同 (副会長)	菊 地 原 忠 光	〃	東 邦 電 業 (株) 社長	53. 6. 15
同 (副会長)	原 峯 由	〃	(株)原電光社 社長	50. 5. 10
同	宮 川 秀 雄	〃	宮 川 電 機 (株) 社長	58. 5. 10
同 (会 計)	辻 勝 美	〃	京浜電興(株) 常務取締役	60. 5. 10
同 (会 計)	石 井 清	〃	(有)石井電気商会 社長	60. 5. 10
同	鈴 木 岩 治	〃	末 広 電 業 (株) 社長	62. 5. 10
同	小 澤 清 水	〃	小 澤 電 気 (株) 社長	63.12.19
同	島 田 精 二	〃	島田電設工業(株) 社長	平. 元. 5. 10
同	坪 田 博 夫	〃	坪 田 電 業 (株) 社長	3. 5. 10
同	原 敏 男	〃	粕川電業(株) 専務取締役	3. 5. 10
同	十 八 日 義 雄	〃	トヨオカ電気(株) 社長	平. 7. 5. 10
同	佐 藤 光 義	〃	(株)佐藤電機 社長	7. 5. 10
監 事	内 藤 唯 男	〃	(株)栄電社 社長	平. 7. 5. 10
同	細 谷 至 孝	〃	細 谷 電 機 工 業 社長	7. 5. 10

(2) 職員に関する事項

平成7年度末現在

職	氏 名	就職年月日	担 当 事 務
事 務 局 長	木 村 弘	昭. 36. 9. 27	総 務 ・ 事 業
	成 田 春 美	平. 5. 5. 25	会 計 ・ 統 計

(3) 役員などに関する事項

ア. 理事会

開催年月日	決議事項	開催当日における理事の現在数及び議決権を行使した理事の数と議決結果		
		現在数	議決数	欠席決定
平成7年				
4. 3	新しい入札制度実施計画等に関する件その他	13	13	〃
4. 12	平成7年度事業計画及び予算書（主務官庁）届け出の件その他	〃	〃	〃
5. 2	第35回定時総会の運営に関する件その他	〃	〃	〃
6. 9	神奈川県雇用開発他関連団体派遣理事専任の件他	〃	〃	〃
7. 3	川崎市企画財政局との懇談会開催に関する件他	〃	12	〃
9. 4	公共工事に伴う関係書類等の説明会に関する件他	〃	13	〃
9. 11	秋の研修旅行会開催の件その他	〃	〃	〃
10. 2	第17回電気工事士技能競技大会の実施計画に関する件他	〃	〃	〃
	川崎市民祭り並びに光のイベント協賛金に関する件その他			
11. 10	公共工事に係る履行保険保証制度の説明会に関する件その他	〃	11	〃
12. 4	第17回電気工事士技能競技大会の実施計画に関する件他	〃	13	〃
12. 22	技術並びに総務委員会結果報告その他 電公ビル改修工事日程等に関する件	〃	〃	〃
平成8年				
1. 10	平成8年度新年賀詞交換会の運営に関する件他	〃	〃	〃
2. 2	平成8年度の事業計画及び予算（案）に関する件 法人認可設立35周年記念誌発行に関する件他	〃	〃	〃
3. 4	平成8年度第二種電気工事士試験に係る講習会開催の件 正会員新入会員承認の件その他	〃	11	〃
3. 10	平成8年度の事業計画及び予算に係る臨時総会の運営に関する件	〃	13	〃

イ. 監事会

開催年月日	議決事項	開催当日における監事の現在数及び議決権を行使した監事の数並びに議事の結果		
		現在数	議決数	結果
平成7年 4月19日	平成6年度の決算事項についての監査	現在数 2	議決数 2	正確の認定

ウ. 社 員 総 会

開催年月日	議 決 事 項	開催当日における会員の現在数および議決権を行使した会員の数ならびに議事の結果
平成7年 5月10日	1. 平成6年度会務・事業報告及び承認の件 2. 平成6年度決算報告及び承認の件 3. 平成7年度事業計画承認の件 4. 入会金及び会費決定の件 5. 平成7年度予算承認の件 6. 役員任期満了につき改選の件	会員現在数 104 人 議決会員数 97 人 議案1. より議案6. まで提案 通り可決承認

エ. 臨 時 総 会

開催年月日	議 決 事 項	開催当日における会員の現在数および議決権を行使した会員の数ならびに議事の結果
平成8年 3月11日	1. 平成8年度事業計画及び予算(案)承認の件	会員現在数 104 人 議決会員数 63 人 提案通り可決承認

3. 会 員 の 移 動 状 況

会員種別	前年度末 会 員 数	本 年 度 入 会 者 数	本 年 度 退 会 者 数	本 年 度 本 会 員 数	増 減 数
正 会 員	102	4	2	104	+2
賛助会員	35	2	4	33	-2
			計	137	0

正 会 員 名 簿

105社

会 社 名	代 表 者	住 所	電 話
愛知電業(株)	内田 博	川崎市幸区塚越2丁目255番51号	511-4171
(株)旭電業	矢部 孝行	川崎市昭和2丁目3番6号	288-5752
(有)阿部電気商会	阿部 昭二	幸区南加瀬3丁目30番9号	588-3221
(有)荒川電気工事	定方 玉子	麻生区王禅寺487-3	988-3664
(有)石井電気商会	石井 清	中原区小杉町3丁目426番地	711-3380
伊鈴電設(株)	鈴木 和彦	高津区千年614番地	798-0390
稲田電機(株)	森澤 正	多摩区登戸1955番地	911-2312
(有)岩岡電機	岩岡 安男	中原区下小田中3丁目3番5号	777-5787
(株)栄電社	内藤 唯男	中原区上丸子八幡町1473番	422-5323
(株)遠藤電業社	遠藤 惣之熊	川崎市新川通3番7号	222-4656
(株)大島電機商会	小暮 昭四郎	川崎市大島3丁目33番12号	277-6028
(株)岡電機	岡 章	宮前区野川185番地	777-2622
(株)岡田電設	岡田 修二	中原区木月住吉町1975番地	433-3190
(有)沖電設	長浜 清栄	川崎市旭町2丁目8番5号	244-2717
(株)小澤電気	小澤 清水	幸区古市場2丁目81番地	555-1144
(株)小野崎電業	小野崎 俊輝	川崎市追分町8番14号	333-0910
男全電機(株)	男全 義雄	中原区小杉御殿町2丁目67番	722-5027
加賀谷電機工業(株)	加賀谷 勉	中原区上平間1700番地	511-6401
粕川電業(株)	粕川 幸子	中原区木月572番地	411-1459
川崎電設(株)	佐野 泰彦	川崎市新川通10番15号	222-5501
川又電機工事(株)	川又 和男	川崎市観音2丁目9番3号	277-3834
(株)菊池電業社	菊池 規子	川崎市四谷上町2番9号	266-3648
(株)共栄社	山口 和宏	横浜市中区住吉町2丁目24番地	681-0641
協山電設(株)	山森 茂	川崎市川崎区中島2丁目14番3号	222-3534
共進電気(株)	赤津 茂	川崎市南町10番地14号	244-5844
協成電気(株)	加藤 哲郎	川崎市新川通3番12号	211-1191
(株)京電社	石嶋 清仁	川崎市四谷上町25番17号	266-1111
(有)共和エレクトロニクス工業	坂上 昇	中原区上小田中1206番	755-4039
(株)京浜愛工社	小野 功雄	川崎市池田2丁目4番2号	355-2311
京浜電興(株)	辻 和通	川崎市南町21番地3号	244-4751
高信電機(株)	小林 正幸	川崎市渡田向町12番9号	244-4447
甲信電気(株)	内藤 敏明	宮前区馬絹609番地1	888-4869
工都電業(株)	市川 雄三	川崎市境町8番15号	222-5200
(株)光明電設工業	平 光明	中原区上平間344番地1	522-7467

会社名	代表者	住所	電話
(株)光陽電業社	尾村重之	” 中原区新丸子東2丁目905番	434-2811
光和電機(株)	森山和彦	” 中原区新城中町11-5-206	755-8334
国際電工(株)	佐藤敏夫	” 麻生区東百合丘3丁目17番6	953-8111
コクシン工業(株)	早速克彦	” 多摩区宿河原6丁目3番2号	911-8954
(株)寿電興	渡辺洋介	” 幸区小向西町3丁目58番地10号	555-4761
(有)小林電設工業社	木村文男	” 高津区諏訪3丁目24番10号	822-3227
(有)小宮電気商会	小宮清次	” 中原区小杉御殿町2丁目66番	722-5023
備サイトウエレクトリック商会	斉藤浩	” 川崎区中島2丁目4番7号	233-0040
(株)斉藤電気工事	斉藤博嗣	” 川崎区大島3丁目21番18号	233-1696
(株)坂下電業社	坂下継男	” 中原区上丸子八幡町1587番地	411-8366
佐々木電気工業(株)	佐々木宏	” 川崎区砂子2丁目6番1号 石井ビル	246-0671
(株)佐藤電機	佐藤光義	” 中原区上平間312番地	522-1471
(有)佐藤電気店	佐藤多美治	” 川崎区大島3丁目35番10号	288-4555
三協電機(株)	塚原繁夫	” 川崎区藤崎2丁目17番20号	222-5891
三友電機(株)	新井正教	” 幸区南幸町1丁目8番地	522-0406
山洋工業(株)	安藤博夫	” 川崎区南町1番地1	277-4411
篠原電機工業(株)	野村和昭	” 川崎区藤崎4丁目4番4号	244-1241
柴電機工業(株)	柴修	” 川崎区渡田3丁目14番10号	333-5723
島田電設工業(株)	島田精二	” 川崎区大島3丁目32番11号	211-2751
(有)志村電設工業	志村汎史	” 幸区小倉468番地	522-1311
(株)昭栄電工社	竹仲密昭	” 高津区瀬田2408番地	822-2460
昌栄電設(株)	寺崎博	” 川崎区浅田4丁目7番1号	344-4130
(有)昌電社	大塚浅雄	” 宮前区馬絹1508番地	866-6698
湘南電設(株)	三辺保夫	” 幸区幸町2丁目639番地	522-1561
昭和電機サービス(株)	浦道雄	” 川崎区桜本2丁目17番4号	277-6933
神港電気工事(株)	船曳進一郎	” 川崎区大島上町11番11号	355-4711
(株)新城電機	八木真	” 高津区末長1351番地	865-3011
末広電業(株)	鈴木岩治	” 中原区小杉御殿町2丁目102	722-2932
住吉電機(株)	高橋隆	” 高津区明津14番地1	755-6161
関口電設(株)	関口二郎	” 川崎区駅前本町23番地	233-8361
大昇電気(株)	竹居武久	” 宮前区小台2丁目6-8 エスポワールビル	856-1121
太陽電装(株)	坪松保	” 川崎区京町3丁目9番1号	355-0873
田島電業(株)	中島忠三	” 川崎区渡田2丁目13番14号	322-4309
辰野電設(株)	堀金明治	” 川崎区大島3丁目14番5号	211-4866
(有)タマ無線電気商会	山木実	” 川崎区鋼管通3丁目18番8号	322-7675
千代田電気(株)	上野富夫	” 川崎区榎町9番13号	244-5461
塚田電気工業(株)	塚田秀昭	” 高津区溝ノ口74	822-2643

会社名	代表者	住 所	電 話
坪田電業(株)	坪田博夫	〃 高津区梶ヶ谷6丁目7番3号	888-6051
テルヤ電工(株)	栗原利治	〃 幸区南加瀬2丁目7番1号	599-1221
(株)電工舎	名嘉大策	〃 川崎区榎町6番6号	211-2431
電興設備(株)	関口興一	〃 幸区南幸町1丁目46番地	544-2645
東海電業(株)	東海林丈男	〃 川崎区追分町10-13	333-9409
東京電機(株)	高野光雄	〃 川崎区池田2丁目2番3号	322-5314
東幸電気工事(株)	手塚文男	〃 中原区下小田中3丁目15-15	752-1748
東芝プラント建設(株)	伊藤睦	横浜市中央区不老町1丁目1番5号 横浜東芝ビル	661-2203
(有)東神電業社	森正夫	川崎市高津区久本3丁目2番18-204	822-2618
東邦電業(株)	菊地原忠光	〃 中原区上平間293番地	522-4491
東和電設(株)	岩崎明男	〃 多摩区堰1丁目15番17号	812-6611
トヨオカ電気(株)	十八日義雄	〃 川崎区渡田1丁目19番2号	344-2341
(有)南武電業社	長谷川昭	〃 中原区上小田中3丁目22番1号	766-2717
日鋼電気(株)	内藤完治	〃 川崎区大島3丁目6番6号	244-6361
八巧機電設備(株)	伊藤八十七	〃 川崎区鋼管通5-4-2	333-2850
(株)原電光社	原峯由	〃 川崎区京町3丁目16番6号	333-1155
日出磨電工(株)	肥後日出磨	〃 幸区北加瀬1丁目17番17号	588-0595
(有)深谷電気工事	深谷實	〃 宮前区野川1158番地7	788-7895
富士電機工事(株)	子安英次	横浜市鶴見区平安町1丁目29番1号	509-2243
(株)富士電気商会	杉本徳男	川崎市川崎区榎町7番11号	211-1291
富双電気(株)	佐藤博	〃 宮前区野川286番7号	751-6171
細谷電機工業(株)	細谷至孝	〃 川崎区出来野11番16号	266-3030
(有)松江電業社	松江恭平	〃 高津区末長1393番地	844-1271
丸井電設工事(株)	品田辰義	〃 高津区子母口987番地	766-0101
(有)丸子電気商会	田通一確	〃 中原区小杉町1丁目520番地	711-3311
宮川電機(株)	宮川秀雄	〃 幸区戸手4丁目8番10号	511-4571
矢崎電機(株)	矢崎直	〃 川崎区大師駅前1丁目4番4号	288-3588
(株)山形電設	金田隆夫	〃 川崎区京町2丁目23番15番	344-4988
山崎電業(株)	山崎源次	〃 川崎区渡田山王町3番12号	322-3456
(株)山室電機	山室政雄	〃 中原区井田中ノ町166番地	766-5969
横堀電機工業(株)	横堀和義	〃 宮前区菅生ヶ丘16番10号	976-5321
(株)吉田電設工業	吉田善治	〃 川崎区観音2丁目15番2号	266-1766
(株)吉見電設	入間田秀樹	〃 川崎区渡田4丁目4番12号	344-1627
(株)和田電業社	和田勇	〃 幸区塚越2丁目280番地	544-3608

平成8年4月1日現在

賛助会員名簿

32社

会社名		住 所	電 話
アイ通信工事(株)	市川達雄	川崎市中原区井田三舞町107番地12	044-798-3201
岩崎電気(株) 横浜営業所	岩崎満夫	横浜市神奈川区松本町5丁目37番地	045-321-8881
海光電業(株) 川崎営業所	神山定夫	川崎市幸区小倉1638番地	044-599-1070
神奈川電材(株)	西澤利昭	横浜市鶴見区獅子ヶ谷2丁目34番31	045-575-1756
協同電気(株) 川崎事業部	西堀與四郎	川崎市川崎区榎町8番6号	044-233-3701
共和電機(株)	丹羽 崇	〃 川崎区堀ノ内5番8号	044-233-7111
三葉能率電機(株)	小倉康弘	東京都大田区久が原3丁目41番12号	03-3752-2431
(株)昭和電機製作所	大森淳男	川崎市川崎区渡田向町8番16号	044-244-5144
昭和電線電纜(株)	田村 薫	〃 川崎区小田栄2丁目1番1号	044-344-1111
新日電機(株)	中山泰辰	〃 高津区宇奈根847番地	044-811-8101
新和照明(株) 川崎営業所	谷村重雄	〃 高津区南町1番地8号 清水ビル	044-222-9137
杉本電機産業(株)	杉本伸一	〃 川崎区渡田向町6番5号	044-211-7951
誠和電通工業(株)	黒川幸雄	〃 中原区木月1536番地5	044-434-1330
泉州電業(株)	西村忠雄	〃 幸区幸町2丁目593番地 ミキビル	044-555-6611
(有)総合防災	峯岸知恵子	〃 中原区小杉町3丁目26番11	044-733-0196
中立電機(株) 川崎営業所	石原 勇	〃 川崎区日進町9番地1 センチュリープラザ202	044-200-7641
東京総合エンジニアリング(株)	小菅光則	〃 川崎区日進町1-1-806	044-233-9922
東芝ライテック(株)	鶴尾 勉	〃 川崎区砂子1丁目8番1号	044-246-2753
テルヤ電機(株)	江川敬宜	東京都世田谷区用賀4丁目5番16号	03-3709-6111
(株)特立電機製作所	石井二三男	横浜市鶴見区駒岡1丁目29-49	045-574-2561
直江電器(株)	栗山孜郎	〃 西区戸部町4丁目110番地	045-231-2143
(株)中山防災	中山悦義	川崎市宮前区馬絹590番地	044-854-6461
(株)新潟電気製作所	橋立幸作	〃 川崎区塩浜3丁目15-8	044-287-5861
古川電気工業(株) 横浜営業所	茂泉 焔 佐	横浜市西区北幸2丁目4番10号 岸ビル3F	045-321-0561
フルヤ音響(株)	五十嵐孝敏	川崎市中原区木月1333番地5	044-433-6781
松下電工(株) 横浜電材営業所	三好俊夫	横浜市神奈川区片倉1丁目2番23号	045-413-4721
松野音響(株)	松野喜一	川崎市多摩区長尾4丁目11番4号	044-900-2523
(株)水谷電機製作所	水谷恵一	東京都港区三田4丁目8番31号	03-3452-7771
南関東東芝電材(株)	岡田芳彦	川崎市川崎区渡田新町2丁目1番1号	044-366-5200
明工業業(株)	川村英夫	〃 中原区中丸子1234番地	044-435-0611
友幸電機(株)	村松松次	〃 中原区木月1333番地5	044-433-3385
エースライオン(株)	松島弘祐	東京都荒川区東日暮里5丁目34番2	03-3802-5161



三十五年のあゆみ

発行日 平成8年9月21日
編纂 社団法人 川崎市電設工業会
三十五年誌編集特別委員会
発行 社団法人 川崎市電設工業会
〒210 川崎市川崎区宮本町3-5
☎ 044-233-5451(代表)

印刷 西桜印刷株式会社
〒105 東京都港区虎ノ門1-23-5
☎ 03-3591-2543(代表)

光、最先端をめざして
IWASAKI

⑤ 光が上方向にもれず、
自然環境を保護。

④ 安定器内蔵で
大幅な省施工取付。

③ 軽量・コンパクト。

② 安全機能を内蔵。

新光源に、バース停止機能と過
電流防止機能を果たす、画期的
な新形始動器、FECを内蔵。

FECサンルクスエース40W

省エネ・ローコストの 画期的、新形防犯灯、登場。

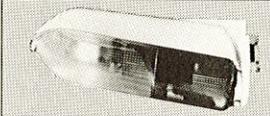
① 大幅な省エネが図れる
高圧ナトリウムランプを採用。

光源に採用した、高圧ナトリウムランプ(FEC
サンルクスエース40W)と、80W水銀ランプ
(HF80X)の1灯当りの入力電力を比較す
ると、それぞれが5.6Wと9.7W。つまり高圧ナ
トリウムランプに変えることで約42%省エネが
図れます。

省エネ・ローコストの新形防犯灯

アイヴァ★ストリート40

驚異的な
ロープライス **19,800円**



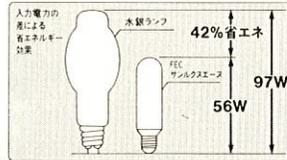
H7801A/B ¥19,800(ランプ・内蔵安定器付)

- 適合ランプ=FECサンルクスエース240W形 ●灯具=アルミダイカスト
- グローブ=アクリル ●柱上色=クリームホワイト ●重量=3.3kg
- 入力電流=0.55A

EYE 岩崎電気株式会社

本社/〒105東京都港区芝3-12-4 TEL(03)3452-5351(大代)
千葉営業所 〒260 千葉市中央区南町3-10
TEL043(264)6355 FAX043(263)5761

これで夜道は安全。
資源や価格も安心。
光のイワサキがまた、やりました。



電設資材総合商社

松下電工株式会社代理店



神奈川電材株式会社

- | | | | |
|---------|------------------------|---------------------|--------------|
| 本社 | 〒230 横浜市鶴見区獅子ヶ谷2-34-31 | TEL(045)575-1756(代) | FAX 575-0916 |
| 鶴見営業所 | 〒230 横浜市鶴見区獅子ヶ谷2-34-31 | TEL(045)575-1213(代) | FAX 575-1759 |
| 高津営業所 | 〒213 川崎市高津区新作4-12-17 | TEL(044)866-9481(代) | FAX 866-2322 |
| 川崎営業所 | 〒211 川崎市幸区南加瀬3-9-21 | TEL(044)599-5501(代) | FAX 599-5577 |
| 保土ヶ谷営業所 | 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町47-4 | TEL(045)335-2551(代) | FAX 333-2838 |
| 横浜営業所 | 〒232 横浜市南区宿町2-44 | TEL(045)714-1771(代) | FAX 713-2579 |
| 横須賀営業所 | 〒239 横須賀市根岸町4-12 | TEL(0468)36-6245(代) | FAX 34-2483 |

KYODO ELECTRIC

もっと、よりよく!!

私達は、21世紀の環境造りのお手伝いをします。

電設資材・電気機械器具・半導体製品・特殊工事

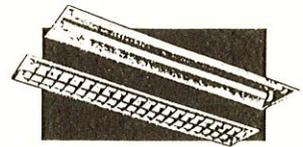
協同電気株式会社

代表取締役 西堀 與四郎

本社事業所	☎(045)661-1815	FAX(045)661-1817
本牧商品センター	☎(045)622-3487	FAX(045)623-0681
横浜電材営業所	☎(045)621-5056	FAX(045)621-9604
多摩営業所	☎(045)901-8830	FAX(045)901-9511
川崎電材営業所	☎(044)233-3701	FAX(044)233-3708
平塚営業所	☎(0463)22-1057	FAX(0463)22-1063
相模営業所	☎(0427)43-5715	FAX(0427)47-2266
厚木営業所	☎(0462)29-0265	FAX(0462)29-1498

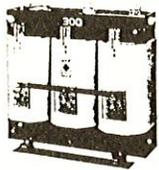


油入
モールド 変圧器・照明器具



HiPlus
superハイエフ

コンパクトボディに 薄型軽量・高照度
電力経費を低減 省電力・省施工を実現
低騒音・低振動の変圧器 次代を担う照明器具



日立特約店

Ⓚ 共和電機株式会社

本社	川崎市川崎区堀之内町5-8	TEL 044-233-7111
		FAX 044-211-0572
相模営業所	大和市林間1-7-8	TEL 0462-77-2540
栃木営業所	小山市城山町2-7-25	TEL 0285-22-1498
サービスセンター	横浜市鶴見区駒岡5-18-15	TEL 045-572-8712

あなたと共に未来をひらく

- 電線/ケーブル ●超電導線 ●電子部品
- 総合情報ネットワークシステム
- 免震アイソレータ ●プラスチック成型品

Access Tomorrow
昭和電線電纜

本社 東京都港区虎ノ門1-1-18 (東京虎ノ門ビル)
☎ (03) 3597-7165 (開発営業部)



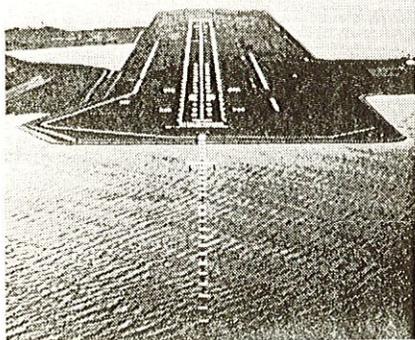
電設資材・空調機器・制御機器・情報機器

杉本電機産業株式会社

ご用命をお待ちしております。

本社 〒210 川崎市川崎区渡田向町6番5号 TEL 044-211-4747

私たちは、 「考え、反応する」動脈産業をめざします。



21世紀を目前にしたいま、基幹産業としての電線事業にも新たな発想と技術革新が求められています。私たちは、そんな時代のニーズにいち早く、そして電線の新しい可能性を積極的に模索しています。社会の変化に追われるのではなく、自ら考え、即応していく。この泉州電業の不変の企業ポリシーのもと、私たちは21世紀の高密度情報社会を内から支え、つねに社会を活性化し続ける価値がある“動脈産業”をめざしていきます。つねに全国2万㎡にも及ぶ在庫スペースに商品を確保。迅速に、確実に納入できる体制を確立しています。（“JUST IN TIME 体制”）

泉州電業株式会社

東京支店	〒210 川崎市幸区幸町2丁目593番	TEL 044-555-6611
	ミユキ本社ビル2階	FAX 044-555-6931
本社	〒530 大阪市北区兎我野町2番4号	TEL 06-312-0945
大阪支店	〒564 大阪府吹田市南金田1丁目4番8号	TEL 06-384-1101
支店・営業所	札幌・仙台・埼玉・豊橋・名古屋・高岡・大阪南・高松・広島・福岡	

TOSHIBA

東芝ライテックは、 あかりのプロフェッショナルです。

ひよとすると、わたしたちはもう

間というものを忘れてしまっているかもしれません。

家庭はもちろん、オフィス、公共の空間まで、

あかりで照らされない場所はありません。

明るくてあたりまえ、

あかりのない生活なんて考えられません。

でも、よくみてください。

そのあかり、きちんと環境保全のことが

考えられていますか？

省エネルギーについては？ 品質の管理はどうですか？

そして、お客さまは喜んでいらっしゃいますか？

そう考えてみると、

いいあかりのカタチが見えてきます。

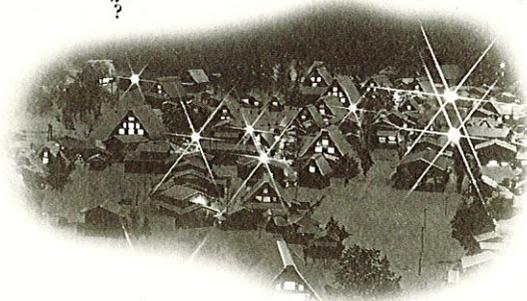
わたしたちは、東芝ライテックです。

あかりのプロフェッショナルです。



工業技術院長賞
受賞

オフィスの新・基準





消防設備設計施工、保守点検
電気通信設備設計、施工

株式会社 中山防災

代表取締役 中山悦義

本社 川崎市宮前区馬絹590番地 〒216
TEL 044(854)6461番
FAX 044(855)4852番

テクノロジーを通して



『人間の暮らしを豊かにします』

インテリジェントビルから日本酒の醸造システムまで

☆受配電・制御システムメーカー☆

古川電気工業株式会社

代表取締役社長 茂 泉 栞 佐
横浜営業所所長 吉 田 満 久

本社	仙台市青葉区二日町6-12	☎ 022-222-3111
工場	仙台市宮城野区扇町二丁目1-10	☎ 022-236-6317
横浜営業所	横浜市西区北幸2-4-10 岸ビル3F	☎ 045-321-0561
川崎出張所	川崎市川崎区榎町8-6 協同電気(株)内	☎ 044-244-4790

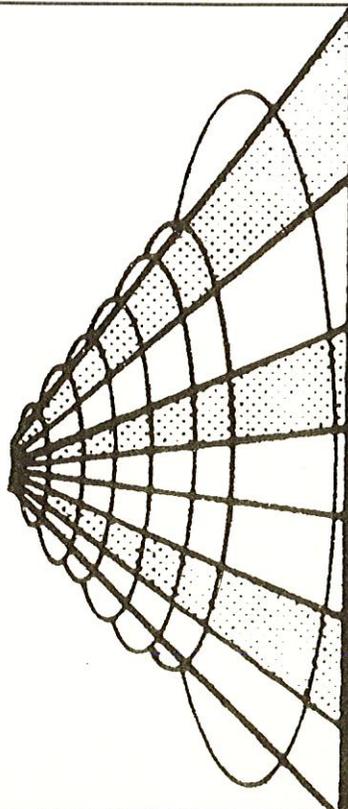
非常放送用設備
テレビ共聴設備
自動火災報知設備

フルヤ音響(株)

TEL (044)433-6781(代)

FAX (044)433-2421

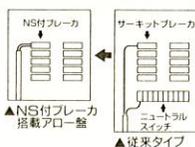
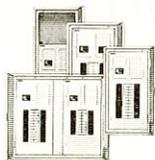
川崎市中原区木月1333-5



National 松下電工

ニュートラルスイッチが、
ここから消える。
だから、ここでの結線が
なくなって省施工。

盤革命。



これにより大幅な省施工を実現。例えば
①VVFケーブルの股さきかわすかて済み、結線時間を約25%も短縮(当社比)。
②ケーブル廃材が約1/6に減少(当社比)。
③結線時に面倒なフレカとニュートラルスイッチの番号合わせがまったく不要。
④保守点検時の回路確認もスピーディ。
⑤ニュートラルスイッチスペースがいらす小型・軽量化も達成。タテ寸法で最大300mmもコンパクトに100A、40回路。

ニュートラルスイッチは
JIS協約形の
1Pフレカと一体化。



省施工新標準



●商品のお問い合わせ・カタログのご請求は、〒571 大阪府門真市門真1048 松下電工・電機マーケティング部 ☎(06)908-1131まで。

A&I
快適を科学します

日本ビクター(株)特約店
放送設備、TV共聴設備工事

松野音響株式会社

代表取締役 松野喜一

〒214 神奈川県川崎市多摩区長尾4-11-4

電話 044-900-2523 (代)

FAX 044-900-2455

TOSHIBA

東芝ライテック(株)
グループ

東芝照明器具・電設資材 総合商社

南関東東芝電材株式会社

本社

川崎市川崎区渡田新町2-1-1

TEL 044-366-5200 FAX 044-366-5208

川崎営業所

TEL 044-366-5202 FAX 044-366-5208

神奈川営業所

TEL 044-366-5204 FAX 044-366-5208

港北営業所

TEL 045-542-3961 FAX 045-542-8027

登戸営業所

TEL 044-934-0012 FAX 044-934-0016

キュービクル式高圧受電設備
各種配電盤・自動制御盤
監視盤・電子制御装置



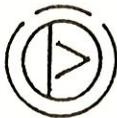
明工産業株式会社

代表取締役社長 川村英夫

営業部 〒211 神奈川県川崎市中原区中丸子1234
及 TEL 044-411-2222 (代表)
工場 FAX 044-433-8161

時代のニーズに応える設備制御を

フレキシブルに対応する。制御盤・標準分電盤・配電盤
キュービクル式高圧受電設備、等を高性能、安全、
先進技術、実績、アフターケアを重ねています



製造品目

自動制御盤・配電盤・分電盤
キュービクル式高圧受電設備

友幸電機株式会社

代表取締役 村松松次

川崎市中原区木月1333-5
TEL (044)433-3385 (代)
FAX (044)433-3742